

# 平成25年度 春期スクーリングの手引

## 東京スクーリング

|     |                      |              |
|-----|----------------------|--------------|
| 第1期 | 4月27日～4月29日          | } 通信教育部1号館ほか |
| 第2期 | 4月30日～5月 2日          |              |
| 第3期 | 5月 3日～5月 5日          |              |
| 第4期 | 6月 8日・ 9日<br>15日・16日 |              |

## 地方スクーリング

|     |             |          |
|-----|-------------|----------|
| 第1期 | 5月25日～5月27日 | 札幌・山形・神戸 |
| 第2期 | 6月 1日～6月 3日 | 名古屋・福岡   |

## 夜間スクーリング

5月20日～7月12日 通信教育部1号館ほか

## スクーリング受講手続日程

|              | 東京第1～3期  | 東京第4期  | 地方第1・2期  | 夜間  |
|--------------|----------|--|----------|---|
| ① 受講申込締切日    | 3月13日(水) | 4月17日(水)<br><u>在学生専用サポート(Web報)【24:00まで】</u><br><u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u><br><u>郵送の場合【消印有効】</u> |          |   |
| 受講許可通知書発送予定日 | 4月10日(水) | 5月22日(水)   | 5月 2日(木) | 5月 1日(水)<br>※発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。        |
| ② 受講辞退手続締切日  | 4月17日(水) | 5月29日(水)   | 5月13日(月) | 5月 9日(木)<br><u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u><br><u>郵送の場合【必着】</u> |
| ③ 受講料納入期限    | 4月24日(水) | 6月 5日(水)   | 5月20日(月) | 5月16日(木)<br><u>銀行窓口にて【厳守】</u>                             |
| 結果通知発送予定日    | 6月上旬     | 7月中旬   | 7月中旬     | 8月上旬<br><u>在学生専用サポート(Web報)にも掲載します。</u>                    |

スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の④、⑥も手続きしてください。

|             |          |   |
|-------------|----------|---|
| ④ 履修登録締切日   | 3月 1日(金) | 4月3日(水)<br><u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u><br><u>郵送の場合【必着】</u>  |
| ⑥ リポート提出締切日 | 3月13日(水) | 4月17日(水)<br><u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u><br><u>郵送の場合【必着】</u> |



日本大学通信教育部

# はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学習では十分に学習効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、春期に実施される東京、地方及び夜間スクーリングの実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

## 【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、**成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学習要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

## 【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

| 講 座     | 受講者数の上限 | 受講者数の下限 |
|---------|---------|---------|
| 外国語科目講座 | 65 名    | 5 名     |
| 演 習 講 座 | 30 名    | 5 名     |
| 上記以外の講座 | 100 名   | 10 名    |

〔調整方法等〕

- 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 「受講許可講座」及び「講師」の決定は、受講許可通知書にて通知します。したがって、受講許可講座以外の講座を受講することは、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。



# I 講座の選定

## 1 受講講座の選定

### ① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から 1 講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から 1 講座（最多 5 講座）を申込みできます。各自、入学時に配布された『学習要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学習計画を立てた上で受講申込をしてください。

### ② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

#### （1）配当学年による受講制限

##### ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1 年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1 年」又は「2 年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

#### （2）科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできないので注意してください。

#### （3）カリキュラムによる受講制限

カリキュラムの適用により、受講できない講座があります。自分のカリキュラムを次ページで確認し、後掲の「開講講座表」の「制限・注意」欄を参照してください。

## 【平成 25 年度のカリキュラム適用状況】

各自の学生（科目履修生）番号は8桁で構成されていますが、そのうち3～5桁目を下表に照らし合わせて各自のカリキュラムを確認してください。

| 種別    | 入学年度     | 学生（科目履修生）番号の<br>3～5桁目の表示 |            | 適用カリキュラム |
|-------|----------|--------------------------|------------|----------|
|       |          | 4月生                      | 10月生       |          |
| 正科生   | 平成 13 年度 |                          | ** 015 *** | C カリキュラム |
|       | 平成 14 年度 | ** 021 ***               | ** 025 *** |          |
|       |          |                          | ** 026 *** | D カリキュラム |
|       | 平成 15 年度 | ** 031 ***               | ** 035 *** |          |
|       |          | ** 032 ***               | ** 036 *** | C カリキュラム |
|       |          |                          | ** 037 *** |          |
|       | 平成 16 年度 | ** 041 ***               | ** 045 *** | D カリキュラム |
|       |          | ** 042 ***               | ** 046 *** |          |
|       |          | ** 043 ***               | ** 047 *** | C カリキュラム |
|       |          |                          | ** 048 *** |          |
|       | 平成 17 年度 | ** 051 ***               | ** 055 *** | D カリキュラム |
|       |          | ** 052 ***               | ** 056 *** |          |
|       |          | ** 053 ***               | ** 057 *** | C カリキュラム |
|       |          | ** 054 ***               | ** 058 *** |          |
|       | 平成 18 年度 | ** 061 ***               | ** 065 *** | D カリキュラム |
|       |          | ** 062 ***               | ** 066 *** |          |
|       |          | ** 063 ***               | ** 067 *** |          |
|       |          | ** 064 ***               | ** 068 *** |          |
|       | 平成 19 年度 | ** 071 ***               | ** 075 *** |          |
|       |          | ** 072 ***               | ** 076 *** |          |
|       |          | ** 073 ***               | ** 077 *** |          |
|       |          | ** 074 ***               | ** 078 *** |          |
|       | 平成 20 年度 | ** 081 ***               | ** 085 *** |          |
|       |          | ** 082 ***               | ** 086 *** |          |
|       |          | ** 083 ***               | ** 087 *** |          |
|       |          | ** 084 ***               | ** 088 *** |          |
|       | 平成 21 年度 | ** 091 ***               | ** 095 *** |          |
|       |          | ** 092 ***               | ** 096 *** |          |
|       |          | ** 093 ***               | ** 097 *** |          |
|       |          | ** 094 ***               | ** 098 *** |          |
|       | 平成 22 年度 | ** 101 ***               | ** 105 *** |          |
|       |          | ** 102 ***               | ** 106 *** |          |
|       |          | ** 103 ***               | ** 107 *** |          |
|       |          | ** 104 ***               | ** 108 *** |          |
|       | 平成 23 年度 | ** 111 ***               | ** 115 *** |          |
|       |          | ** 112 ***               | ** 116 *** |          |
|       |          | ** 113 ***               | ** 117 *** |          |
|       |          | ** 114 ***               | ** 118 *** |          |
|       | 平成 24 年度 | ** 121 ***               | ** 125 *** |          |
|       |          | ** 122 ***               | ** 126 *** |          |
|       |          | ** 123 ***               | ** 127 *** |          |
|       |          | ** 124 ***               | ** 128 *** |          |
|       | 平成 25 年度 | ** 131 ***               | ** 135 *** |          |
|       |          | ** 132 ***               | ** 136 *** |          |
|       |          | ** 133 ***               | ** 137 *** |          |
|       |          | ** 134 ***               | ** 138 *** |          |
| 科目履修生 | 平成 24 年度 | ** 120 ***               | _____      | D カリキュラム |
|       | 平成 25 年度 | ** 130 ***               | _____      |          |

#### (4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。

b 担当講師が同一である。

c 講義内容が全く同一である。

※ 講義内容を参照し、授業のねらい等が全く同一の場合は申込みできません。

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があります、この場合、大学側で受講の調整を行います。

**調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。**

そのため、**必ず「受講許可通知書」にて、講座名・担当講師を確認し、許可された講座を受講してください**（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

## 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

| 旧科目名        |            | 新科目名        |   |
|-------------|------------|-------------|---|
| 0904        | 教育の思想      | 0901        | 教育原論  |
| 0941        | 道德教育の研究    | 0940        | 道德教育の理論と方法                                  |
| 0942        | 特別活動の研究    | 0943        | 特別活動論                                       |
| 0947        | 教育カウンセリング論 | 0937        | 教育相談  |
| 旧科目名での履修対象者 |            | 新科目名での履修対象者 |   |
| 右記以外の学生     |            | 入学年度        | 入学形態  |
|             |            | 平成23年度      | 1学年入学生                                      |
|             |            | 平成24年度      | 1学年入学生<br>2学年編入・再入学生<br>科目履修生               |
|             |            | 平成25年度      | 1学年入学生<br>2学年編入・再入学生<br>3学年編入・再入学生<br>科目履修生 |

### 3 「開講講座表」の見方

#### 「開講講座表」の見方

|   |                 |   |  |
|---|-----------------|---|--|
| 1 | 講座コード           | スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。<br>「受講届」の「講座コード」欄（2桁）には、この講座コードを記入してください。  |  |
| 2 | 開講講座名           | 講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。   |  |
| 3 | 担当講師名           | 当該講座を担当する教員の氏名です。   |  |
| 4 | 充当科目（科目コード、科目名） | 受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。多くの講座の充当科目は限定的ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。<br>「受講届」の「充当科目コード」欄（4桁）には、この科目コードを記入してください。 |  |
| 5 | 受講方式            | 「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「※印」が記載されています。  |  |
| 6 | 制限・注意           | 配 当 学 年   | ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。<br>学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。 |
|   |                 | カリキュラム  | Dカリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。                       |
|   |                 | 受 講 条 件   | その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。  |

# Ⅱ 東京スクーリング

## 1 開講日程

| 開講期 | 日程 |        | 授業時間               |
|-----|----|--------|--------------------|
| 第1期 | 4月 | 27日(土) | 9:30～18:30         |
|     |    | 28日(日) | 9:00～18:30         |
|     |    | 29日(月) | 9:00～16:00 <試験も含む> |
| 第2期 | 4月 | 30日(火) | 9:30～18:30         |
|     | 5月 | 1日(水)  | 9:00～18:30         |
|     |    | 2日(木)  | 9:00～16:00 <試験も含む> |
| 第3期 | 5月 | 3日(金)  | 9:30～18:30         |
|     |    | 4日(土)  | 9:00～18:30         |
|     |    | 5日(日)  | 9:00～16:00 <試験も含む> |
| 第4期 | 6月 | 8日(土)  | 13:00～18:30        |
|     |    | 9日(日)  | 9:00～16:30         |
|     |    | 15日(土) | 13:00～18:30        |
|     |    | 16日(日) | 9:00～16:00 <試験も含む> |

- ※ 各期ごとに全日程の出席が必要です。
- ※ 授業時間内に休憩時間を設けます。
- ※ 各期から1講座のみ申込みできます。

## 2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、「体育実技」は文理学部校舎で行います。

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 名 称     | 日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺   |
| 所 在 地   | 通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3    |
| 交 通 案 内 | 水道橋駅から徒歩5分<br>神保町駅から徒歩7分 |

- ※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

## 3 「体育実技」実施会場

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

### a 開講日程【雨天決行】

| 日程       | 授業時間        |
|----------|-------------|
| 6月 8日(土) | 18:00～21:30 |
| 6月 9日(日) | 9:00～17:00  |
| 6月15日(土) | 18:00～21:30 |
| 6月16日(日) | 9:00～17:00  |

- ※ 第2期の他講座と授業時間及び会場が異なります。



## b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館（後掲「案内図」参照）

## c 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・スクーリング受講許可通知書兼領収書

## d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

## e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

## f 注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。

## 〈文理学部案内図〉

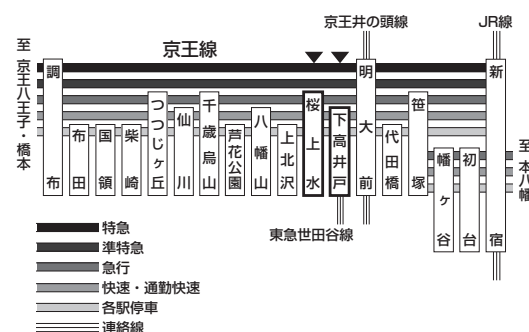
（住 所）

東京都世田谷区桜上水3-25-40

（交通案内）

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車

徒歩約10分



## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京 第1期

| 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考            |
|-------|---|-----------------------|----------------|
| 4月27日 | 土 | 9:30～18:30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 4月28日 | 日 | 9:00～18:30            |                |
| 4月29日 | 月 | 9:00～16:00<br><試験も含む> |                |

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名       | 担当講師名      | 充 当 科 目    |                 | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |   |
|------------|-----------------|------------|------------|-----------------|-----------|----------|----------------|---|
|            |                 |            | 科 目<br>コード | 科 目 名           |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件   |
| A1         | 文 学             | 山崎 泉       | 0017       | 文 学             |           | 1年       |                |   |
| A2         | 英 語 A           | 八木 茂那子     | 0041       | 英 語 I           |           | 1年       |                | ・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                   |
|            |                 |            | 0042       | 英 語 II          |           |          |                |   |
|            |                 |            | 0043       | 英 語 III         |           | 2年       |                |   |
|            |                 |            | 0044       | 英 語 IV          |           |          |                |   |
| A3         | 英 語 B           | 長島 万里世     | 0041       | 英 語 I           |           | 1年       |                | ・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                   |
|            |                 |            | 0042       | 英 語 II          |           |          |                |   |
|            |                 |            | 0043       | 英 語 III         |           | 2年       |                |   |
|            |                 |            | 0044       | 英 語 IV          |           |          |                |   |
| A4         | 民 法 II          | 山川 一陽      | 0132       | 民 法 II          |           | 2年       |                |   |
| A5         | 商 法 I           | 大久保 拓也     | 0141       | 商 法 I           |           | 2年       |                |   |
| A6         | 法学特殊講義 I・II     | 山岡 永知      | 0190       | 法学特殊講義 I        | ※         | 2年       |                | ・ I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                   |
|            |                 |            | 0191       | 法学特殊講義 II       |           |          |                |   |
| A7         | 英 作 文 II        | パトリック マッコイ | 0448       | 英 作 文 II        | ※         | 2年       |                | ・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。                               |
| A8         | 英 語 音 声 学       | 山上 登美子     | 0450       | 英 語 音 声 学       |           | 2年       |                |   |
| A9         | 異文化間コミュニケーション概論 | 武井 朗子      | 0478       | 異文化間コミュニケーション概論 | ※         | 2年       |                | ・ 英文学専攻のみ申込可。<br>・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です               |
| AA         | 英 語 学 演 習 A     | 秋葉 倫史      | 0481       | 英 語 学 演 習 I     | ※         | 3年       |                | ・ 英文学専攻のみ申込可。<br>・ I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |                 |            | 0482       | 英 語 学 演 習 II    |           |          |                |   |
|            |                 |            | 0483       | 英 語 学 演 習 III   |           |          |                |   |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

| 講座<br>コード | 開 講 講 座 名             | 担当講師名  | 充 当 科 目    |                       | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |   |
|-----------|-----------------------|--------|------------|-----------------------|----------|----------|----------------|---|
|           |                       |        | 科 目<br>コード | 科 目 名                 |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件   |
| AB        | 英米文学演習 B              | 堀切 大史  | 0486       | 英米文学演習Ⅰ               | ※        | 3年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|           |                       |        | 0487       | 英米文学演習Ⅱ               |          |          |                |   |
|           |                       |        | 0488       | 英米文学演習Ⅲ               |          |          |                |   |
| AC        | 英米文学演習 C              | 太田 美智子 | 0486       | 英米文学演習Ⅰ               | ※        | 3年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|           |                       |        | 0487       | 英米文学演習Ⅱ               |          |          |                |   |
|           |                       |        | 0488       | 英米文学演習Ⅲ               |          |          |                |   |
| AD        | 宗 教 学 概 論             | 合田 秀行  | 0532       | 宗 教 学 概 論             |          | 2年       |                |   |
| AE        | 科 学 哲 学               | 江川 晃   | 0575       | 科 学 哲 学               |          | 2年       |                |   |
| AF        | 東 洋 史 概 説             | 高綱 博文  | 0623       | 東 洋 史 概 説             |          | 2年       |                | ・文理・経済・商学部のみ申込可。                                    |
|           |                       |        | 0627       | 東 洋 史 概 論             |          |          |                | ・法学部のみ申込可。  |
| AG        | 経 済 史 総 論 A           | 古賀 義弘  | 0720       | 経 済 史 総 論             |          | 条件参照     |                | ・経済学部のみ1学年以上申込可。<br>・その他は2学年以上申込可。                  |
| AH        | 財 政 学 総 論             | 野田 裕康  | 0741       | 財 政 学 総 論             |          | 2年       |                | ・文理・経済・商学部のみ申込可。                                    |
|           |                       |        | 0742       | 財 政 学                 |          |          |                | ・法学部のみ申込可。  |
| AJ        | 保 険 総 論               | 蟻川 滋   | 0825       | 保 険 総 論               |          | 2年       |                |   |
| AK        | 広 告 論                 | 樋口 紀男  | 0830       | 広 告 論                 |          | 2年       |                |   |
| AL        | 中 小 企 業 論             | 山本 篤民  | 0848       | 中 小 企 業 論             |          | 2年       |                |   |
| AM        | 現 代 教 職 論             | 羽田 積男  | 0903       | 現 代 教 職 論             | ※        | 2年       |                | ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。                            |
| AN        | 特別活動の研究／<br>特 別 活 動 論 | 関川 悦雄  | 0942       | 特別活動の研究               | ※        | 2年       |                | ・本誌4ページを参照。<br>・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。             |
|           |                       |        | 0943       | 特 別 活 動 論             |          |          |                |   |
| AO        | 英 語 科 教 育 法Ⅳ          | 岡田 善明  | 0962       | 英語科教育法Ⅳ               | ※        | 2年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。            |
| AP        | 漢 字 書 法               | 鈴木 晴彦  | 0980       | 漢 字 書 法               | ※        | 2年       |                | ・国文学専攻のみ申込可。<br>・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。            |
| AQ        | 法 学 通 論               | 遠藤 清臣  | 0983       | 法 学 通 論               |          | 2年       |                | ・哲学専攻・史学専攻のみ申込可。                                    |
|           |                       |        | 0984       | 法 律 学 概 論<br>(国際法を含む) |          |          |                | ・経済学部・商学部のみ申込可。                                     |
| AR        | 生 涯 学 習 論             | 上原 義正  | 2001       | 生 涯 学 習 論             | ※        | 2年       | D              | ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。                            |

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◆近松門左衛門を読む・観る・聴く

〔文学〕

開講単位：2 単位 担当者：山崎 泉

- ◆**学習目標** 現代人にとって、日本の古典文学は一部の作品を除いて縁遠いものになりつつあるようです。今回は、日本の古典文学の中から近世を代表する劇作家である近松門左衛門の作品を取り上げ、古典文学の魅力の一端に触れることを目標とします。
- ◆**授業方法** 主に講義形式で行います。近松門左衛門が活躍した近世の文学状況及び近松の生涯について概説した後、彼の晩年の代表作である「心中天の網島」を講読し、さらにその舞台化作品（文楽・歌舞伎）、映画化作品を鑑賞、多角的な視点から作品について考察していきます。
- ◆**準備学習** 近世文学史について一通り予習しておいて下さい。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 近世文学について（概説）。<br>人形浄瑠璃の歴史。<br>近松門左衛門の生涯とその時代。  |
| 2 日目 | 「心中天の網島」を読む（現代語訳を中心にして読み進めますが、適宜、原文にも触れるようにし、原文のみで読むことができるようになることを目標とします）。<br>文楽「心中天網島」鑑賞。 |
| 3 日目 | 歌舞伎「心中天網島」及び映画「心中天網島」鑑賞（近松の原作がどのように変容を遂げ、現代に至るまで享受されてきたかを探ります）。<br>試験。                     |

- ◆**教科書** 丸沼『曾根崎心中 冥途の飛脚 心中天の網島 現代語訳付き』 諏訪春雄脚注 角川書店  
780 円（税込）（送料 260 円）  
〔当日資料配布〕当日、プリントを配布します。
- ◆**参考書** 丸沼『ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 近松門左衛門』 井上勝志編 角川書店  
780 円（税込）（送料 260 円）  
その他、授業中に指示します。
- ◆**成績評価基準** 平常点 20%、試験 80%  
全て出席することを前提として採点します。
- ◆**E-Mail**：

### ◆鮮やかな写真とビデオでビジュアルに世界を学びましょう

〔英語 A〕

開講単位：1 単位 担当者：八木 茂那子

- ◆**学習目標** ナショナルジオグラフィックの写真、ビデオを使って英語の語彙力・読解力を強化することを学習目標とします。
- ◆**授業方法** 平易な英語で書かれたリーディング（科学、歴史、テクノロジー、文学などの分野を含む興味深い内容のもの）教材を使用しながら、セルフトレーニング、ペアワーク、グループアクティビティ等も交え、楽しく学習を進めていく予定です。なお、クラスの人数や受講者のレベル、進度により学習内容を変更する場合があります。
- ◆**準備学習** 指定された Unit のビデオを視聴し、テキストの Before You read, Reading を読み、Reading comprehension, Language Practice の練習問題を 2 回ずつ解いてきて下さい。（一回目は参照物無しで、2 回目はペンの色を変え、辞書や Net、文法書等を参照し、調べながら解きます。）
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 午前：ガイダンス Unit 1 Secret Worlds Video (Exploring the Congo)<br>Unit 2 Dangerous Jobs Video (Smokejumper School)<br>午後：Review 1 Komodo National Park, Indonesia<br>Unit 3 Crystals Video (Crystals)                            |
| 2 日目 | 午前：Unit 4 Life on the Move<br>Review 2 Tikal National Park, Guatemala (Monarch Migration)<br>午後：Unit 5 The Senses Video (The Senses)<br>Unit 6 Art: History and Mystery Video (The Renaissance)<br>Review 3 Florence, Italy |
| 3 日目 | 午前：Unit 7 Festivals Video (Mardi Gras)<br>午後：Unit 8 Heroes for the World Video (Bluefin Rescue)   |

- ◆**教科書** 丸沼『Reading Adventures 2』 Carmella Lieske・Scott Menking 著 (株)センゲージラーニング  
2,352 円（税込）（送料 340 円）
- ◆**参考書** 英和中辞典（電子辞書可）
- ◆**成績評価基準** 筆記試験 50%＋平常点 50%（quiz、提出物、発表、Oral test 他）による総合評価（受講生のレベルにより調整を加えることがあります。）
- ◆**E-Mail**：

## ◆ Short Short Stories II を読む ②

〔英語 B〕

開講単位：1 単位 担当者：長島 万里世

◆**学習目標** この授業では、アメリカでベストセラーとして支持を集めている *Chicken Soup for the Soul* (3 vols.) の中から教室での使用を考えて編集された *Short Short Stories II* を使用します。読む人の心に残るような素晴らしい短編をみなさんと味わいながら、文法、読解等の英語力向上を図ります。昨年度と同じ教科書を使用しますが読む草は異なります。

◆**授業方法** 学生には輪読形式でテキストの音読と日本語訳をしてもらいます。また時間に余裕があれば、教科書に沿って練習問題、英作文、ディスカッション等を取り入れます。  
なお、下記の授業計画はあくまで予定であり、受講者のレベルやクラスの人数により授業内容を変更する場合もあります。

◆**準備学習** 詳しい注が付いていますので、それを参考にテキストをよく読んでおいてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ガイダンス<br>基礎的な文法の復習<br>6. The Ultimate Sacrifice |
| 2 日目 | 7. What Happened?<br>8. A Legacy Of Love        |
| 3 日目 | 9. Yes, You Can<br>(10. Run, Patti, Run)<br>試験  |

◆**教科書** 『ショート・ショート・ストーリーズ II』 高橋潔編 郁文堂 1,575 円（税込）（送料 260 円）

◆**参考書** 英語辞典（毎回必ず持参してください）。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表等）、テストにより総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆ 資本主義社会の枠組みとなる財産帰属制度

〔民法Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：山川 一陽

◆**学習目標** 民法Ⅱの対象は通常物権法と担保物権法とであるが、今回は通常物権法を学ぶ。いわゆる資本主義社会の枠組みとしての財産帰属法である。不動産取引に関する基本的な知識や動産取引における取引保護の諸問題などについて論じると同時に民法が認める各種の物権制度について概観する。理解しやすいような講義を心がけ、スクーリングの効果を上げたいと考えている。

◆**授業方法** いわゆる物権変動論を中心として講義を行う。基本的には講義形式で授業を進めることとしたい。授業計画に従って進行するので授業前には教科書を読んでおくことが要求される。※過去に山川の民法Ⅱ（通常物権法）を修得した学生は内容が重複するため受講できない。スクーリング単位の積み重ね方式希望の場合は平成 25 年度東京（秋期）に行われる民法Ⅱ（担保物権法）を受講すること。

◆**準備学習** 1 回でもいいですから、教科書について一通り目を通して置いて下さい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |  |
|------|--|--|
| 1 日目 | 1 物権法の特徴<br>3 物権的請求権<br>5 4 の問題に関する諸外国の制度とわが国の制度について | 2 物権制度をめぐる諸原則<br>4 物権変動を目的とした行為がされた場合に物権変動はいつ生じるのか |
| 2 日目 | 1 不動産物権変動はいつ生じるのか<br>3 不動産物権変動と登記をめぐる諸問題<br>5 登記請求権  | 2 不動産物権変動と登記<br>4 登記の有効・無効                         |
| 3 日目 | 1 動産取引における信頼と取引保護<br>3 各種物権としての占有権<br>5 各種物権としての所有権  | 2 いわゆる即時取得をめぐる諸問題<br>4 占有権の機能など                    |

◆**教科書** 丸岡『物権法講義 第2版』 山川一陽 日本評論社 3,045 円（税込）（送料 390 円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験と平常点による。

◆**E-Mail**：

## ◆企業取引法入門

〔商法Ⅰ〕

開講単位：2 単位 担当者：大久保 拓也

◆**学習目標** 企業取引については近時さまざまな形態のものが登場しています。それに関する規律は、商法典の中に規定されている条文以外にもさまざまなものがあります。この講義においては、商法典の条文の解釈だけではなく、社会の中でどのような企業取引が行われているのかについて具体例を取り上げて解説することで、企業取引に関する法知識の習得を目的とします。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、商人に適用される規律、一定の商行為に適用される規律、さらには新しい商取引を取り扱うこととします。そのため、商法は複雑な規律が設けられています。その理解のため、毎回出席をとります。また、ただ漫然と授業に出席しているだけでは知識が身につかないと思いますので、講義時に小テストを行い理解度をチェックします。そのため、予習・復習も必須となります。

◆**準備学習** 商法は、経済活動に密接に結びついた法分野です。商法に関する法分野を理解するためには、常に新しい経済の仕組みを理解していなければなりません。そのための最適の方法は、日刊新聞（日経新聞等）を読むことです。最近ではどのような経済問題があるのか、どのような新しい企業取引形態が誕生したのか、等について問題意識をもって毎日欠かさず読むことが必要です。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 商取引規制の意義、特質と法源、商取引の通則、商取引の主体、商取引主体の規模拡大と人的設備の利用、商取引主体の表示、商取引主体の開示と公示、商取引主体の金融<br>※商人間の取引、商人と非商人との間の取引ではどのような規制が適用されるのか、等の商取引規制の基本構造と商取引の主体を学びます。 |
| 2 日目 | 商事売買取引、国際売買取引、電子売買取引、媒介・仲介取引、運送仲介取引、運送取引の基本構造、陸運取引、運送証券取引、海運取引の主体と人的設備、海運取引の展開<br>※商取引にはどのような種類があるのか、それに適用される法規制はどのようなものであるのか、等の商行為の特色を学びます。     |
| 3 日目 | 空運取引と旅客保護、空運取引と荷主保護、複合運送取引、倉庫取引、場屋取引、保険取引<br>※商行為に関する規律にはさまざまなものがありますので、その詳細を取り扱うほか、一定の施設における取引にはどのような規制が及ぶのか、また保険取引とはどのような取引であるのか等について学びます。     |

◆**教科書** 丸沼『Next 教科書シリーズ 現代商取引法』藤田勝利＝工藤聡一編 弘文堂 平成 23 年 6 月  
2,940 円（税込）（送料 340 円）。その他プリント教材を配布する。  
六法（最新版（平成 25（2013）年）が望ましい）。

◆**参考書** 丸沼『商法（総則・商行為）判例百選〔第5版〕』江頭憲治郎＝山下友信編 有斐閣 平成 20 年  
2,520 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** ①授業中に行う「小テスト」（20%）、②授業中にふれた重要な事項から出題する「試験問題」（80%）。

◆**E-Mail**：

## ◆アメリカ合衆国における「司法審査」と憲法上の「人種・人権問題」〔法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：山岡 永知

◆**学習目標** 特殊講義（外国法）の講義においては、アメリカ合衆国の「司法制度」及び「司法審査」について説明し、さらにアメリカ合衆国憲法の中で、主に「人種問題」に関して、判例研究を通じて、憲法上の権利について理解する。

◆**授業方法** ディスカッションを中心に講義を進める。そのため、特に配布される判例を充分予習すること。

◆**準備学習** テキストを良く熟読し、授業に使用される判例を予め学習すること。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 序（史的背景）<br>司法制度と司法審査－判例研究：(1) <u>Marbury v. Madison</u> (2) <u>Fletcher v. Peck</u><br>(3) <u>Martin v. Hunter's Lessee</u><br>政教分離－判例研究：(1) <u>Lemon v. Kurtzman</u> (2) <u>Wisconsin v. Yoder</u><br>言論・出版の自由－判例研究：(1) <u>Schenck v. United States</u> (2) <u>New York Times Co. v. United States</u>   |
| 2 日目 | 言論・出版の自由－判例研究：(3) <u>Miller v. California</u> (4) <u>New York Times Co. v. Sullivan</u><br>(5) <u>Texas v. Johnson</u><br>平等の権利－判例研究：(1) <u>Dred Scott Case</u> (2) <u>Plessy v. Ferguson</u> (3) <u>Korematsu v. United States</u><br>(4) <u>Shelley v. Kraemer</u> (5) <u>Brown v. Board of Education of Topeka</u><br>(6) <u>Moose Lodge No. 107 v. Irvis</u> (7) <u>Regents of the University of California v. Bakke</u><br>(8) <u>Phillips v. Martin Marietta Corp.</u> (9) <u>Missouri v. Jenkins</u><br>プライバシーの保護－判例研究：(1) <u>Roe v. Wade</u> (2) <u>Planned Parenthood v. Casey</u><br>(3) <u>Cruzan v. Director, Missouri Department of Health</u> 他 |
| 3 日目 | デュープロセス（Due Process of Law）－判例研究：(1) <u>The Slaughter-House Cases</u><br>(2) <u>Lochner v. New York</u> (3) <u>Muller v. Oregon</u><br>(4) <u>Village of Euclid, Ohio v. Ambler Realty Co.</u><br>(5) <u>West Coast Hotel Co. v. Parrish</u><br>刑事訴訟における被告人の人権－判例研究：(1) <u>Powell v. Alabama</u> (2) <u>Gideon v. Wainwright</u> (3) <u>Mapp v. Ohio</u><br>(4) <u>Miranda v. Arizona</u> (5) <u>In re Gault</u> (6) <u>Gregg v. Georgia</u><br>(7) <u>M'Naghten's Case</u>   |

◆**教科書** 丸沼『対訳アメリカ合衆国憲法』北脇・山岡共訳 国際書院 1,575 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 丸沼『アメリカ法・総論』山岡永知著 敬文堂 2,625 円（税込）（送料 390 円）  
〔当日資料配布〕判例については授業中にプリントを配布する。

◆**成績評価基準** レポートと平常点の総合評価による。

◆**E-Mail**：

## English Composition

〔英作文Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：パトリック マッコイ

◆**学習目標** This course will focus on the writing process. There will be a review of paragraph and essay structure. Students will write a group essay on food and an individual comparison and contrast essay.

◆**授業方法** Students will work on accuracy, review grammatical structures, and development of expression through individual and group writing activities.

◆**準備学習**

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | Orientation; introduction essay on your partner (Getting To Know you) ; review of paragraph and essay structure; introduction to the writing process; analysis of paragraph organization; drafting paragraphs; using transitions.                            |
| 2 日目 | Analysis of essays; drafting an essay / critique SAMPLE ESSAYS peer editing exercise / Thesis practice; writing a group essay about food; peer editing / revising; S-V Agreement Editing Exercise-turn in FINAL DRAFT for group food essay.                  |
| 3 日目 | Feedback on food group essay/ ESSAY WRITING REVIEW; introduction to cause or effect essay; critique SAMPLE ESSAYS ; pre-writing; begin drafting essay; peer editing and revising; revising: Count/Uncount Editing Exercise, cause or effect FINAL DRAFT due. |

◆**教科書** No text is required. The instructor will provide handouts.

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 100% average of two essays.

◆**E-Mail** :

## 英語の音変化を理解する

〔英語音声学〕

開講単位：2 単位 担当者：山上 登美子

◆**学習目標** さまざまな英文を聞くことによって、内容だけでなく、音の変化の特徴を理解する。アクセント、リズム、イントネーションに意識を集中し、使われる状況や意味の違いを知る。発音記号を見て、単語や英文を正しく書けるようにする。

◆**授業方法** まず、CD を聞き、各音が文中でどのように変化するかに注意を払いながら、発音練習をする。次に、対照練習を含む多くの問題を解くことによって、英語の聴き取り能力を高める。さらに、「まとめのプラクティス」に挑戦し、実力を試す。

◆**準備学習** テキスト第2章「音の変化」(p.31-50) および第3章「アクセントとリズムとイントネーション」(p.51-55) に書かれている発音記号を見ながら、英文を音読する。うまく発音できない部分にはマーカーで印をつけておく。第4章「まとめのプラクティス」Exercise 4-5 (p.68-77) の選択肢に出てくる単語の発音と英文の意味を調べ、問題文を聞いたなら、すぐに選択肢から正解を選ぶように準備する。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ガイダンス<br>第2章1. 同化 2. 脱落 3. リエゾン<br>テスト       |
| 2 日目 | 第2章4. 脱落+リエゾン 5. 弱形 6. 短縮形<br>対照練習<br>テスト    |
| 3 日目 | 第3章1. アクセント 2. リズム 3. イントネーション<br>まとめ<br>テスト |

◆**教科書** 丸沼『英語発音・聴き取りの基礎』 杉野健太郎・Joseph Lauer 共著 朝日出版社  
2,100 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業中の発表 30% 授業内テスト 70%

◆**E-Mail** :

## ◻異文化間コミュニケーションとは何か（異文化間コミュニケーション概論）

開講単位：2単位 担当者：武井 朗子

◆**学習目標** 文化・言語・人種など、様々な角度から現代社会の異文化における価値観・行動様式などの共通性・相違点を考え、異文化間コミュニケーションとは何かについての理解を深めます。テキストのエッセイの著者は在日アメリカ人ですので、特に日米の異文化間コミュニケーションを中心に学んでいきます。

◆**授業方法** 演習形式で授業を進めます。テキストの内容を確認し、それに関して受講者に意見を出し合ってもらいます。授業での貢献度を評価の対象としますので、積極的に授業に参加できる受講者を望みます。遅刻・欠席は一切認めません。また受講者の人数、英語の能力によっては、授業の進度が変わる可能性もありますので、授業計画は目安と考えてください。

◆**準備学習** 受講者は、あらかじめテキスト（エッセイ部分）を精読しておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |  |
|-----|--|--|
| 1日目 | ガイダンス<br>Unit 1 Foreign neighbors<br>Unit 3 Strong Women   | Unit 2 Kids and Culture<br>Unit 4 Global Shopping    |
| 2日目 | 小テスト<br>Unit 5 Meeting Strangers<br>Unit 7 Human Touch     | Unit 6 Calligraphy<br>Unit 8 Family Ties             |
| 3日目 | Unit 9 Freedom and Love<br>Unit 11 Kids and Violence<br>試験 | Unit 10 Volunteering<br>Unit 12 Racism and Stupidity |

◆**教科書** 丸沼『INSIGHTS』 Joseph Shaules 宮添輝美 南雲堂 2,100円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 英和辞典（電子辞書可）を必ず持参すること。

◆**成績評価基準** 小テスト（20%）・授業への参加、貢献（40%）・試験（40%）

◆**E-Mail**：

## ◻古い英語に触れる（古英語入門）

〔英語学演習 A〕

開講単位：1単位 担当者：秋葉 倫史

◆**学習目標** 本演習では、古い英語の特徴を知ること为目标とする。通時的に、英語はその特徴によって古英語・中英語・近代英語・現代英語に分類されるが、ここでは、最も古い区分（450-1100年頃）である古英語について焦点を当てる。古英語について書かれた（現代英語の）テキストを読みながら、当時の英語とそれが使用された背景を学習する。また、古英語と現代英語を比較することで、英語の通時的変化について理解を深める。

◆**授業方法** テキストの輪読を中心に進める。学生を指名し、音読、和訳を発表してもらい、その後解説を加える形をとる。また、適宜プリントを用いて、当時の実際の英語と現代英語を比較し、英文法がどのように変化したのかについて考察を行う。

◆**準備学習** 輪読形式で進めるため、事前にテキストを読み、和訳を用意しておく必要がある。また、授業内容をより理解するために、指定した参考書や「英語史」に関する入門書等を読み、英語史の概略的な知識を事前に学習することが望ましい。授業で扱った項目については、必ず復習して次の授業に備えること。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |
|-----|--|
| 1日目 | 1. ガイダンス<br>2. Old English を読む<br>3. Some Features of Old English 読む<br>4. 古英語の格変化 |
| 2日目 | 1. 古英語の名詞・動詞<br>2. 語順の変化<br>3. 文法の変化（完了形の発達・否定の発達）                                 |
| 3日目 | 1. 古英語期の外面史<br>2. The Story of Old English 読む<br>3. Casting the Runes 読む<br>4. 試験  |

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『英語史入門』 橋本功 著 慶應義塾大学出版会 2,520円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 試験（60%）、平常点（40%）を総合的に評価する。ただし、全出席を前提とする。

◆**E-Mail**：



## ◆テネシー・ウィリアムズを読む

## 〔英米文学演習 B〕

開講単位：1 単位 担当者：堀切 大史

◆**学習目標** アメリカの劇作家 Tennessee Williams の戯曲 *A Streetcar Named Desire* (1947 年初演) を読み、英語文学作品の読解力および批評力を高めることを目標とします。

◆**授業方法** 受講生には、輪読形式によるテキストの音読と日本語訳、および作品に関するコメントをしてもらいます。また、発表者以外の学生からの積極的な発言も期待します。なお、授業初日に受講生を確認した後、二日目以降はあらかじめ分担箇所を決めます。

授業最終日に小テストを行います。また、スクーリング終了後に、日本語 2000 字程度の小論文を提出してもらいます。提出期限は授業初日にお知らせします。

◆**準備学習** 英語辞典を丁寧に引きながら、テキストをよく読んでおいて下さい。また、授業では 3 つの場を時間の許す限り読む予定ですが、授業では作品全体に触れながら議論することもあるので、授業初日までにテキスト全体を読んでおくことが望ましいです。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 1 日目 | ガイダンス<br>SCENE ONE 精読と批評と議論       |
| 2 日目 | SCENE SEVEN 精読と批評と議論              |
| 3 日目 | SCENE ELEVEN 精読と批評と議論<br>まとめと小テスト |

◆**教科書** 丸沼『*A Streetcar Named Desire*』 Tennessee Williams 金星堂 1,995 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 英語辞典

◆**成績評価基準** 発表（30%）授業参加（20%）小テスト（20%）小論文（30%）  
毎回出席することを前提として評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆Jane Austen の世界—Pride and Prejudice を通して 〔英米文学演習 C〕

開講単位：1 単位 担当者：太田 美智子

◆**学習目標** Jane Austen の *Pride and Prejudice* を読みます。作品世界を深く理解すること、また作者や彼女が生きた時代に関する知識を得ることを目的とします。

◆**授業方法** 輪読形式で各自音読したうえで訳してもらいます。初日は積極的に発表して下さい。初日に 2 日目、3 日目以降の担当者と発表箇所を決めます。事前にプリントを配布します。毎回、小テストを行います（持ち込み不可）。なお、訳に関しては翻訳本への依存度を高くしすぎないように注意して下さい。

◆**準備学習** 丁寧に辞書をひいて予習して下さい。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |                        |
|------|------------------------|
| 1 日目 | ガイダンス<br>作品精読<br>小テスト  |
| 2 日目 | 作品精読<br>映画との比較<br>小テスト |
| 3 日目 | 作品精読<br>小テスト           |

◆**教科書** 事前資料送付 プリントを事前に配布します。

◆**参考書** 授業中に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 発表（30%）受講姿勢（25%）小テスト（15%×3 回＝45%）を基本とします。ただし、全出席を前提とします。

◆**E-Mail**：

## ◆自分で考えたい人のための宗教学

## 〔宗教学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：合田 秀行

◆**学習目標** 宗教学に関して網羅的な知識を学ぶというよりは、宗教に関する個々の問題について、自分なりに考えていくためのエピソードを提供します。信ずる、信じないという次元を超えて、世界の動向を理解するための宗教という視点、現代の宗教が抱える諸問題、宗教という枠を超えた知恵など、個々のテーマを検討していきます。

◆**授業方法** 指定のテキストを使用して講義形式で進めますが、単に受動的に学ぶと言うよりは、宗教に関して主体的に考える場を提供するように努めますので、そのつもりで臨んで下さい。五人の研究者が提供する話題は、宗教というものをそれぞれの視点から、時には自らの問題として、考察するように工夫されています。基本的な知識については、本テキストのコラムや通信教育教材の『宗教学』『宗教学概論』も参照して下さい。

◆**準備学習** 各章の執筆者が設定する問題意識を念頭に置きながら、必ず教科書を前もって一読して下さい。決して個々の信仰の有無とは関係なく、現代人として生きていく上で、避けては通れないような諸問題も取り上げています。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 序章「宗教」とは何かを考える／第1章 宗教と暴力―苦難・救済・非暴力主義<br>※まず「宗教」全般に関して多角的な切り口に触れた上で、五人の研究者が提示する話題を概観します（序章）。最初の話題として、現代における宗教と暴力の歴史をたどります。暴力に対して宗教が果たす役割について、ガンジーと宮澤賢治の生き様を紹介し、世界の有力な救済宗教と比較しながら考察を深めます（第1章）。                |
| 2 日目 | 第2章 神話と聖典の言葉―宗教的言語世界にアプローチするためのヒント／第3章 宗教と社会―カルトとの遭遇<br>※宗教的言語の一例として、アイヌの「神謡」の世界に触れるとともに、さらに福音書などの諸聖典における読解の問題を考えます（第2章）。大学生への勧誘も問題化しているカルト教団の実態を理解し、その類型や特徴を解説し、筆者が提言する騙されないための知識や脱会のためのすべを学びます（第3章）。      |
| 3 日目 | 第4章 宗教から信仰へ―矢部喜好の良心的兵役拒否をめぐる／第5章 日本人と宗教―「ヒトガミ」の物語<br>※明治時代を生きた或る若者をケース・スタディとして、キリスト教の戒律や教義を突き抜けて、信仰に生きる第2の回心という魂の遍歴から、信仰とは何かを考えます（第4章）。人を神と捉える「ヒトガミ」観念の起源や背景を通して日本人の宗教観を学び、筆者が提言する「より良く生きるヒント」に耳を傾けます（第5章）。 |

◆**教科書** 丸沼『はじめて学ぶ宗教』岡田典夫、小澤浩、櫻井義秀他 有斐閣 1,995 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 通材『宗教学 0014』通信教育教材（教材コード 000004） 1,850 円（送料込）  
通材『宗教学概論 0532』通信教育教材（教材コード 000139） 1,500 円（送料込）

◆**成績評価基準** 試験 70%, 平常点 30%

◆**E-Mail** :

## ◆脳・情報・技術を哲学してみよう

## 〔科学哲学〕

開講単位：2 単位 担当者：江川 晃

◆**学習目標** 脳神経科学や情報科学の進歩には目をみはるものがある。脳の中の思想や心情を読み取ることが射程に入ってきた現在、脳科学と社会との間に生じる問題を考える必要がある。また、情報メディアによる世界のバーチャル化は、現実とは何かを問っている。脳・情報・科学技術について哲学的に思索しよう。

◆**授業方法** 探求解決型の哲学講義。私も協同探求します。毎回授業最後に、質問や考えたことを書いていただく「思索ペーパー」を実施いたします。次回の授業は、そのコメントからはじめます。それをもとに発表・討論しあいたいと思います。

◆**準備学習** 配布プリントをよく読んでおいてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 科学哲学とは何か<br>1 哲学と科学<br>2 科学哲学の中心課題<br>3 科学哲学の発生<br>4 近代科学哲学の成立（思索ペーパー：午前・午後） |
| 2 日目 | 脳科学と哲学<br>1 心の哲学（心と脳は同一か、機械に心は生じるか）<br>2 脳倫理（脳に自由意思はあるか）<br>（思索ペーパー：午前・午後）   |
| 3 日目 | 情報記号論<br>1 メディアとバーチャル・リアリティ<br>2 科学技術と哲学（思索ペーパー：午前）<br>3 レポート作成              |

◆**教科書** 当日資料配布 プリント配布。

◆**参考書** 授業中に提示します。

◆**成績評価基準** 「思索ペーパー」（5 回：50%）とレポート（50%）。

◆**E-Mail** :

## ■人物・映像で見る一現代中国の歴史

〔東洋史概説〕

開講単位：2単位 担当者：高綱 博文

◆学習目標 中国4000年の歴史において、20世紀の戦争と革命、近代化で何が変わり、何が生まれたのかを考える。

◆授業方法 はじめに中国の歴史と社会、風土と民族などについて概観します。近現代中国の政治指導者である孫文・張学良・蔣介石・毛沢東・鄧小平に関する映像を視聴し、それを踏まえて中国近現代史を講義します。なお、本講義は、平成24年度地方（福岡）春スクーリングの東洋史概説と内容が同じであり、すでに同スクーリングで単位を修得された方は受講不可です。

◆準備学習 孫文・張学良・蔣介石・毛沢東・鄧小平について世界史辞典または人物辞典などで、その生涯・政治活動・政治思想などに調べておくことが望ましい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |   |
|-----|---|
| 1日目 | テーマ1：中国の概観（地理・風土・民族など）<br>テーマ2：中国史と中国の歴史書<br>テーマ3：中華帝国の誕生と繁栄（ビデオ視聴を含む）<br>テーマ4：中華帝国の動揺と解体 |
| 2日目 | テーマ5：辛亥革命と孫文（ビデオ視聴を含む）<br>テーマ6：満洲事変・西安事変と張学良（ビデオ視聴を含む）<br>テーマ7：日中戦争と蔣介石（ビデオ視聴を含む）         |
| 3日目 | テーマ8：中華人民共和国と毛沢東（ビデオ視聴を含む）<br>テーマ9：改革開放と鄧小平   |

◆教科書 〔当日資料配布〕授業中に資料を配布します。

◆参考書 丸沼『シリーズ 中国近現代史』岩波新書①～⑤ 2010～2011年刊  
①～③各巻 861円（税込）（送料260円）、④ 840円（税込）（送料260円）

◆成績評価基準 試験（70%）、小テスト・レポート（30%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

## ■世界経済発展の軌跡と現代

〔経済史総論 A〕

開講単位：2単位 担当者：古賀 義弘

◆学習目標 本講義では、人類が目的的に経済活動を行い社会を構成してきた道筋をたどり、現代社会を考える一端となることを目標とする。原始共産制（共同体）社会から、古代奴隷制、封建制そして資本主義社会の成立から発展をとげてきた人類社会の軌跡をいくつかの国や地方を例証としてあげる。また社会主義社会も生きている今日、資本主義との関連についても言及する予定である。

◆授業方法 講義は配布予定のレジュメと教科書をもとに進める。授業をより充実させるために適宜質疑応答やリアクションペーパーに記載された要望なども加味して進めていく予定である。

◆準備学習 世界史のおおまかな認識があれば、講義をより深く理解する。一助になると考える。その為には中学や高校の時代に教わったことの復習、あるいは市販の世界史関係の書物などに事前に触れておくことも大切である。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |
|-----|--|
| 1日目 | ・ガイダンス<br>・人類の誕生から社会集団の形成、原始共産制（共同体）社会<br>・古代奴隷制社会               |
| 2日目 | ・封建制社会の形成から解体へ<br>・産業革命と資本主義の生成発展プロセス<br>・19世紀世界資本主義の形成と植民地獲得    |
| 3日目 | ・20世紀における資本主義（帝国主義）列強による競争と戦争<br>・戦後世界資本主義の再編成とアメリカ<br>・まとめ、筆記試験 |

◆教科書 通材『経済史総論 0720』通信教育教材（教材コード000161）2,950円（送料込）

◆参考書 丸沼『世界史再入門』講談社 学術文庫 1,102円（税込）（送料260円）

◆成績評価基準 試験70%、受講状況（リアクションペーパー等）30%。

◆E-Mail：

## □政府の経済活動を考える

## 〔財政学総論〕

開講単位：2 単位 担当者：野田 裕康

◆**学習目標** 未曾有の公債残高を有する我が国に限らず、世界的な潮流として財政学は今転換期にある。本講義では財政学の歴史、理論、政策の各局面を基礎からわかりやすく説明し、近年の国家財政の変容を正しく理解する。すなわち、スミス、ワグナー、ケインズ、マズグリブによる財政学の歴史的な意義を理解し、基礎的な財政理論として IS/LM 分析の意味と財政政策による経済上の効果を習得し、我が国の歳入としての租税・公債及び歳出としての予算編成を正確に把握する。これらの 3 考察から財政学の意義を探ることが本講義の目的である。

◆**授業方法** 基本的に、講義形式により時限毎にテーマを定めて授業を進めていくが、受講者の関心や現状の財政政策の動向も適宜取り入れ、多角的な学習を心がけたい。また、必要に応じて資料も配布する。

◆**準備学習** 政府の経済活動たる財政学は、多様な関心を有する国民のあらゆる視点からの関連づけが可能である。従って、授業時に配布した資料や講義ノートから敷衍して、自分に合った財政学のテキストを復習用として参照し、さらに、我が国の財政政策の理解においては各府省の HP 等も利用されたい。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 財政学の意義、財政の 3 機能、古典学派、歴史学派、重商主義、自由主義、帝国主義、市場の失敗、公共財、フィスカルポリシー<br>※まず、財政学の社会科学における意義とその機能を基本から学び、今日の財政学の役割を理解する。<br>続いて、財政学の歴史的な生成・発展段階を重商主義から現代まで考察していく。         |
| 2 日目 | 三面等価理論、有効需要理論、乗数理論、流動性選好理論、所得仮説、45 度分析、IS/LM 分析、ケインズの罫、クラウドディングアウト、総需要・総供給分析<br>※ケインズ財政学の伝統的な基礎理論として、国民所得決定の理論から、財政政策と金融政策の効果までを数学的、視覚的に理解する。                   |
| 3 日目 | 予算機能、予算原則、一般会計、補正予算、ゼロベース予算、予算循環、所得・消費・資産課税、公債理論<br>※我が国の予算編成過程を時系列に分析し、予算の持つ意義や日本の予算策定の問題点を具体的に指摘しつつ、歳入における租税制度と公債制度、及び、歳出におけるスリム化や財政再建と東日本大震災後の日本財政の現状について学ぶ。 |

◆**教科書** 特に使用しない。授業で用いる資料がある場合には当日配布する。

◆**参考書** 丸沼『図説日本の財政（平成 24 年度版）』西田安範編著 東洋経済新報社 2,520 円（税込）（送料 390 円）（購入しなくとも図書館利用可）

◆**成績評価基準** 最終試験 60%、授業中のミニテスト（2 回）20%、平常点 20%の割合で、毎回出席を前提として評価する。

◆**E-Mail**：

## □保険を理解するための基礎知識を学ぶ

## 〔保険総論〕

開講単位：2 単位 担当者：蟻川 滋

◆**学習目標** 保険の基本・本質を学ぶとともに社会経済環境の激変の中で保険業界が変貌を遂げようとしている姿を学びます。併せて、少子高齢社会にあって、民間生命保険、損害保険と年金、医療などの公的保険との関係についても学びます。この講義においては、こうした保険の知識をもって保険業の現状を理解する際の一助とすること、保険をより身近なものとする 것을目標にしています。

◆**授業方法** 講義を中心とします。また受講者数にもよりますが、受講者の質問を受けたり逆に質問をしたり、双方向の授業を行います。さらに、課題をまとめる力を養うため、新聞等メディアの記事を要約するレポート作成を行います。

◆**準備学習** 保険についての予備知識は一切必要ありませんが、保険・年金・医療に関する新聞等の情報は日頃から関心を持つように心がけてください。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ・ガイダンス（保険に関して知っていることのアンケートを含む）<br>・保険を理解するための視点<br>・保険の仕組み<br>・保険の役割<br>・なぜ生保と損保に分かれているのか<br>・保険の生成と発展            |
| 2 日目 | ・自助努力と保険<br>・生保の基本モデル<br>・生保の普及背景と概要<br>・金融機関としての生保<br>・損保の特徴<br>・損保の基本モデル<br>・損保の概要<br>・マスメディアの報道を読み解く（要約レポート提出） |
| 3 日目 | ・少子高齢社会と生損保<br>・公的保険と私的保険<br>・基本的保険用語の確認<br>・テスト  |

◆**教科書** 当日資料配布 当日プリント等を配付。

◆**参考書** 丸沼『保険の知識』（第 2 版）真屋尚生著 日本経済新聞出版社 871 円（税込）（送料 260 円）

◆**成績評価基準** テスト、授業への取組み（レポート提出）により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ■広告コミュニケーション

## 〔広告論〕

開講単位：2 単位 担当者：樋口 紀男

◆**学習目標** 失われた 20 年が続く中で、東日本大震災以降の中で、そしてまた一方ではメディアの変化、グローバル化の進展、少子高齢化といったさまざまな変化の中でマーケティングと広告は新たな方向が求められています。本講義では、マーケティングと消費の 2 つの視点を軸に広告コミュニケーションを基礎から学ぶ。

◆**授業方法** 基本的には教科書を中心にしますが、必要に応じて随時プリントや資料を配布します。また、受講生の理解を深めるため、疑問点や意見を聞き、講義に反映させていきます。

◆**準備学習** 広告は関連領域が広いので、社会学や心理学、コミュニケーション論等々まで広がります。それだけに言葉の概念が多様になりますので、事典の辞書で調べるようにすること。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 広告とは何か：広告の定義、広告の種類、広告の機能。<br>マーケティングと社会における広告の位置づけ。<br>広告とコミュニケーション、マーケティングとコミュニケーション。                             |
| 2 日目 | 広告の実施計画の立案：広告戦略の要素と広告戦略立案の手順について。<br>広告目標、コンセプト、セグメンテーション、ターゲット、ポジショニングについて。<br>媒体戦略：メディアとは何か、メディアの種類と特徴、媒体計画立案など。 |
| 3 日目 | 表現戦略：広告表現とは、情報とは、メッセージとは、マーケティングと表現戦略の関連、表現戦略と戦術。<br>現在の消費社会における広告表現の可能性について<br>3 日間の総括として、広告の価値創造。                |

◆**教科書** **通材** (平成 25 年度新教材)『広告論 0830』通信教育教材 (教材コード 000186)

※価格未定 (価格は『部報』4 月号に掲載)

**当日資料配布** 講義プリント (授業時配布)

◆**参考書** **丸沼**『わかりやすい広告論』石崎徹編著 八千代出版 2,835 円 (税込) (送料 340 円)

◆**成績評価基準** 平常点 (40%) とテスト (60%) で評価します。

◆**E-Mail** :

## ■中小企業の経済・社会的役割を学ぶ

## 〔中小企業論〕

開講単位：2 単位 担当者：山本 篤民

◆**学習目標** 日本の企業数の 99% 以上は中小企業であり、常用雇用者・従業員の約 70% が中小企業で働いている。しかし、中小企業は、大企業と比べると新聞やニュースで取り上げられる機会が少ないこともあり、その経営の実態や日本の経済・社会のなかで果たしている役割が必ずしも理解されていない。本講義では、「中小企業論」研究を踏まえるとともに、中小企業の経済・社会的な役割について学んでいく。

◆**授業方法** 講義では、中小企業の実態を理解するために、文献だけではなく映像資料なども活用していく。受講生の問題関心や意見を講義に反映させるために、講義中に質疑応答を行う。積極的に発言してもらいたい。また、講義内容の理解度を確認するために、小レポートを書いてもらうことも予定している。

◆**準備学習** 『中小企業白書』や教科書・参考書の欄に記した書籍を一読することを勧めたい。また、日頃から経済動向や企業経営に関心を持って新聞やニュースをみてもらいたい。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | I. 「中小企業論」研究の方法と中小企業の把握 ①「中小企業論」の学習方法。 ②「中小企業論」研究のテーマ。<br>③中小企業の定義と数量的な把握。 ④中小企業が直面する課題。<br>II. 戦後の中小企業の発展の経緯 ①戦後復興期の中小企業。 ②高度経済成長期の中小企業。 |
| 2 日目 | ③減速経済期の中小企業。 ④90 年代不況期以降の中小企業。<br>III. 産業集積と中小企業、商店街の現状と課題 ①「産業集積論」と中小企業。 ②都市型集積と中小企業。<br>③産地集積と中小企業。④商店街と中小企業。                           |
| 3 日目 | IV. 戦後の中小企業政策の変遷 ①経済民主化型の中小企業政策。 ②中小企業基本法と中小企業近代化政策。<br>③知識集約化政策。 ④競争政策型中小企業政策。 ⑤中小企業憲章<br>V. まとめ   |

◆**教科書** **丸沼**『21 世紀中小企業論』渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫 有斐閣

2,310 円 (税込) (送料 340 円)

**丸沼**『中小企業の国際化戦略』額田春華・山本聡編 同友館 2,100 円 (税込) (送料 340 円)

◆**参考書** **通材**『中小企業論 0848』通信教育教材 (教材コード 000488)

※価格未定 (価格は『部報』4 月号に掲載)

〈この教材は市販の『現代中小企業の新機軸』永山利和編 (同友館) と同一です〉

◆**成績評価基準** 試験 70%、講義内に実施する小レポート 30%。

◆**E-Mail** :

## ◆教員に必要な基礎的教養を身につけよう

## 〔現代教職論〕

開講単位：2 単位 担当者：羽田 積男

◆**学習目標** この授業の学習目標は、現在の教員に必要な基礎的教養の形成をはかることである。またこの授業は、教職課程における入門的な科目であるので、ひろく学校教育職員を目指す者に対して、職場で必要になる専門的、実践的な知識と教養を身に付けさせることを狙う。教員への強い志向と持続する意志を合わせて持てるように導く。

◆**授業方法** この授業は主に講義法によってすすめる。できる限り双方向の授業になるように心がけたい。最近の教育に関する時事問題や国外の教育改革の動向などにも眼をくばり、教員の採用状況などを授業のなかに適宜に織り込んですすめていく。

◆**準備学習** この授業に出席するにあたり、日本の現在の学校教育の優れた点と問題点を考察して、レポート用紙 1 枚に箇条書きにまとめ、初日の授業冒頭に提出すること。その際、自分の氏名、学部名、学生番号を書いておくこと。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 1. かわる教員と教員養成の制度－教職の意義と教員の役割<br>2. かわる子どもの生活と学校（新教育基本法と教育改革）<br>3. 教師の仕事－学習指導・生徒指導・教育相談－<br>4. 教師の仕事－進路選択に資する機会の提供・キャリア教育・学級経営－ |
| 2 日目 | 5. 教師に求められる資質・能力－戦前－<br>6. 教師に求められる資質・能力－戦後・現在－<br>7. 教員の養成・教職課程の仕組み・採用と選考<br>8. 教員の研修・地位、服務、身分保障                               |
| 3 日目 | 1. 学校の制度<br>2. 学校の管理と運営体制<br>3. まとめ<br>4. 試験  |

◆**教科書** 通材『現代教職論 0903』 通信教育教材（教材コード 000418） 2,400 円（送料込）  
〈この教材は市販の『改訂新版 教職入門－教師への道－』吉田辰雄・大森正編著（図書文化社）と同一です〉

◆**参考書** 教科書に記載がある。それ以外は授業中に適宜に示す。

◆**成績評価基準** 試験によるが、授業における発言など授業への参画度を総合評価する。

◆**E-Mail**：

## ◆特別活動の意義と指導について考える

## 〔特別活動の研究／特別活動論〕

開講単位：2 単位 担当者：関川 悦雄

◆**学習目標** 学校教育における教科外活動について、その教育課程上の位置づけや教育的意義を基本的に理解し、その上で現行の学習指導要領における特別活動、すなわち学級活動・生徒会活動・学校行事などの各目標・内容・指導法について体験的に理解できるようにすることを目標とする。

◆**授業方法** テキストを中心とした講義形式で行なう。随時、レポートを課す。なお、少人数の受講者であれば、ゼミ形式で行なうこともある。

◆**準備学習** 受講者が学校教育の中で教科学習以外に、どんな楽しい活動－学校行事・部活動などを体験したかを想起し、それが自分自身にとってどのような意味や人生上の潤いをもっていたのかを考えてみよう。その気持ちでテキストに、一通り目を通して下さい。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ガイダンス。課外活動の体験に関するアンケート調査とその集計分析。教育課程の意味と定義。教育課程と課外活動の関係。   |
| 2 日目 | 課外活動における教育的価値の認められた実例①－遠足・運動会・学芸会。課外活動における教育的価値の認められた実例②－相談会・課程外指導・修練課程など。課外活動の教育課程化とその条件。自由研究の新設とその後の特別活動成立の歩み。 |
| 3 日目 | 2008 年の学習指導要領の改訂と施行。特別活動の改訂と目標。学級活動・生徒会活動・学校行事の各目標・内容・指導法など。まとめ試験。   |

◆**教科書** 通材『特別活動論 0943』 通信教育教材（教材コード 000443） 2,550 円（送料込）  
〈この教材は市販の『最新 特別活動の研究』関川悦雄著（啓明出版）と同一です〉

◆**参考書** 授業時にあれば指示する。

◆**成績評価基準** レポート作成（30%）・授業内試験（70%）の総合的評価。

◆**E-Mail**：

## ◆第二言語習得研究理論からの英語指導

## 〔英語科教育法Ⅳ〕

開講単位：2単位 担当者：岡田 善明

- ◆**学習目標** 心を通わせ英語コミュニケーションにより「いじめ」のない精神性の高い英語教育を実現するために岡田善明著「英語教育の精神と実践」及び Rod Ellis 著 *Second Language Acquisition* を基にして、第二言語習得研究の観点から、中学・高校の英語教育における指導法を考え、指導法を確立する。

特に英語指導を学習者の中間言語の発展的育成として捉え、コミュニケーション能力の指導の在り方を考えていく。

- ◆**授業方法** 予習として各章を読み、授業ではグループ学習を通して順番に学生が内容を発表し（英語か日本語）、内容に関して討論を行う。また模擬授業を行い、学習した内容を踏まえた実際の指導法を身に着ける。

- ◆**準備学習** ワークシートにより、授業で行うページを必ず予習し授業での討論に備える。

- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | オリエンテーション<br>英語科教育の精神と実践<br>1. Introduction: describing and explaining L2 acquisition   |
| 2 日目 | 2. The Nature of Lerner Language<br>3. Interlanguage<br>4. Social aspect of interlanguage<br>5. Psycholinguistic aspects of interlanguage |
| 3 日目 | 模擬授業（学習した中間言語の進化を促すための授業実践を行う）<br>試験（学習した内容の論述試験）   |

- ◆**教科書** 丸沼『英語教育の精神と実践』岡田善明著 春風社 4月中旬刊行予定 1,890円（税込）（送料340円）

通材『英語科教育法Ⅳ 0962』通信教育教材（教材コード000227）2,800円（送料込）

〈この教材は市販の『*Second Language Acquisition*』Rod Ellis 著（Oxford）と同一です〉

- ◆**参考書** 授業内で紹介する。

- ◆**成績評価基準** 輪読、模擬授業、試験等で総合的に評価する。

- ◆**E-Mail：**

## ◆漢字の造形美と筆づかいを学ぶ

## 〔漢字書法〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 晴彦

- ◆**学習目標** 中国各時代における漢字の造形美（書体）に注目した上で、実技をとおして、その造形美（書体）を構築している法則から、筆遣い（筆法）を学び取ります。あわせてその造形美（書体）の変遷と、その歴史的な意義をも理解していきます。

- ◆**授業方法** まず、漢字の造形美（書体）とその歴史的な背景について、下記の教科書や当日に配付するプリントなどをとおして、理解を深めます。その上で、著名な古典書跡を丹念に臨書し、実技の向上を目指します。

- ◆**準備学習** 受講する際には、各自で「半紙」「中筆（4号筆程度）」「小筆」「墨（墨液で可）」「毛氈（書道用下敷）」「文鎮」などの書道用文房具を準備する必要があります。また、反故となった半紙のために「古新聞」も持参するとよいでしょう。

- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 書道文房具の取り扱いとその知識<br>楷書の実技練習とその歴史的な概説<br>臨書古典…九成宮醴泉銘   |
| 2 日目 | 行書・草書の実技練習とその歴史的な概説<br>臨書古典…蘭亭叙・書譜など                 |
| 3 日目 | 隸書・篆書・金文・甲骨文の実技練習とその歴史的な概説<br>臨書古典…曹全碑・石鼓文・金文・甲骨文字など |

- ◆**教科書** 教科書は、以下の通信教育教材を使用します。事前に購入してください。

通材『漢字書法手本 0980』（教材コード000237）700円（送料込）

通材『漢字書法教本（学習指導書） 0980』（教材コード000238）850円（送料込）

- ◆**参考書** 参考書の指定は、とくにありません。〔当日資料配布〕当日配布するプリントによって理解の補助をします。

- ◆**成績評価基準** すべての日程に出席することが、最低条件となります。その上で、所定の作品を提出することになります。評価は作品点（80%）と平常点（20%）によって評価します。

- ◆**E-Mail：**

## ◆国際社会の中の日本国憲法

## 〔法学通論〕

開講単位：2 単位 担当者：遠藤 清臣

◆**学習目標** 国際的にも、国内的にも社会の構造や価値観が大きく変わりつつある。社会の価値観と法との関係を考察し、現代における日本国憲法の解釈を身につけることを目標とする。

◆**授業方法** 科目の性質上、講義形式をとらざるを得ないが、講義の進捗の度合いや参加人数をみて、可能な限り、受講者との意見交換を行いたい。

◆**準備学習** 特に必要としない。できる限り、講義を聴くことに集中してもらいたい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |                                   |
|------|---|-----------------------------------|
| 1 日目 | ①法の本質と法の性質<br>③日本国憲法の制定<br>⑤社会意識の変化と法           | ②法の下の平等について<br>④日本の法の歴史           |
| 2 日目 | ①日本法の種類<br>③国際法と国際私法<br>⑤基本的人権の体系<br>⑦外国人と基本的人権 | ②成文法と不文法<br>④権利の意義と制約<br>⑥日本国民の意義 |
| 3 日目 | ①社会権としての教育基本権<br>③民主主義と政治体系<br>⑤裁判制度            | ②法の理想と現実<br>④二院制と議院内閣制<br>⑥試験     |

◆**教科書** 指定しない。〔当日資料配布〕プリントを配布する（講義当日）。

◆**参考書** 教材『法学 0021』 通信教育教材（教材コード 000394） 1,700 円（送料込）  
丸沼『現代法学入門』 三浦隆、石川信編著 北樹出版 3,045 円（税込）（送料 390 円）  
『ポケット六法』、またはその他の軽易な六法  
（上記はいずれも必要に応じて用意すればよく、講義初日に持参する必要はない。）

◆**成績評価基準** 筆記試験の成績に、講義中の質疑応答を含めて総合的に評価する。

◆**E-Mail**：

## ◆未来に向けた生涯学習 For Future

## 〔生涯学習論〕

開講単位：2 単位 担当者：上原 義正

◆**学習目標** 生涯学習は、まだまだ若い分野でもあります。わたしたちは、身近な施設たとえば生涯学習センターやミュージアムその他に接し、日ごろの行為・行動・精神活動もまた生涯学習に該当するとはあまり気づいてないかもしれません。日常生活・非日常生活で生涯学習は潤いをもたらす学習形態なのです。絵を見る・描く、本を読む、詩を書く etc. ちょっとした身近な学習形態から生涯学習を学ぶ姿勢を涵養し、生涯学習を継続的に実践するモチベーションを高めます。

◆**授業方法** 指定テキストを順次参照することをフェーズ 1 とし、何がポイントかを探ります。フェーズ 2 では、生涯学習施設、実践、実際行われている生涯学習の事業について紹介を行います。また、プレゼンテーションの準備を行います。

◆**準備学習** 指定テキストを必ず予習してくる。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 1. 生涯学習、社会教育、生涯教育の区分についての概要を説明します。<br>2. 生涯学習の形態…生涯学習の概念を整理した上で、生涯学習の形態に関する知識を深めます。                 |
| 2 日目 | 1. 生涯学習政策と計画立案・事業展開…生涯学習政策を具体的に推進する手法を学びます。   |
| 3 日目 | 1. グループで計画する生涯学習…グループで生涯学習に関する企画立案をしてもらいます。<br>2. プレゼンテーション…上記 1 でまとめた計画案をグループで発表してもらいます。<br>3. テスト |

◆**教科書** 教材『生涯学習論 2001』 通信教育教材（教材コード 000436） 3,100 円（送料込）  
〈この教材は市販の『生涯学習概論』佐藤晴雄著（学陽書房）と同一です〉

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験 50%、授業態度 30%、プレゼンテーション 20%

◆**E-Mail**：



*MEMO*

[illegible]

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京

# 第2期

| 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考            |
|-------|---|-----------------------|----------------|
| 4月30日 | 火 | 9:30～18:30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 5月1日  | 水 | 9:00～18:30            |                |
| 5月2日  | 木 | 9:00～16:00<br>＜試験も含む＞ |                |

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名      | 担当講師名      | 充 当 科 目    |                      | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |                                       |
|------------|----------------|------------|------------|----------------------|-----------|----------|----------------|---------------------------------------|
|            |                |            | 科 目<br>コード | 科 目 名                |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件                               |
| B1         | 法 学 A          | 西山 雅晴      | 0021       | 法 学<br>(日本国憲法2単位を含む) |           | 1年       |                |                                       |
| B2         | 英 語 C          | 茂木 健幸      | 0041       | 英 語 I                |           | 1年       |                | ・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |                |            | 0042       | 英 語 II               |           |          |                |                                       |
|            |                |            | 0043       | 英 語 III              |           | 2年       |                |                                       |
|            |                |            | 0044       | 英 語 IV               |           |          |                |                                       |
| B3         | 英 語 D          | 上島 美佳      | 0041       | 英 語 I                |           | 1年       |                | ・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |                |            | 0042       | 英 語 II               |           |          |                |                                       |
|            |                |            | 0043       | 英 語 III              |           | 2年       |                |                                       |
|            |                |            | 0044       | 英 語 IV               |           |          |                |                                       |
| B4         | 英 語 学 概 説 A    | 山岡 洋       | 0085       | 英 語 学 概 説            |           | 2年       |                |                                       |
| B5         | 宗教学基礎講読 A      | 小林 紀由      | 0092       | 宗教学基礎講読              |           | 2年       |                |                                       |
| B6         | 刑 事 訴 訟 法      | 関 正晴       | 0163       | 刑 事 訴 訟 法            |           | 2年       |                |                                       |
| B7         | 税 法            | 黒川 功       | 0173       | 税 法                  |           | 2年       |                |                                       |
| B8         | 国 語 学 概 論      | 鈴木 浩       | 0351       | 国 語 学 概 論            |           | 条件<br>参照 |                | ・ 国文学専攻のみ1学年以上申込可。<br>・ その他は2学年以上申込可。 |
| B9         | イギリス文学史Ⅱ       | 猪野 恵也      | 0412       | イギリス文学史Ⅱ             |           | 2年       |                |                                       |
| BA         | 英 作 文 I        | 石川 勝       | 0447       | 英 作 文 I              | ※         | 2年       |                | ・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。             |
| BB         | スピーチコミュニケーションⅡ | アレックス ブラウン | 0454       | スピーチコミュニケーションⅡ       |           | 2年       |                | ・ 英文学専攻のみ申込可。                         |
| BC         | 史 学 概 論        | 楠家 重敏      | 0611       | 史 学 概 論              |           | 2年       |                |                                       |
| BD         | 東 洋 史 特 講 I    | 許 奕雷       | 0665       | 東 洋 史 特 講 I          |           | 2年       |                |                                       |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名                    | 担当講師名 | 充 当 科 目    |             | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |           |   |
|------------|------------------------------|-------|------------|-------------|-----------|----------|-----------|---|
|            |                              |       | 科 目<br>コード | 科 目 名       |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュム | 受 講 条 件                                     |
| BE         | 経 済 政 策 総 論                  | 周藤 利一 | 0730       | 経 済 政 策 総 論 |           | 2 年      |           | ・文理・経済・商学部のみ申込可。                            |
|            |                              |       | 0731       | 経 済 政 策     |           |          |           | ・法学部のみ申込可。                                  |
| BF         | 労 働 経 済 論                    | 今井 拓  | 0763       | 労 働 経 済 論   |           | 2 年      |           |   |
| BG         | 道 徳 教 育 の 研 究／<br>道徳教育の理論と方法 | 杉森 知也 | 0940       | 道徳教育の理論と方法  | ※         | 2 年      |           | ・本誌4ページを参照。<br>・スクーリング1回の合格で<br>単位完成する科目です。 |
|            |                              |       | 0941       | 道徳教育の研究     |           |          |           |   |
| BH         | 自 然 地 理 学 概 論                | 山添 謙  | 0977       | 自然地理学概論     |           | 2 年      |           | ・法学部・史学専攻・経済学部のみ申込可。                        |

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◆地域社会でルールを作る

〔法学 A〕

開講単位：2 単位 担当者：西山 雅晴

◆学習目標 地域社会で「ルール」を作ってみよう。

「地域社会」は賃貸者を含む。10 階建て総戸数 260 戸のマンションで、エレベーターは 26 戸毎に合計 10 台設置されており、入居時は動物の飼育禁止にであったが、隠れて飼う人がいるので、マンション管理組合は組合員の賛成をもとに飼育ルールを作ることになった。

◆授業方法 1 日目、2 日目午前、3 日目午後は講義形式で行い、2 日目午後はグループに分け、学習目標のテーマを討論し、まとめてもらいます。なお、討論中、問題点の整理方法を伝えることもあります。討論時間に関してはその場の状態をとらえ、時間に変化があることもあります。

使用する「六法」ですが、携帯電話等で「法令データベース」を閲覧可能ならばこれを利用し、判例検索も PDF ファイルを開けられる機能があれば閲覧します。このように、今日、資料の多くはネットで手にすることができます。なお、閲覧できない学生さんは休み時間に大学のパソコンでお願いします。

◆準備学習 教材等で法の概念、法源、法の適用と解釈、権利と義務、そして 3 日目に行なう予定の憲法も読んでおいてください。

◆授業計画〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 法の概念、他の社会規範との関係など基礎的なことを講義します。また、ネットでの法律の検索、判例の閲覧などの資料収集についてお知らせします。さらに、米国カリフォルニア州刑法に規定されている「Neglect」の規定をネット検索し、かつ翻訳する方法等をトライしてもらいます。なお、ネット接続可能な携帯電話で出来ます。 |
| 2 日目 | 午前は権利の概念を中心に講義し、モンスターペアレンツなどにみられる、誤った権利主張についても言及できればと考えています。<br>午後は、グループによる討論を予定しています。   |
| 3 日目 | 2 日目の討論のまとめを行い、日本国憲法の「基本的人権」、「国会」、「内閣」、「裁判所」等を取り上げる予定です。最後に試験を行います。  |

◆教科書 指定しません。

◆参考書 講義中、ネットでの検索等について知らせます。

◆成績評価基準 レポート（40%）、平常点（20%）、試験（40%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

### ◆C.Dickens の *A Christmas Carol* を読む

〔英語 C〕

開講単位：1 単位 担当者：上島 美佳

◆学習目標 チャールズ・ディケンズの初期作品である『クリスマス・キャロル』を読みます。

過去に何度も映画化されており、子ども向けのファンタジーとも捉えられる作品ですが、主人公スクルージの心理描写等、緻密な計算がなされた上で描かれた物語です。原文を正確に読むことにより、読解力の向上と作品の理解を深めることを目標とします。

◆授業方法 演習形式で行います。該当箇所を音読し、和訳してもらいます。必要事項は逐次説明を加えていきます。

また DVD を鑑賞することによって、当時のイギリス社会及び文化を認識し、作品の理解を深めます。

受講者の様子を見ながら進行します。辞書は必ず持参してください。

◆準備学習 事前に郵送されたプリントについては、訳しておいてください。（1 日目に使用するので、持参してください。）使用テキストは、当日配布いたします。

◆授業計画〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 1 日目 | ・ガイダンス<br>・テキスト購読・発表<br>・解説  |
| 2 日目 | ・テキスト購読・発表<br>・解説<br>・DVD 鑑賞 |
| 3 日目 | ・テキスト購読・発表<br>・解説・まとめ<br>・試験 |

◆教科書 **事前資料送付**（**当日資料配布**）事前及び当日にプリントを配布いたします。

◆参考書 英和辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。

◆成績評価基準 発表・試験により、総合的に評価します。

◆E-Mail：

## □長文読解を通じて、英語力向上

〔英語 D〕

開講単位：1 単位 担当者：茂木 健幸

◆**学習目標** Voice of America（米国国営放送）で使用されたニュース原稿を読み、そのトピックに関する意見を英語で表現することで、リーディングとライティングという総合的な英語の力を養っていくことを目標としています。またそれぞれのユニットで扱われる文法などの解説していきます。

◆**授業方法** 教科書に沿って授業を進めていきます。教科書には、語彙、英文作成、長文読解などの問題があります。問題を通して、それぞれのユニットでテーマとなっている文法の説明を行い、本授業の中心である長文読解を行います。長文読解では、文章を細かく読んでいくのではなく、段落や部分でどんな意味なのかを読み取っていきます。さらに、長文読解で読んだ内容について、自身の意見を英文で表現する課題があります。

◆**準備学習** 予定のユニットの本文を読んでくることが求められます。  
授業内で文章作成などを行いますので辞書は必須となります。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ガイダンス<br>Unit 1 The Story of Chocolate<br>Unit 2 The Broken Windows Theory<br>Unit 3 The Many Faces of Blogging |
| 2 日目 | Unit 4 TV and Depression<br>Unit 5 Free Classes on the Web<br>Unit 7 Entrepreneurs<br>Unit 8 Microfinance       |
| 3 日目 | Unit 10 Japanese Farm Imports<br>Unit 12 Food from Cloned Animals<br>Unit 13 Students' Mental Health            |

◆**教科書** 丸沼『VOA Special English: Reading-Writing Spiral』 ショーン・クランキー 小林敏彦 南雲堂  
1,785 円（税込）（送料 260 円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験 70%，平常評価 30% ※本授業で用いる教科書を用いた私の授業に参加したことのある方の単位認定はできません。

◆**E-Mail：**

## □英語学の概略を理解する

〔英語学概説 A〕

開講単位：2 単位 担当者：山岡 洋

◆**学習目標** 言語学の一分野としての英語学が、どのような学問分野であるか、その全体像を理解する。具体的には、英語学という学問の存在意義やその下位分類としてどのような学問分野が存在するかを説明する。本講座は、内容的には、本年度の夏期スクーリングで開講する「英語学概説」と合わせて、一つのまとまりとなるもので、今回はその全体の前半部分の話をする。

◆**授業方法** 授業形態としては、テキストに沿った教員側からの説明を基本として授業を進めていく。予習をしてくることを原則とする。教員側からの説明を基本とするが、学生側からの積極的な授業参加を期待する。そのため、質疑応答が活発になるように、教員側から常に学生側に質問を投げかけるようにする。

◆**準備学習** 下記に挙げる教科書や参考書に目を通しておくこと。3 日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 1 日目 | ことばの仕組み<br>音声学<br>音韻論 |
| 2 日目 | 形態論<br>生成文法           |
| 3 日目 | 生成文法<br>まとめ<br>試験・解説  |

◆**教科書** 丸沼『日英語対照による英語学概論』 西光義弘編，くろしお出版，1999 年 2,625 円（税込）  
（送料 390 円）

◆**参考書** 丸沼『ことばの仕組みを探る：生成文法と認知文法』 英語学モノグラフシリーズ 1，原口庄輔・中島平三・中村捷・河上誓作 研究社 2,625 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** 授業参加度（20%），最終試験（80%）

◆**E-Mail：**

## □ヘブル語聖書（旧約聖書）を学ぶ

## 〔宗教学基礎講読 A〕

開講単位：2 単位 担当者：小林 紀由

◆**学習目標** この講座はヘブル語聖書（旧約聖書）の学問的理解を目標とするものです。信仰の立場に立ち、信仰を導き育むものではありませんし、個人の人生観の形成に寄与するために主観的立場から読もうとするものでもありません。この講座ではヘブル語聖書の歴史的、社会的背景に着目しつつ、その諸文書の内容を理解することを目標としています。

◆**授業方法** 限られた時間の中ですが、まずはテキストをじっくりと読み、それが何を意味しているのかを受講生のみなさんとの議論を通して出来るだけ明らかにしてゆく。そのような手順を踏んで読み進んでゆきます。

◆**準備学習** 特にありません。ヘブル語聖書（旧約聖書）日本語訳を準備して授業にのぞんでください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ヘブル語聖書の構成、位置づけ<br>課題 1「創世記」神話の理解（1）  |
| 2 日目 | 課題 2「創世記」神話の理解（2）<br>課題 3「出エジプト記」：律法の理解  |
| 3 日目 | 課題 4「サムエル記上」：王の存在をめぐる<br>「イザヤ書」：預言書の理解<br>『ヘブル語聖書』の読まれ方<br>まとめの講義と総合的課題（課題 5）の作成提出 |

◆**教科書** 『旧約聖書』を準備してください。日本聖書協会のものでお勧めしますが、「新改訳聖書」でもかまいません。新約聖書は要りませんが、合冊になっているものであればそれでもかまいません。一日の授業時間が長いので紙媒体で出版されているものをお勧めします。

◆**参考書** 授業時間中に指示します。特に準備する必要はありません。書店で何かを探すなどはなさらない方がよいと思います。

◆**成績評価基準** 小課題 5 編（100%）。毎回出席することを前提としています。

◆**E-Mail**：

## □捜査手続における問題点を理解する

## 〔刑事訴訟法〕

開講単位：2 単位 担当者：関 正晴

◆**学習目標** 刑事訴訟手続を無罪の不如罰主義とデュー・プロセスの保障の理念の下に犯罪者の人権保障を実践するための手続過程と位置づけ、この基本的視点にもとづいて刑事訴訟制度の基本的解釈論を説明する。この観点にもとづいて、主として刑事訴訟の担い手（訴訟主体）についての問題点と捜査手続上の問題点を解説し、その手続の具体的な理解を図る。

◆**授業方法** この授業では、刑事手続の流れにしたがい、第 1 章の刑事訴訟制度の意義と刑事訴訟法から第 3 章の公訴までを説明し、その中でも主として捜査手続とそこでの基本的問題点に重点を置いて説明する。第 3 章の公訴については、基本的な制度を概説する。その際、必要に応じて裁判で問題となった事案についての判例を解説し、受講生の捜査手続の具体的な理解を促すことに努める。

◆**準備学習** 教科書として指定した関正晴編『Next 教科書シリーズ刑事訴訟法』（弘文堂）の第 1 章の刑事訴訟制度の意義と刑事訴訟法から第 3 章の公訴までを大まかに予め読んでおく、授業で説明する内容が理解し易くなるので、準備学習として教科書を一度読むことを勧める。その際に、これに対応する内容が説明されている、参考書として指定した通信教育教材『刑事訴訟法 0163』の第 1 章から第 4 章についても関心をもったテーマで良いから目を通しておく、学習効果がより高まるので余力があるならばそれを行うことを勧める。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ガイダンス（刑事訴訟法を学習する際の注意点などの説明）<br>刑事訴訟制度の意義（刑事訴訟法の意義、憲法・刑法との関係）<br>刑事訴訟の担い手（訴訟主体・・・裁判所、検察官、弁護士、被疑者・被告人等）<br>捜査の意義と端緒、任意捜査と強制捜査、逮捕・勾留とその具体的な問題点 |
| 2 日目 | 捜索・差押とその具体的な問題点、特殊な捜査方法（科学的捜査）<br>捜査における被疑者の地位（捜査の理論的構造）<br>被疑者と弁護人との接見交通権<br>違法・不当な捜査からの救済方法<br>捜査の終結                                      |
| 3 日目 | 公訴提起の基本原則（検察官起訴独占主義・起訴便宜主義）<br>検察官の訴追裁量に対する抑制方法<br>公訴提起の手続（公訴提起の方式、起訴状の記載事項、起訴状一本主義等）と公訴提起の効果等  |

◆**教科書** 丸沼『Next 教科書シリーズ刑事訴訟法』 関正晴編 弘文堂 2,520 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 通材『刑事訴訟法 0163』 通信教育教材（教材コード 000409） 2,050 円（送料込）

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、最終日の（論述）筆記試験（80%）によって評価する。

◆**E-Mail**：

## 現代税法を学ぶ

〔税法〕

開講単位：2単位 担当者：黒川 功

◆**学習目標** 具体的な税金問題を素材として、税法学の基礎理論を解明します。各人が自力で、税金問題への法的アプローチができるようにすることが目標となります。税法学は現代法の中心領域であり、その理解は激動の現代社会を生き抜く上で不可欠の素養となります。

◆**授業方法** 3日間で、ほぼ12のテーマが扱われますが、1つ1つ確実に理解することが最重要です。毎回要点を板書しますのでこれをノートし、板書後事例紹介等を織り込みながら説明しますからこれを理解し、短期間に効率的に税法理論を吸収できるように努力してください。随時、質問も受け付けます。

◆**準備学習** 予め『納税者の権利』を通読しておくことが望ましいです。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |
|-----|--|
| 1日目 | ①税法学の特質 ②税法の法的概念<br>③税法の体系 ④税法法律関係の性質・納税者基本権             |
| 2日目 | ⑤租税法律主義 ⑥地方財政権と本来的租税条例主義<br>⑦実質課税の原則 ⑧応能負担原則・応益課税論       |
| 3日目 | ⑨法と信義則 ⑩税務調査件の種類と法的限界<br>⑪租税通脱犯の構造 ⑫源泉徴収制度（又は税務争訟制度） ⑬試験 |

◆**教科書** **通材**『税法 0173』通信教育教材（教材コード000410）6,700円（送料込）  
＜この本は市販の『税法学原論』第6版 北野弘久著（青林書院）と同一です＞  
**丸沼**『納税者の権利』岩波新書 840円（税込）（送料260円）

◆**参考書** **丸沼**『現代税法講義・5訂版』法律文化社 3,675円（税込）（送料390円）  
**丸沼**『日本税制の総点検』勁草書房 2,310円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 論文式の筆記試験（90%）と平常点（10%）で評価を行います。

◆**E-Mail**：

## 現代日本語を観察対象として捉えなおす

〔国語学概論〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 浩

◆**学習目標** 生まれたときからことばはある。私たちは、ことばにつつまれて生活している。この、ことば（現代日本語）に対して、立場を変えて、客観的に把握することのできる基礎認識をつくろう。そして全体的理解をもったうえで部分的知識をそのなかに位置づけられるようになろう。

◆**授業方法** 講義形式。ただし、学習者の主体的なかかわりを要求するので、演習的側面をもつ。具体的には、発問をひんばんにおこない、それに対して自発的に挙手して回答・発言することを求め、双方向のやりとりをしながら授業を進める。グループを形成して討議することも人数や進行状況に応じて取り入れる。

◆**準備学習** （1）指定する学術論文について、その論旨を批判的に読みとった結果をまとめたものを授業1日目に提出する。記載のしかたを説明した文書を履修生あて二週間前には送付するので、それにのっとって行うこと。  
（2）その日の授業内容に関して理解を確認する質問文を作成し、2日目・3日目に提出する。（2）については授業1日目に詳しく説明する。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |
|-----|--|
| 1日目 | ・言語研究の諸領域（付）音声と表記——ことばはどんな側面に分析されるか——<br>・語彙論（1）多義性と類義性——単語の意味はどのように存在するか——<br>（2）語構成——単語はどのようにかたちづくられるか—— |
| 2日目 | ・文法論（1）形態論——品詞（単語の文法的分類）はどのように存在するか——<br>（2）統語論・単文——単語から文はどのようにくみだてられるか——                                  |
| 3日目 | ・文法論（3）統語論・複文——複文はどのようにくみだてられるか——<br>・確認と総括<br>・試験   |

◆**教科書** **当日資料配布** 当日、プリントを配布する。

◆**参考書** 適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 試験 35%、準備学習 45%（1日目 25%、2日目・3日目 各10%）、参加行動 20%。参加行動20%は、発言・質問など、授業内で受講生が自発的に行った学習行動に対して認めるものである。出席点ではないから、出席して受け身の態度でいる場合、この20%は得点できない。

◆**E-Mail**：

## □ロマン派詩人からヴィクトリア朝まで

## 〔イギリス文学史Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：猪野 恵也

◆**学習目標** ロマン派の詩人達からヴィクトリア朝の作家達の生涯や作品を概観する。扱わない作家や作品があるので、英文学史というより英文学誌として捉えて欲しい（去年の夏期スクーリングとほぼ同じ内容です）。

◆**授業方法** プリントを配布し、それらを読み上げてゆく。作品からの抜粋を読んだり、作品理解のために映画を観たりします。プリントの構成は作家の生涯、作品のあらすじ、評価となっている。扱う作家と作品については授業計画を参照して下さい。時間切れで扱わない作家と作品があるかもしれません。その場合はご容赦下さい。

◆**準備学習** 受講前にどんなイギリス文学史の本でも構わないので、ロマン主義からヴィクトリア朝まで読み、イギリス文学史のおおまかな流れを把握して下さい。スクーリングで扱う作品を翻訳でよいので（できれば原書で）、読んでおくといでしょう。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 18 世紀のイギリス文学概観／Jane Austen ( <i>Pride and Prejudice</i> )／William Wordsworth と S.T.Coleridge ( <i>Lyrical Ballads</i> )／John Keats ( <i>Ode to a Nightingale</i> など)／ヴィクトリア朝の時代について                        |
| 2 日目 | 小テスト／ブロンテ姉妹 ( <i>Jane Eyre</i> ／ <i>Wuthering Heights</i> )／George Eliot ( <i>Middlemarch</i> )／Charles Dickens ( <i>Oliver Twist</i> )／George Meredith ( <i>The Egoist</i> )／Thomas Hardy ( <i>Tess</i> ) |
| 3 日目 | Henry James ( <i>The Portrait of a Lady</i> )／Oscar Wilde ( <i>The Picture of Dorian Gray</i> )／Joseph Conrad ( <i>Heart of Darkness</i> )   |

◆**教科書** 当日資料配布 当日プリント配布（枚数多し）。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 試験（70%）小テスト（15%）平常点（15%）3 日間の短期スクーリングなので皆出席を前提とする。各自のスケジュールを確認してから受講して下さい。

◆**E-Mail**：

## □文法を重視した英作文の書き方

## 〔英作文Ⅰ〕

開講単位：2 単位 担当者：石川 勝

◆**学習目標** テキストは文法の誤りを正しながら英語を書くという形になっている。それにしたがって品品田細かな点に注意しながら英語の書き方を学ぶことを目的とする。

◆**授業方法** テキストを中心に授業を行う。事前に指示された個所を予習しておくこと。授業中はアトラダムに指名し発表してもらう。予習していない場合は単位を認めない。

◆**準備学習** 各 Unit の英文の個所と A-1, A-2, B を行う。前の時間に指示された個所の予習をしておく。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 1 日目 | ガイダンス<br>Unit1～3 の演習と解説 |
| 2 日目 | Unit4～6の演習と解説<br>小テスト   |
| 3 日目 | Unit7～9の演習と解説<br>小テスト   |

◆**教科書** 丸沼『*Common Errors in English Writing Sixth Edition*』 マクミラン・ランゲージハウス  
1,890 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 特に必要ない。

◆**成績評価基準** 皆出席と予習が基本条件である。そのうえで2 回行う小テストの結果で評価する。

◆**E-Mail**：



## Speech Communication II

## 〔スピーチコミュニケーションⅡ〕

開講単位：1 単位 担当者：アレックス ブラウン

◆**学習目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency.

◆**授業方法** This course syllabus will be topic-based where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used in the various topics. Students will incorporate the language covered by performing group tasks and role plays. The course is open to all students, however the language and activities are set for pre-intermediate to intermediate language abilities.

◆**準備学習** There are no prerequisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | Course Introduction, Ice-breakers. Topic 1: Obligations                                    |
| 2 日目 | Topic 1 : Suggestions<br>Topic 2 : Conditionals  |
| 3 日目 | Topic 4 : The Future. Preparation for Oral test and Exam<br>Speaking test and Written Exam |

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes.

◆**参考書**

◆**成績評価基準** Grades will be based on a final exam and a speaking test.

◆**E-Mail :**

## 歴史書と歴史学の歴史を知ろう

## 〔史学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：楠家 重敏

◆**学習目標** 歴史学の三つの要素は理論、方法論、叙述である。まず叙述の歴史（史学史）の具体例を講義し、そして歴史理論と方法を検討する。

◆**授業方法** 講義形式である。

◆**準備学習** 日本、中国、西欧の歴史書を事前にいくつか読んでおいてほしい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | (1) 歴史とは何か（歴史、ヒストリー、ゲジヒテ）<br>(2) 古代中国の歴史書（春秋、史記、漢書、史通）<br>(3) 日本の歴史書（古代～江戸時代） |
| 2 日目 | (4) 歴史学の成立（ヨーロッパと日本）<br>(5) 日本の歴史書（近代）  |
| 3 日目 | (6) 史学概論の歴史<br>(7) 歴史学の研究方法   |

◆**教科書** 特になし。

◆**参考書** 授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 試験（70%）、出席（30%）。

◆**E-Mail :**

〔東洋史特講Ⅰ〕

エキライ  
突雷

- ◆**学習目標** アメリカは軍事外交政策の重点を「アジア回帰」へ舵を切った。第二次世界大戦後、アメリカはヨーロッパ諸国列強にとって代わり東アジアに最も影響力を持ち、最強の軍事プレゼンテンスを展開している国となった。冷戦が終焉して20年以上経った今日でも、北東アジアにおいて依然冷戦の基本構造から抜き出していない。中国の台湾問題、朝鮮半島の分断、日本の米軍駐在、さらに現在日中間で緊迫している尖閣諸島の激突などの様々な問題は、アメリカと直接関係している。本講義は、国際関係史の視点から東アジアの現代史及び域内の諸国際問題の歴史背景を理解できることを学習目標とする。
- ◆**授業方法** 主に講義形式で行う。Powerpoint、プリント資料なども活用する。  
授業参加の積極性と学習の自主性を高めるために、2回のディスカッションを行う。また、2回のディスカッションのテーマに関する小レポートの提出が望ましい。
- ◆**準備学習** 授業の前に、戦後のアメリカと東アジアの基礎知識を身に付けていただきたいです。ディスカッション用の資料や内容を事前に収集し、用意してほしい。  
ディスカッションのテーマ①「アメリカと東アジアの核・原子力」；②「尖閣諸島問題」  
二つのテーマに関する小レポートの提出は任意で、長さも任意。  
本講義の専用ホームページは、<http://www.geocities.jp/iacstudy/teach/aehistory.html>

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 1. アメリカと東アジアの概況 2. 戦後国際体制に関する国際会議と宣言 3. 中国内戦へのアメリカの介入<br>4. アメリカの日本占領 5. 朝鮮戦争 6. ディスカッションⅠ（アメリカと東アジアの核・原子力）                    |
| 2 日目 | 7. ジュネーブ会議 8. 東アジアにおけるアメリカの同盟形成と日米安保 9. ベトナム戦争<br>10. アメリカの東アジアからの軍事的撤退 11. 沖縄返還 12. アメリカ・日本と中国の関係正常化<br>13. ディスカッションⅡ（尖閣諸島問題） |
| 3 日目 | 14. 日米中の蜜月 15. 冷戦後の中国政策の苦悩 16. アメリカと北朝鮮問題<br>17. 中国の台頭による国際構造変動とアメリカの「アジア回帰」 18. 論述試験  |

- ◆教科書 指定しない。  
◆参考書 指定しない。  
◆成績評価基準 論述試験 50%，ディスカッション 30%，受講態度と学習意欲 20%。  
小レポートの提出は任意ですが、提出された場合は加点される。

## 〔經濟政策總論〕

担当者：周藤 利一

- ◆**学習目標** 経済政策の基礎理論と、現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を理解することを目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。経済政策の意義、経済体制の選択、経済の成長と安定、国際収支と対外関係等の基礎的理論を理解するとともに、金融政策、財政政策、租税政策、産業政策、貿易政策、企業政策、雇用・労働政策、社会保障政策等の主要な経済政策の内容を学びます。
- ◆**準備学習** 本講義は、初級～中級の理論レベルの内容を取り上げます。そのため、理論的知識に不安のある学生は、事前に、マクロ経済理論、ミクロ経済理論の入門レベルの書籍を読むことを推奨します。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |    |  |
|------|----|--|
| 1 日目 | 1  | 経済政策序論：経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の配分と所得の分配、価格機構など  |
|      | 2  | 国民経済論・経済成長論：国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法など   |
|      | 3  | 国際収支と対外関係：国際収支の構造、資本流入と資本流出、外国為替市場と為替レートなど   |
|      | 4  | 金融政策論：管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライ、自己資本比率規制など  |
| 2 日目 | 5  | 財政政策論：財政制度の意義、財政投融资、裁量的財政政策、財政赤字問題、財政再建など  |
|      | 6  | 租税政策論：租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類、日本の税制の課題など  |
|      | 7  | 貿易政策論：比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、雁行形態モデルと馬跳びモデル、経済開発の戦略と国際貿易、輸入代替戦略、WTO ルール、ドーハ・ラウンド、FTA、EPA、TPP 等の貿易自由化政策 |
| 3 日目 | 8  | 雇用政策論・労働政策論：労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善、職業生活など  |
|      | 9  | 社会保障政策論：私的保障と公的保障、給付の方式、財源の調達、社会保険と公的扶助など  |
|      | 10 | 社会福祉政策論：社会福祉の客体、供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係など  |
|      | 11 | 資源・エネルギー政策論：世界のエネルギー事情、省エネ対策、福島原発事故以後のエネルギー政策  |

- ◆教科書 指定なし。**〔当日資料配布〕** 当日プリント配布。  
◆参考書 授業で紹介します。  
◆成績評価基準 試験 70%、平常点 30%  
◆E-Mail :

## ◆賃金形成の3つの側面と労働者階級の分裂と統一〔労働経済論〕

開講単位：2単位 担当者：今井 拓

◆**学習目標** 資本制社会における労働者の賃金は、①歴史的社会的に形成された労働者家族の生活水準を基礎に、②資本家階級の利潤追求とそれに対抗する労働組合の運動（労働市場での力関係）および、③国家の労働政策・社会政策により、規定されます。そして、賃金形成は、①所得としての賃金、②価格としての賃金、③社会的実践としての賃金、として分析されてきました。本講は、これら賃金形成にかかわる論点を検討し、今日の労働者階級の利害対立の根拠及び統一へ向けた社会的条件について考え、福祉国家確立の意義を明らかにします。

◆**授業方法** 1日の冒頭30分で前日の質問・意見・小レポート等への応答を行い、各テーマについて1時間20分の講義を行います。各講義の最後10分間で講義を受けて大事だと思った要点や質問・意見、1日の最後50分で課題について小レポートを作成してもらいます。

◆**準備学習** 笹島芳雄（2009）『労働の経済学』中央経済社を通読し、要点をまとめるとともに、疑問点をピックアップしておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 第1講 労働とは：主な学派の労働観 第2講 商品とは何か、労働力の商品化と労働者の生活問題<br>第3講 資本とは何か、企業の利潤追求と労働問題 第4講 資本制社会の矛盾、生産力の発展と失業問題<br>小レポート（課題についての論述） |
| 2 日目 | 応答 第5講 熟練形成の3つの側面 第6講 所得としての賃金、第7講 価格としての賃金<br>第8講 社会的実践としての賃金 小レポート（課題についての論述）                                       |
| 3 日目 | 応答 第9講 フェミニスト派賃金論へのマルクス派の応答：労働者階級の分裂と統一<br>第10講 年功賃金論 第11講 「労働力の脱商品化」と福祉国家 論述試験                                       |

◆**教科書** **事前資料送付** レジュメ・資料を配布する。レジュメ・資料は毎日持参し参照できるようにすること。

◆**参考書** **通材**『労働経済論 0763』通信教育教材（教材コード000468）3,400円（送料込）  
〈この教材は市販の『労働の経済学』笹島芳雄著（中央経済社）と同一です〉  
本講の理論的内容は、littler,1982,The Development of the Labour process in capitalist society, Heineman Educaton Books 及び Figart,Mutari,and Power,2002, Living Wages, Equal Wages; Gender and Labor Market Policies in the United Staets,Routlidgeに沿っていますが、その他の参考文献は講義中に示します。

◆**成績評価基準** ① 論述試験 ② 小レポート ③ リアクションペーパーの内容の総合

◆**E-Mail**：

## ◆「魅力ある」道德教育の展開力を修得する〔道德教育の研究／道德教育の理論と方法〕

開講単位：2単位 担当者：杉森 知也

◆**学習目標** 道德教育の基礎的な理論について、その周辺領域の広がりも含めて理解する。また、模擬授業やグループディスカッションを通して、明確な「ねらい」をもった魅力的な道德の時間を構想し実践するための基礎を培う。

◆**授業方法** 講義形式による概説と、模擬授業・グループワーク等でおこなう。模擬授業（45分）は、全員が必ずおこなう。受講人数等によっては、若干計画を変更する可能性がある。現職教員がこの授業に参加できるのであれば、その方との意見交流等も設定する予定である。

◆**準備学習** 事前に指定教科書を必ず読み、その趣旨に基づいて模擬授業をおこなうテーマを各自で決め、必要な資料を多く収集しておくこと。テーマの修正は、授業の間でも利くが、資料収集や構想を立てるのに相当な労力を要するので、45分の授業ができるような深まりのあるテーマと内容を構想して授業に臨むこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ガイダンスー道德教育の授業を振り返るー<br>新学習指導要領の要点<br>道德教育の実践にむけて①ー指導案作成の方法ー<br>道德教育の実践にむけて②ー教材（題材）研究の方法と視点ー |
| 2 日目 | 道德教育の歴史<br>道德教育の実践にむけて③ープレゼンテーションと意見交換ー<br>道德教育の新たな広がりーシティズンシップ教育、キー・コンピテンシー、キャリア教育と道德教育ー   |
| 3 日目 | 道德教育の実践ー模擬授業と批評会ー   |

◆**教科書** **丸沼**『中学校学習指導要領（平成20年9月）解説ー道德編ー』文部科学省 日本文教出版 138円（税込）（送料340円）

**事前資料送付** この他に、プリントを配布する。

◆**参考書** 授業時に、適宜、指示する。

◆**成績評価基準** 模擬授業（70%）、平常点（30%）で、総合的に評価する。模擬授業は、授業の構想・計画・遂行能力を総合的に評価する。指導案・配布資料等の提出物の評価も「模擬授業」の評価に入るが、これは模擬授業そのものの以上に評価ポイントが高いので、十分、準備して講義に臨むことが必要である。

◆**E-Mail**：

## ◻人間にとっての自然環境

## 〔自然地理学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：山添 謙

◆**学習目標** 人間とその周囲に広がる環境との間には、非常に密接な関係がみられる。とくに、人間社会と自然環境との関係は、人間社会の過去・現在・未来を考察する際の基本的な認識として重要視されている。この授業では、環境の成り立ちを理解した上で、人間にとっての自然環境について考察する。「自然環境が人間社会にどのような影響を与えているか」、また「自然環境は人間社会からどのような影響を受けているか」という着原点を持って学んでいく。

◆**授業方法** 教材を提示しながら、必要に応じ資料を活用して授業を展開する。また、地理情報を読み取るための地形図はじめとする図表類の読み取りや、作成作業を通して理解を深める。

◆**準備学習** 太陽－地球との関係、地球の運動など、中学校理科の学習内容について、事前に復習をしておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 環境のとらえ方：環境とは何か、人間にとっての環境について、人間と環境との相互作用。<br>人間の生活空間としての地球：地球システムの構造、太陽・月・地球。<br>プレートテクトニクスと地形：プレートの成り立ちと運動。プレート境界の種類と活動。世界の地形。<br>日本の地形の特徴：日本列島のプレート分布、日本の火山活動・地震活動。 |
| 2 日目 | 気候システムとは何か：地球の熱収支、地表面における太陽エネルギーの分布と変化。大気大循環。<br>気候とは何か：気候要素の特徴（気温、降水量）、代表的な気候因子。<br>気候区分：世界の気候区。日本の気候。局地的な気候。<br>気候の変化：第四紀の気候変化。地球温暖化にともなう気候変化。                      |
| 3 日目 | 世界の植生：植生の位置づけ、植生のとらえ方。世界の植生分布。<br>世界の土壌：土壌の位置づけ、土壌のとらえ方。世界の土壌分布。<br>まとめ 気候・植生・土壌のかかわり。  |

◆**教科書** **当日資料配布** 当日資料を配付します。高等学校地歴科の地図帳を持参してください。

◆**参考書** **通材**『自然地理学概論 0977』 通信教育教材（教材コード 000236） 2,300 円（送料込）  
**丸沼**『自然地理学概論』 高橋日出男・小泉武栄編著 朝倉書店 3,465 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** 毎回出席をすることを前提に評価する。評価は試験 80%、提出物 20%とする。

◆**E-Mail**：

*MEMO*

[illegible]

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京

# 第3期

| 日       | 程 | 授 業 時 間                     | 備 考            |
|---------|---|-----------------------------|----------------|
| 5 月 3 日 | 金 | 9 : 30 ~ 18 : 30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 5 月 4 日 | 土 | 9 : 00 ~ 18 : 30            |                |
| 5 月 5 日 | 日 | 9 : 00 ~ 16 : 00<br>＜試験も含む＞ |                |

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名            | 担当講師名  | 充 当 科 目    |               | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |  |
|------------|----------------------|--------|------------|---------------|-----------|----------|----------------|--|
|            |                      |        | 科 目<br>コード | 科 目 名         |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件  |
| C1         | 哲 学                  | 長谷川 武雄 | 0011       | 哲 学           |           | 1 年      |                |  |
| C2         | 政 治 学 A              | 関根 二三夫 | 0023       | 政 治 学         |           | 1 年      |                |  |
| C3         | 英 語 E                | 山下 登子  | 0041       | 英 語 I         |           | 1 年      |                | ・ I ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                  |
|            |                      |        | 0042       | 英 語 II        |           |          |                |  |
|            |                      |        | 0043       | 英 語 III       |           | 2 年      |                |  |
|            |                      |        | 0044       | 英 語 IV        |           |          |                |  |
| C4         | 英 語 F                | 天野 暁子  | 0041       | 英 語 I         |           | 1 年      |                | ・ I ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                  |
|            |                      |        | 0042       | 英 語 II        |           |          |                |  |
|            |                      |        | 0043       | 英 語 III       |           | 2 年      |                |  |
|            |                      |        | 0044       | 英 語 IV        |           |          |                |  |
| C5         | 倫 理 学 基 礎 講 読        | 真船 えり  | 0093       | 倫理学基礎講読       |           | 2 年      |                |  |
| C6         | 国 際 法                | 渡部 茂己  | 0124       | 国 際 法         |           | 2 年      |                |  |
| C7         | 民 法 Ⅲ A              | 長谷川 貞之 | 0134       | 民 法 Ⅲ         |           | 2 年      |                |  |
| C8         | 商 法 A                | 根田 正樹  | 0140       | 商 法           |           | 2 年      |                |  |
| C9         | 地 方 自 治 論            | 山田 光矢  | 0226       | 地 方 自 治 論     |           | 2 年      |                |  |
| CA         | 漢 文 学 I              | 丸山 茂   | 0371       | 漢 文 学 I       |           | 2 年      |                |  |
| CB         | ア メ リ カ 文 学 史        | 鈴木 孝   | 0414       | ア メ リ カ 文 学 史 |           | 2 年      |                |  |
| CC         | 英 米 文 学 A<br>特 殊 講 義 | 岩城 久哲  | 0431       | 英 米 文 学 講 義   |           | 2 年      |                |  |
| CD         | 新 聞 英 語              | 桑山 啓子  | 0472       | 新 聞 英 語       | ※         | 2 年      |                | ・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。                              |
| CE         | 英 語 学 演 習 D          | 田中 竹史  | 0481       | 英 語 学 演 習 I   | ※         | 3 年      |                | ・ 英文学専攻のみ申込可。<br>・ I ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |                      |        | 0482       | 英 語 学 演 習 II  |           |          |                |  |
|            |                      |        | 0483       | 英 語 学 演 習 III |           |          |                |  |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名 | 充 当 科 目    |         | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |   |
|------------|-----------|-------|------------|---------|-----------|----------|----------------|---|
|            |           |       | 科 目<br>コード | 科 目 名   |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件   |
| CF         | 英米文学演習 E  | 北原 安治 | 0486       | 英米文学演習Ⅰ | ※         | 3年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |           |       | 0487       | 英米文学演習Ⅱ |           |          |                |   |
|            |           |       | 0488       | 英米文学演習Ⅲ |           |          |                |   |
| CG         | 英米文学演習 F  | 岡田 善明 | 0486       | 英米文学演習Ⅰ | ※         | 3年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |           |       | 0487       | 英米文学演習Ⅱ |           |          |                |   |
|            |           |       | 0488       | 英米文学演習Ⅲ |           |          |                |   |
| CH         | 東洋思想史Ⅱ    | 梅川 純代 | 0518       | 東洋思想史Ⅱ  |           | 2年       |                |   |
| CJ         | 日本史特講Ⅰ    | 鈴木 哲  | 0661       | 日本史特講Ⅰ  |           | 2年       |                |   |
| CK         | 考古学概説     | 野中 和夫 | 0679       | 考古学概説   |           | 2年       |                |   |
| CL         | 西洋経済史     | 上村 能弘 | 0724       | 西洋経済史   |           | 2年       |                |   |
| CM         | 社会政策論     | 今井 拓  | 0761       | 社会政策論   |           | 2年       |                | ・文理・経済・商学部のみ申込可。                                    |
|            |           |       | 0762       | 社会政策    |           |          |                | ・法学部のみ申込可。  |
| CN         | 貿易論       | 松原 聖  | 0822       | 貿易論     |           | 2年       |                |   |
| CO         | 経済地理学     | 田村 和彦 | 0973       | 経済地理    |           | 2年       |                | ・商学部のみ申込可。  |
|            |           |       | 0974       | 経済地理学   |           |          |                | ・法・文理・経済学部のみ申込可。                                    |
| CP         | 英語科教育法Ⅰ   | 佐藤 恵一 | 0996       | 英語科教育法Ⅰ | ※         | 2年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。            |
| CQ         | 博物館教育論    | 濱田 晋介 | 2015       | 博物館教育論  | ※         | 2年       | D              | ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。                            |

**注 意**

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

## ◆哲学の根本的対象とは何か

〔哲学〕

開講単位：2 単位 担当者：長谷川 武雄

◆**学習目標** 「哲学」についてかつて言われてきたように、「学問の学問」「学問を基礎づけるもの」とみるならば、あらゆる学問の前提となる基礎的分野だけではなく、更に日常生活での前提となっている故に見逃される、あるいは「無駄」という一言で敬遠される問いへの接近である。その「気づき」を促すきっかけとしての「哲学的思考・態度」を認識してもらう。

◆**授業方法** 基本的に「講義」を中心とするが、「問う」という観点も加える。この点からの講義の中では、様々な「問い・答え」の組合せ（いわゆる「対話」）方法を通して、「聞く」に加え「疑問（問い）」に対する「答え」を導き出す手順・流れを追いながら（どのように「考えるべきか」）進める。

◆**準備学習** 知識は実践すること、つまり最終的には「実際に行動すること」をもって本来の知識と言える。講義ではその前段階、つまり講義に結びつけることが可能である、と確信できるところへの到達を目指す。そのためには十分な理由を持って「問い・答える」ということが必要である。だから十分な理由を常に意識すること、この「心掛け」が準備でありそれを実践し続けることである。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 1 これからの講義について全体説明。<br>2 論述文について（その本質と書き方等）。<br>3 アリストテレスによる哲学史（『形而上学』より）。                            |
| 2 日目 | 4 日本語と哲学の問題（和辻哲郎の指摘：①日本語と日本精神、②「ある」の意義、③「こと」の意義）。<br>5 存在への問い（パルメニデス、デカルト）。<br>6 人間への問い（ソクラテス、マルクス）。 |
| 3 日目 | 7 文化への問い（ホルクハイマー、アドルノ『啓蒙の弁証法』より）：①「啓蒙」の概念、②オデュッセウスあるいは神話と啓蒙。   |

◆**教科書** 特に指定はしない（ただし、以下の参考書を一部講義で使用する）。  
〔当日資料配布〕また必要に応じてプリントを配布。

◆**参考書** 丸沼『いま哲学とはなにか』 岩田靖夫 岩波新書（新赤版 1137） 735 円（税込）（送料 260 円）  
丸沼『日本語の哲学へ』 長谷川三千子 ちくま新書（866） 819 円（税込）（送料 260 円）

◆**成績評価基準** 最終試験（50%）、授業時課題（主に論述）（30%）、授業時質疑応答・その他（20%）。最終的には、以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

◆ E-Mail：

## ◆政治を基礎から学びましょう

〔政治学 A〕

開講単位：2 単位 担当者：関根 二三夫

◆**学習目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しいことのように感じられます。しかし、そこで制定され執行される法律や予算は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** 政治学は、社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会を構成する人々はそれぞれ考え方が異なりますので、同じ原因が示されても異なった結果が生じるのが通例です。政治学の学問としての課題もそこにあり、現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学習の準備として、メディアの記事などに関心を持ち、問題点を把握することが必要になります。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理）<br>※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やあるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。                              |
| 2 日目 | 議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴）<br>※一院制や二院制、立法部と行政部との関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴などを学びます。                         |
| 3 日目 | 政党（発展過程・形態・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型・方向性）とリーダーシップ<br>※政党がどのように発展してきたか、また、その動きや問題点などを考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点を学びます。さらに、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて考えます。 |

◆**教科書** 教材『政治学 0023』 通信教育教材（教材コード 000279） 1,800 円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『問題発見の政治学』 関根二三夫他 八千代出版 2,415 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%、  
※試験同様、質問や小テストへの解答等の平常点も重視しますので、受講に際しては、欠席をしないように注意してください。

◆ E-Mail：



## ◆基礎英文法の向上を目指す

〔英語 E〕

開講単位：1 単位 担当者：山下 登子

◆**学習目標** 英語学習において基礎となる文法力と語彙力を見直すことで、英語四技能の総合的な習得向上につなげることを目標とする。

◆**授業方法** 初日にグループ分けを行いグループ活動を中心にした演習形式である。文法事項を確認した上で、グループで練習問題の答え合わせ・板書・発表を行う。授業時に問題点を確認できるように、また円滑にグループ活動ができるように、必ず予習を行うこと。随時、確認の小テストを行う。学習範囲は Unit 6 までとし、その範囲で進められない箇所はレポート課題を課す。

◆**準備学習** 辞書などを参考にしながら分からない単語などの下調べを行い、事前に学習範囲の理解を行ってください。間違えたり分からないところがあっても、それを認識することでその後の学習につながります。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ・ ガイダンス<br>・ Unit 1～2 / 小テスト<br>・ グループワーク          |
| 2 日目 | ・ Unit 3～5 / 小テスト<br>・ グループワーク                     |
| 3 日目 | ・ Unit 6 / 小テスト<br>・ グループ発表<br>・ まとめ及び質疑<br>・ 最終試験 |

◆**教科書** 丸沼『Prime English—Grammar and Vocabulary—（文法と単語から学ぶ基礎英語）』 角岡賢一ほか著 成美堂 1,995 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 英和辞書（電子辞書可）

◆**成績評価基準** 予習・発表・受講状況・グループワーク（40%）、小テスト（10%）、最終試験（50%）。

◆**E-Mail：**

## ◆『奥様は魔女』で学ぶ英語

〔英語 F〕

開講単位：1 単位 担当者：天野 暁子

◆**学習目標** アメリカのホームドラマの脚本を楽しみながら英語の基礎を復習し、基本的な単語および日常的な会話表現を習得する。英語の音声聴き、話す能力を伸ばす。発音の基礎を確認します。

◆**授業方法** 各 Unit の会話の決まり文句を暗唱し、会話で用いられる語句をチェック、DVD を視聴しながら、まずテキストの文字を目で追わず、内容をどのくらい自分で理解できるか確認します。適宜、会話文のスキプトの穴埋めも行います。文法項目を復習した後、会話文をペアまたはグループでロールプレイをします。

◆**準備学習** 該当の DVD を予め視聴しておくこと、内容理解が高まります。中学・高校の参考書を復習しておきましょう。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ガイダンス（進度は変更する場合があります）<br>第 1 話「タバサだけのママ」(Tabitha's Very Own Samantha)<br>Unit 1～5 接続詞、前置詞、副詞、準動詞、関係代名詞   |
| 2 日目 | 第 2 話「秘密がばれちゃった」(Samantha's Secret is Discovered)<br>Unit 6～10 名詞を修飾するもの、名詞の働きをするもの (1)～(5)<br>第 3 話「口はわざわいのもと」(The Phrase is Familiar)<br>Unit 11 |
| 3 日目 | 第 3 話「口はわざわいのもと」(The Phrase is Familiar)<br>Unit 12～15<br>試験   |

◆**教科書** 丸沼『奥様は魔女』のファンタスティック・イングリッシュ・ワールド 開文社 1,995 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** DVD『奥様は魔女 シーズン 6 VOL.4』 ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント  
中型英和辞書（電子辞書は可ですが、授業内でのスマホ、タブレット系の辞書は不可です）

◆**成績評価基準** 発表（30%）、小テスト等（20%）、試験（50%） 毎回出席することを前提として、総合的に評価します。

◆**E-Mail：**

## ◆ヒュームにおける自然な徳と道德感情

〔倫理学基礎講読〕

開講単位：2 単位 担当者：真船 えり

◆**学習目標** 道德的な善と悪、徳と悪徳とはどのように区別されるのか、という問いに対して、道德感覚あるいは道德感情によって、と答える学派があります。そのなかから、18 世紀のイギリスの哲学者デイヴィッド・ヒュームの『人間本性論 第三巻 道德について』の第一部と第三部の一部を読み、ヒュームの道德論における自然な徳と道德感情について理解することを目標とします。

◆**授業方法** 哲学者デイヴィッド・ヒュームとその著『人間本性論』及びその方法論について概説した後、テキストを精読し、必要に応じて、内容やヒュームのテクニカルタームについて解説します。テキストを受講者で輪読し、読み進んだ箇所に関する課題を受講者全員で考察し、テキストの理解を確認しながら講読を進めます。

◆**準備学習** テキストをまずは自分で読み、問題意識をもつことが望まれます。また、「感覚」や「感情」という語に関わるイメージによる「道德感覚」、「道德感情」への先入観を排し、虚心坦懐にテキストに取り組む姿勢をもつことが望まれます。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 1 インTRODクシヨン——ヒュームと『人間本性論』とその方法論<br>2 徳と理性<br>3 徳と悪徳と道德感覚<br>4 自然な徳と悪徳の根源について |
| 2 日目 | 1 徳と悪徳と性格あるいは人柄<br>2 社会にとっての善と共感<br>3 道德的評価と一般的観点<br>4 大いなる精神の性質について          |
| 3 日目 | 1 善良さと善意について<br>2 まとめとディスカッション<br>3 試験  |

◆**教科書** 〔当日資料配布〕『人間本性論 第三巻 道德について』デイヴィッド・ヒュームのプリントを配布します。

◆**参考書** 必要があれば授業のなかで紹介します。

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、試験（50%）。  
授業内の課題に関するミニレポートによる平常点と最終回の試験により総合的に評価します。  
授業全出席の方が採点対象となります。

◆E-Mail：

## ◆国際法の基礎および国際環境法

〔国際法〕

開講単位：2 単位 担当者：渡部 茂己

◆**学習目標** 国際法は国際社会を規律する法規範であり、国際社会は、一面では同じ「社会」として国内社会と共通し、他面では異なる特徴を有する。共通する面では、「社会あるところ法あり」と言えるし、異なる面では、国際社会の特徴を理解することが国際法を理解する上で重要である。実定国際法の具体的内容については、国家および地球環境の保護に関する国際法の基礎を理解する。

◆**授業方法** 教科書のほか、パワーポイント、視聴覚教材（DVD）、配布レジュメや資料プリントに基づいてなるべく平易に解説したい。質疑等を歓迎する。

◆**準備学習** できれば教科書の『国際法』を事前にひと通り目を通し、理解しておくことが望ましい。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | □国際社会の特質と国際法の基本構造および法源 □国際法の諸分野と現代国際法の位置付け<br>※広義での国際法は古代以来の歴史があることと、かつ、国際社会の特質のなかでの今日の国際法が有する基本的特徴を理解する。                |
| 2 日目 | □国際法の法主体 □地球環境問題に対する伝統的法的対応（国家責任）<br>※国際社会の法の主体を国内法主体と比較して理解する。国際法主体の代表的存在である「国家」について、とりわけ国際環境法の事例をもとに国家責任の性質について学ぶ。     |
| 3 日目 | □世界遺産諸条約 □野生動植物の保護：生物多様性条約およびワシントン条約（CITES）その他<br>□国連気候変動枠組条約と京都議定書<br>※国際環境法としてよく知られている、代表的な条約を取り上げて、それぞれの内容を分かり易く概観する。 |

◆**教科書** 〔通材〕『国際法 0124』通信教育教材（教材コード 000462）2,750 円（送料込）  
〈この教材は市販の『国際法』渡部茂己・喜多義人編（弘文堂）と同一です〉

◆**参考書** 〔当日資料配布〕授業内配布の参考資料等。

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、論述試験（参考書・ノート等の参照可）（50%）。スクーリングは、毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

## ◆債権法総論の基礎を学ぶ

〔民法Ⅲ A〕

開講単位：2 単位 担当者：長谷川 貞之

◆学習目標 債権法の基本構造を理解し、民法を体系的に捉える視点を身につけることを学習目標とし、以下の知識体系の修得ないし整理を目指す。

- ・「債権」の意義・目的・種類を「給付」概念を通じて把握すること。
- ・債権が「請求権」を中心にどのように組み立てられているかを理解すること。
- ・「債権の効力」に関する民法上の制度を対内的対外的関係から整理すること。
- ・「債権の消滅」として、弁済、代物弁済、供託、相殺などの意義・機能を知ること。

### ◆授業方法

- ・講義を中心とし、適宜、ソクラテスメソッド（問答方式）をもって行う。
- ・教科書に即し、習熟度または必要に応じて、資料等を配布する。

### ◆準備学習

- ・民法総則・物権法の既修者を対象とする。
- ・教科書の事前の熟読と復習を不可欠とし、講義ノートを各自作成する。

### ◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ①民法典と財産法、債権法における総論と各論／②債権の意義・目的、債権の法的性質、債権と物権の違い／③債権の目的—給付とは何か？／④給付の内容からみた債権の種類（特定物債権、種類債権、金銭債権、選択債権など）／⑤債権の効力（1）：履行請求、債務不履行、第三者による債権侵害 |
| 2 日目 | ⑥債権の効力（2）：債権者代位権と詐害行為取消権—責任財産の保全／⑦多数当事者の債権債務関係（1）：保証と連帯保証、共同保証、信用保証など／⑧連帯債務・不真正連帯債務／⑨求償関係、弁済による代位                                       |
| 3 日目 | ⑩債権譲渡・債務引受、契約上の地位の移転／⑪債権の消滅原因（1）：弁済・代物弁済・供託、／⑫同（2）：相殺／⑬その他の債権消滅原因／⑭民法（債権法）改正の議論と最近の動向／⑮まとめ&試験   |

◆教科書 丸沼『民法Ⅲ—債権総論〔第3版補訂〕』〈有斐閣Sシリーズ〉野村豊弘ほか 有斐閣 2012年 1,785円（税込）（送料340円）

◆参考書 授業中に、適宜、紹介する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、平常点（20%）、試験（80%）で評価する。

◆E-Mail：

## ◆企業取引と法

〔商法 A〕

開講単位：2 単位 担当者：根田 正樹

◆学習目標 わが国は、一面企業を中心とした社会といえます。この企業は商品やサービスを他の企業や消費者に提供することによってなっています。こうした企業の行う取引について規制しているのが「企業法としての商法」です。この授業では、商法の概要を勉強した後、企業取引に関わる諸問題について、実際に即して勉強したいと考えています。

◆授業方法 シラバスに従った講義形式となりますが、できるだけ具体的事例を挙げながら、受講者の皆さんと一緒に考える勉強にしたいと思います。

◆準備学習 通信教育のテキスト『商法』の第1編および第2編を事前に2、3回読んでスクーリングに臨んでください。不明な部分、理解できないところは飛ばして最後まで読んでください。その際、六法のある商法などの条文も読んでみてください。

### ◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 企業法としての商法の概要と規制原理および企業の物的設備、人的設備を内容とします。物的設備については、商業登記制度、商号、会計帳簿などを対象とします。人的設備については、営業活動の補助者である商業使用人や代理商などを対象とします。 |
| 2 日目 | 企業取引の基礎および企業取引の諸類型と法規制を内容とします。具体的には、企業取引の基礎として契約の基本を学習したうえで、企業取引のいくつかの類型（売買取引など）について検討します。                         |
| 3 日目 | 企業取引の最終段階ともいえるべき支払決済について学習します。具体的には、総論ともいえるべき決済方法の多様化や約束手形の法律関係について検討します。<br>授業の終わった後、試験を行います。                     |

◆教科書 通材『商法 0140』通信教育教材（教材コード000451）2,000円（送料込）  
なお、小型の六法を必ず持参して下さい。

◆参考書 必要に応じて資料を配布する予定です。

◆成績評価基準 受講状況（20%） 試験（80%）

◆E-Mail：

## ◆地方自治制度改革の歴史と現在と将来を考える [地方自治論]

開講単位：2 単位 担当者：山田 光矢

◆**学習目標** 最初に地方自治制度の歴史と展開過程をヨーロッパを中心に自治権の特徴を含めて考察し、次いで、明治維新以降の日本の地方自治制度の確立と変遷を歴史的な流れを中心に分析し、その後、平成の地方分権改革が政権交代を通じてどのように実施されてきたのかを分析し、日本の地方自治制度の今後のあり方を考えてもらいます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。教科書の他に必要な資料を提供し、受講生の考えを聞きながら、皆さんの知識や理解度を高めていくことを前提にして講義します。一方的な講義にならないように、受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めたいので、質問にはきちんと答えてください。また質問がある場合には積極的に発言してください。

◆**準備学習** 日本の地方分権改革と地域主権改革の歴史と内容の分析を行いますので、とにかく新聞等の情報を入手して講義に参加してください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ①国家と地方公共団体：「take off の原理」、国民国家誕生と地方自治制度<br>②地方公共団体と自治権：固有権説、伝来（承認）説、制度的保証説他<br>③ヨーロッパの主要国の地方自治制度発展の歴史および法制度による相違他<br>④選挙等を通して見た地方行政政策の相違：日本・イギリス・ドイツ他 |
| 2 日目 | ①明治政府と自治制度：廃藩置県、大区・小区、三新法、明治の大合併他<br>②日本国憲法と自治制度：日本国憲法第八章と地方自治法<br>③日本の地方公共団体の種類と特徴：普通地方公共団体と特別地方公共団体他<br>④昭和の大合併と広域市町村圏、平成の大合併と定住自立圏・地域自治区他          |
| 3 日目 | ①地方分権改革の流れ：地方分権改革と地域主権、小泉政権と地方自治制度改革<br>②講義のまとめと質疑応答<br>③試験   |

◆**教科書** 丸沼『地方自治論』 山田光矢・代田剛彦編 弘文堂 2,100 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 通材『地方自治論 0226』 通信教育教材（教材コード 000349） 1,900 円（送料込）  
その他必要な場合には講義の中で指定する

◆**成績評価基準** 答案を 60 ～ 70% で、小テストや平常点を 30 ～ 40% で評価する。最高点を 100 点とし、全体を総合的に勘案して採点する。

◆ E-Mail：

## ◆中国古典の世界 [漢文学 I]

開講単位：2 単位 担当者：丸山 茂

◆**学習目標** 漢字で記された中国古典の思想・歴史・文学の名作を厳選し、1 字 1 句でいねいに解説しながら作者の人間の魅力を探り、彼らが生きた時代の文化を浮き彫りにする。

◆**授業方法** 「中国文化の特色」「辞書・参考書等の使い方」を概説したあと、発表形式で原文を訓読・解釈する。随時 DVD 等の視聴覚教材を用いて「中国古典の世界」を立体的に紹介する。試験は 3 日目の午前中に実施し、午後には模範解答を提示して各自、3 日間の成果を確認する。

◆**準備学習** できるだけ早い時期に『史記』『世説新語』『文章軌範』『古文真宝』『唐詩選』など古くから我が国の先人に親しまれてきた中国古典を最寄りの図書館で探し、各自の好みに合った作品を探しながら多読しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 午前 「中国文化の特色」「辞書・参考書等の使い方」<br>中国・台湾製の DVD 教材を用いて中国文化を紹介<br>午後 中国古典散文を読む 『史記』『世説新語』の魅力を紹介<br>中国古典詩を読む 孟浩然の「春暁」を読んだあと李白・杜甫・王維の作風を比較しながら解説                           |
| 2 日目 | 午前 中国古典散文を読む 韓愈・柳宗元の魅力<br>午後 中国古典詩を読む 白楽天の世界<br>春の詩を中心に白居易の詩を読む<br>映画『レッドクリフ（三国志演義「赤壁の戦い」）』『長恨歌』『ラバーズ』『夜宴』などの一部を用いて唐代の文物を紹介したのち、BS「正倉院」などのテレビ映像の一部を用いて唐代の貴族社会を紹介 |
| 3 日目 | 午前 筆記試験<br>午後 模範解答の紹介  |

◆**教科書** 通材『漢文学 I 0371』 通信教育教材（教材コード 000437） 1,800 円（送料込）  
丸沼『社会人のための漢詩漢文小百科』 田部井文雄（主編） 大修館 1,050 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 『社会人のための漢詩漢文小百科』 巻末付録参照

◆**成績評価基準** 毎時間 5 ～ 10 分程度で課した小論文 30%、発表・質疑などの積極性 10%、最終日午前中筆記試験 60%を総合して評価。

◆ E-Mail：

## □アメリカ文学をより楽しむための基礎知識

## 〔アメリカ文学史〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 孝

- ◆**学習目標** 16世紀後半から20世紀初頭までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキストを利用して概観し、その流れを把握していくことを目標とします。

(2012年度東京スクーリング(春期第3期)受講者は同一内容のため受講不可。)

- ◆**授業方法** テキストで扱われている作家について、生い立ちや作品の特徴などに関する講義を、配付資料も利用しながら行ったあと、その理解度を確かめる小テストを随時行います。テキストのしっかりした予習だけでなく、その読解から生まれる旺盛な好奇心を期待します。

- ◆**準備学習** 講義中心の授業となるので、事前に配付される資料、並びにテキストに記載された引用文については必ず前もって目を通しておいて下さい。また、可能であれば、テキスト巻末にある「例文の翻訳書」の中で入手しやすいものについては、それらを通読しておいて下さい。

- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |
|-----|--|
| 1日目 | *植民地時代から Nationalism へ<br>2. [Captain] John Smith 3. William Bradford 4. Anne Bradstreet 5. Jonathan Edwards<br>6. Benjamin Franklin 7. Charles Brockden Brown 8. Washington Irving 9. James Fenimore Cooper<br>10. William Cullen Bryant 11. Edgar Allan Poe 12. Ralph Waldo Emerson<br>(13. Henry David Thoreau) |
| 2日目 | * Romanticism (American Renaissance) から Realism, Naturalism へ<br>13. Henry David Thoreau 14. Nathaniel Hawthorne 15. Herman Melville 16. Walt Whitman<br>17. Emily Dickinson 18. Mark Twain 19. Henry James 20. Stephen Crane<br>21. Theodore Dreiser (23. Sherwood Anderson)                                      |
| 3日目 | * Chicago Renaissance, Modernism, Lost Generation 他<br>23. Sherwood Anderson 22. Carl Sandburg 24. Robert Frost 25. Langston Hughes<br>26. William Carlos Williams 27. F. Scott Fitzgerald 28. Ernest Hemingway<br>*試験   |

- ◆**教科書** 丸沼『*An Outline of American Literature* (アメリカ文学概観)』井上謙治編著 南雲堂 1,260円(税込)  
(送料260円)

\*『アメリカ文学史 0414』通信教育教材とは別の教科書ですのでご注意ください。

- ◆**参考書** 教科書47ページ参照。その他授業中に紹介します。

- ◆**成績評価基準** 平常点(50%)、試験(50%)の総合評価。但し欠席、遅刻のない学生のみを対象とします。

- ◆**E-Mail** :

## □ヴィクトリア時代の文学

## 〔英米文学特殊講義 A〕

開講単位：2単位 担当者：岩城 久哲

- ◆**学習目標** 芸術・宗教・時代などからヴィクトリア時代の文学を理解する。

- ◆**授業方法** 講義を中心にすすめますが、感想・発言・翻訳などを求めます。DVDを使用することもあります。

- ◆**準備学習** 授業計画に記述した作家の作品を英語でも日本語でもよいので読んでおいてください。

- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |   |
|-----|---|
| 1日目 | C. ディキンズ, M. サッカレー, スコットを中心にすすめます。オリバー・ツイスト, クリスマス・カロール, 虚栄の市, ウェイヴァリーなどを扱います。    |
| 2日目 | J. オースティン, プロンテ, G. エリオットを中心にすすめます。分別と多感, 自負と偏見, 嵐が丘, ジェーン・エア, ダニエル, デロンダなどを扱います。 |
| 3日目 | T. ハーディを中心にすすめます。テスト, カスターブリッジの市長, 許されぬ願い, 憂鬱な軽騎兵, 気休めになどを扱います。                   |

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕担当者がプリントなどを準備するが、準備学習の記述を読み、予め学習しておくこと。

- ◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** コメントなどの参加度(50%)、最終日に行なうテスト(50%)。評価基準を変更するときは最初日に説明する。

- ◆**E-Mail** :

## ◻英字新聞を読む。

## 〔新聞英語〕

開講単位：2 単位 担当者：桑山 啓子

◆**学習目標** 英字新聞の記事を読めるようになるのが第一の目標である。また、新聞記事を通して世界の政治、経済、文化、科学等の情報に触れ、知識を深めるのも目標の一つである。

◆**授業方法** 平成 24 年から 25 年の The Japan Times, The Daily Yomiuri からの記事を和訳または要約する。英文を読みながら英字新聞の記事の構成、5W1H、新聞英語の特徴などを見て行く。授業は演習形式で行い、学生全員に英文を和訳、もしくは要約してもらう。詳しいことは第 1 日目の最初の時間に説明するので必ず出席して説明を聞いてもらいたい。

◆**準備学習** 通信教育部の「新聞英語」のテキストの「学習指導所」を予め読んでおくこと。また、事前送付されたテキスト（新聞記事のコピー）をよく読み、分からない語は辞書で調べ、和訳、要約のどちらも出来るようにしておくこと。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | (午前) ガイダンス ・英字新聞の構成と新聞英語の特徴、5W1H についての説明<br>新聞記事の和訳<br>(午後) 新聞記事の和訳・要約、まとめの小テスト |
| 2 日目 | (午前) 新聞記事の和訳<br>新聞記事の要約<br>(午後) 新聞記事の和訳・要約、まとめの小テスト                             |
| 3 日目 | (午前) 新聞記事の和訳<br>新聞記事の要約<br>(午後) 新聞記事の和訳・要約<br>試験                                |

◆**教科書** **事前資料送付** 新聞記事のコピーをテキストとして事前送付します。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業内の発表（25%）、予習調べ、小テスト等（25%）、最終試験（50%）

◆**E-Mail**：

## ◻統語論演習

## 〔英語学演習 D〕

開講単位：1 単位 担当者：田中 竹史

◆**学習目標** 本講座では、言語学・英語学の主要な分野の一つである統語論を中心に扱う Haegeman（2006）を取り上げ、具体的な言語現象とその分析を通じて、英語学の立論の仕方や基盤となる知識などを身に付ける事を目標とします。

具体的には Wh 疑問や関係詞など文の左端に関わる現象を議論している Chapter 5 を扱い、今回のスクーリングでこのテキストを読み終える予定です。

◆**授業方法** Chapter 5 The Periphery of the Sentence の Introduction から始め、テキストに沿った演習形式(e.g., 受講者による担当部分の内容説明の後に教員による補足説明)で進めます。

◆**準備学習** 短期集中講座ですから、単位取得のためには十分な準備（e.g., 英語学の基礎事項・用語確認、本文和訳・内容把握）が求められます。必ず予習を行い授業に臨むよう努めて下さい。

テキストは統語論の入門用ですが、今回は最終章を扱いますので、文の構造に関する基礎的知識のない初学者には不向きです。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 初回ガイダンス<br>基礎知識確認<br>0. Introduction<br>1. Recapitulation   |
| 2 日目 | 2. Constructing the Periphery of the Sentence<br>3. How Far Can You Move? And How Do You Get There? |
| 3 日目 | 4. The Periphery of Non-Finite Clauses<br>5. Relative Clauses : An Introduction<br>6. Summary       |

◆**教科書** **事前資料送付** 『Thinking Syntactically : A Guide to Argumentation and Analysis』  
Liliane Haegeman 2006 Oxford: Blackwell Publishing Ltd. (コピーを事前配布します)

◆**参考書** 英語学の入門書（e.g., 通信教育部英語学概説教材『英語学入門』、『ファンダメンタル英語学』、…）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）とレポートにより総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆『ジェイン・エア』卒論に役立つ演習

## 〔英米文学演習 E〕

開講単位：1 単位 担当者：北原 安治

◆**学習目標** 卒論に役立つポイントを押さえながらフェミニズム小説の古典『ジェイン・エア』を読んでいます。今年は『ジェイン・エア』の演習を2回やりますが、それぞれちがったところを読みます。

◆**授業方法** 19世紀英国の女流作家シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』の抜粋本の第8章の途中から一日4ページほど読んでいきます。学生さんにひとりひとり当てていくので、かならずしも予定通りには進みません。辞書を引いて単語を一語一語調べる予習をしてもらいたいです。なお、卒論で悩んでいる学生さんにアドバイスを与えながら進めていきたいと思ひます。なお、1996年に映画化されていますので参考にしてください。500円の名作DVDの『ジェイン・エア』（オーソン・ウェルズ主演、1944 白黒版）もあるので、これも参考にするとよいでしょう。なお講義中にDVDを見せる場合があります。

◆**準備学習** 本文をノートに3～5行おきに手書きで写して、単語を調べておくこと。講義で文法構造と和訳を言うので書く。最終日にノート検査をします。辞書を必ず持つてくること。最終日の試験は100分としてテスト用紙の表面は和訳、裏面すべてを論述に当てます。ジェインは誰からどの様な影響を受けて人間的に成長していくか時系列に沿ってまとめて暗記しておくこと。試験は持ち込みなしです。

◆**授業計画**（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 4 ページ前後進むのが目安ですが、英文が大変難しいので、学生さんの予習いかんによって時間がかかり必ずしも読めないことがあります。DVD を見せる場合があります。 |
| 2 日目 | 4 ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。  |
| 3 日目 | 3 ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。限定した部分の和訳、そして全体的内容を書く論述を組み合わせたテスト。持ち込みなし。 |

◆**教科書** **事前資料送付**『ジェイン・エア』 西崎注 北星堂書店（ダイジェスト版です）  
すでにお持ちの方はお使いください。絶版なので各自にプリントを郵送。112 ページ第8章「ナイチンゲールのうた」の途中から122 ページまで読む予定。プリントは122 ページ以降のページも送ることがあるので、時間のある人は多めに予習しておけば良い。

◆**参考書** **丸沼**『ジェイン・エア』（上・下二冊本）光文社古典新訳文庫  
上 859 円（税込）（送料 340 円）、下 919 円（税込）（送料 340 円） 2 冊で送料 390 円。  
『ジェイン・エアを読む』 中岡 洋（著）開文社出版（1995）絶版

卒論を書く方は『ジェイン・エア』完全版を買っておけば良いでしょう。インターネットの書店アマゾンなどで、ノートン版（Norton Critical Edition）を買われればよいでしょう。二千円ぐらいだと思います。ノートン版は紙の質がよいので書き込みやすいです。無いときはペンギン版やワールズ・クラシック版で良いでしょう。『Jane Eyre : An Authoritative Text, Contexts, Criticism』（Norton Critical Editions）（ペーパーバック）Charlotte Bronte（著）、Richard J. Dunn（編集）  
出版社：W W Norton & Co Inc；3 版（2000/10）  
通信教育部文学専攻（英文学）OG の HP も参照。「吉川はつよ」「ジェイン・エア」で検索。

◆**成績評価基準** 小テスト、試験などの総合評価。皆出席を望みます。ノートをしっかりとノートなきものは不合格。ノートは本文、文法構造、和訳をしっかりと書くこと。

◆**E-Mail：**

## ■エマソンの *Nature* から人間の nature のあり方を学ぶ〔英米文学演習 F〕

開講単位：1 単位 担当者：岡田 善明

◆**学習目標** エマソンの *Nature* (『自然論』) を講読し、人間の nature (性質) のあるべき姿を学び、特に近代以降、機械のように扱われてきた「自然」観を改め、自然と共存した精神と自然が nature という語で示されているように本来は共通の要素を持ち、自然は人間に真の生きる哲学を与えまた未来の世界も心の nature が創造する働きがあることを学習する。

◆**授業方法** エマソン *Nature* を読み、ワークシートの問題をグループごとに討論し、その内容を全体にレポートする。また各自の鑑賞内容を英語で発表する。特に自然との共存により、人間がどのように生きるべきかを考える授業にしていきたい。文学の内容であるので、難解な部分は日本語を使用する場合もある。

◆**準備学習** テキストの英文を自宅で熟読し、ワークシートの問題を英語で答えて、授業に臨む。また作品を鑑賞した後、試験での英文のエッセイを課すのでその準備学習もする。3 日間の講座であり、事前の予習が大切で、内容を難しいと感じる学生は、訳本等も参考にして内容をよく理解することが、授業での討論の理解と英語での発表に役立つ。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 1. エマソンの自然哲学についての講義<br>2. テキストの以下の項目の内容の討論<br>Nature 「自然」について、人間の nature (心の内宇宙) と nature (外自然) について学ぶ<br>Beauty 「美」は自然の美から心の美すなわち善に通じることを学ぶ |
| 2 日目 | Language 「言葉」には言霊があり、心と自然を結び付けるものであることを学ぶ<br>Discipline 「自然」には人間を「教育」する力があることを学ぶ<br>Idealism 「自然」は人間の心の反映したものであるという「観念論」を学ぶ。                 |
| 3 日目 | Spirit 「自然」は人間の「精神」とかつては同一の起源をもっていたことを学ぶ。<br>Prospects 未来は人間の精神が「予想」したものととして具現される可能性がある。<br>試験 (内容についての英文のエッセイを書く)                           |

◆**教科書** **事前資料送付** Emerson の *Nature* の授業で扱う箇所は事前にプリントを送付するが、どの版でも良いので、実際の英文の作品を購入しておくことが望ましい。

◆**参考書** 授業で紹介するが、できればカントの「純粋理性批判」を読んでおくと授業の理解につながる。

◆**成績評価基準** 試験での成績を中心に評価する

◆E-Mail：

## ■性と愛のなかの中国思想

〔東洋思想史Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：梅川 純代

◆**学習目標** 中国で発達した性愛技法、房中術を軸にすえ、儒教、道教、神仙思想、医学など、様々な思想を概観する。唐代末までを中心に、宋、明代ころまでをみていく。

◆**授業方法** 下記のような演題の講義をする。特に興味を抱いた内容について各人の考え、感想等をレポートしてもらう。

◆**準備学習** 特になし。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 性愛と医学<br>「イントロダクション」「いのち」と「からだ」 「性愛と「からだ」のやまい」 「性愛と「こころ」のやまい」<br>「中国の「ヴァイアグラ」の誕生」 |
| 2 日目 | 試合と宗教<br>「儒教と宗教をつなぐ「いのち」と「からだ」」「こども」のつくり方」「神仙とはなにか」「道教餃子論」<br>「内丹概論」              |
| 3 日目 | 性愛のテクニック<br>「房中術のテクニック」「体位にみる房中術派考」「神明をめぐる冒険―こころ」と「からだ」の飛翔」<br>「レポート」             |

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配付。

◆**参考書** 丸沼『「気」の思想から見る道教の房中術―いまに生きる古代中国の性愛長寿法』 坂出祥伸・梅川純代  
五曜書房 2,499 円 (税込) (送料 340 円)

◆**成績評価基準** 平常点およびレポートで評価する。

◆E-Mail：



## ◆日本史特講 I

## 〔日本史特講Ⅰ〕

開講単位：2 単位 担当者：鈴木 哲

- ◆**学習目標** 日本人の歴史を特徴づけているものの一つに、平安時代以降に数多く出現した怨霊の存在があります。各時代に繰り返えされた対立・抗争の結果、勝者が自らの打倒した敗者の怨霊の祟りに脅え、その慰霊・鎮魂に苦悩する姿を通して、それぞれの怨霊が勝者の作り出す歴史にどのような歴史的影響を与えたのかを考察します。
- ◆**授業方法** まず、多数の怨霊が出現した歴史的理由を検証してみます。その上で、王族や貴族、そして武士の世界から生み出された各時代の代表的怨霊を対象にして、それぞれの怨霊の祟りの在り方と、その慰霊・鎮魂の有様を探っていきます。合わせて、現代にも通ずる日本人固有の霊魂観との関連性について考えてみます。
- ◆**準備学習** 各概説書などを通して、平安から鎌倉に到る時代の歴史的展開を概略的に理解しておくとともに、日本史辞典や日本史用語集などを参考にして、当該期の基本的な歴史的用語についての必要な知識を準備した上で講義に臨んでください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 怨霊出現の歴史的理<br>皇位継承問題と怨霊<br>菅原道真の怨霊と天神信仰                      |
| 2 日目 | 平将門の怨霊と坂東武者の世界<br>紫式部の怨霊と王朝社会の女性<br>安倍晴明と陰陽道<br>崇徳院の怨霊と保元の乱 |
| 3 日目 | 源義経の怨霊伝説と奥州<br>後鳥羽院の怨霊と承久の乱<br>後醍醐天皇の怨霊と天皇家<br>日本の鎮魂文化      |

- ◆教科書 当日資料配布 当日にプリントを配布する。
- ◆参考書 丸沼『闘争と鎮魂の中世』 鈴木哲・関幸彦 山川出版社 2,310 円（税込）（送料 340 円）
- ◆成績評価基準 試験結果と受講状況を総合的に評価する。試験（80%），受講状況（20%）。
- ◆E-Mail：

## ◆文字資料と考古学との接点を探る

## 〔考古学概説〕

開講単位：2 単位 担当者：野中 和夫

- ◆**学習目標** 考古学と文献史学は、歴史を復元する上で相互理解を深めることが重要である。双方の特長を指摘しながら、関東地方を例にあげ、古墳時代から古代にかけての資史料をもとに時間の変遷を踏まえながら、具体的に論じる。あわせて中央と地方との関係も考える。
- ◆**授業方法** 講義形式による授業。2日目に博物館での資料見学を予定。江田船山古墳出土の銀象嵌大刀や(以下文章欠落)
- ◆**準備学習** 古墳時代から古代にかけての概要について、教科書や参考書を利用して学んでおくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 古墳時代とは何か。関東西部（上野・武蔵・相模）の主要古墳の分布と時間的変遷からみた特徴。埼玉稲荷山古墳の発掘と金象嵌鉄剣的指摘・考古学的評価。「武蔵国造の乱」の史料と考古学的成果との照会。これらについて詳述する。 |
| 2 日目 | 午前中、博物館見学。江戸船山古墳出土の銀象嵌大刀を実験し、埼玉稲荷山古墳出土の金象嵌鉄剣の文字資料との比較検討。西関東にみる終末期古墳、中でも八角形墳と上円下方墳を紹介し、中央との関係を探る。           |
| 3 日目 | 影向寺跡出土の「无射志国荏原評」銘古瓦について、歴史的・考古学的評価をする。文字の内容はもとより、国評制から国郡制への移行。律令制確立に至るまでの経過を学び、影向寺跡と橘樹郡衙との関係も考える。          |

- ◆教科書 教科書は使用せず、**当日資料配布** プリント配布。
- ◆参考書 **丸沼**『川崎・たちばなの古代史—寺院・郡衙・古墳から探る—』 村田文夫 有隣新書  
1,050 円（税込）（送料 260 円）  
**丸沼**『同型鏡とワカタケル』 川西宏幸 同成社 9,975 円（税込）（送料 390 円）
- ◆成績評価基準 平常点（20%），定期試験（80%）。
- ◆E-Mail：

## ◻重工業と世界資本主義経済（1870-1914年）〔西洋経済史〕

開講単位：2単位 担当者：上村 能弘

◆**学習目標** 1870年以降、製鋼業を中心とした重工業が主導産業となったことによって、世界資本主義経済には大きな構造変動がもたらされることとなりました。この講義では、その経済史的な意義を、それに先行する綿工業の時代や鉄工業の時代とともに考察し、明らかにすることを目的とします。

◆**授業方法** 主に講義形式で授業を進めますが、最終日の「まとめ」のなかで質疑と討論を行う予定です。

◆**準備学習** 特別な「準備学習」は必要ありませんが、受講に当たっては、高等学校の「世界史」で扱われるような知識を、ごくおおざっぱにでも持っていることが便利です。時間があるようでしたら、お手許の「世界史」の教科書や参考書のうち、18世紀末から19世紀初めにかけての「産業革命」のあたりから、第1次世界大戦の勃発（1914年）あたりまでのページを、ざっと眺めておくことをお勧めします。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |  |
|-----|--|
| 1日目 | 主導産業の交替<br>綿工業・鉄工業から重工業へ<br>製鋼業における技術革新<br>産業構造の再編成                      |
| 2日目 | 世界資本主義経済の構造変動<br>交通・通信手段のいっそうの発達と景気循環<br>農業の構造変動とモノカルチャ経済体制の形成<br>通商の多角化 |
| 3日目 | 金融構造の変動<br>荷為替信用制度の確立<br>植民地銀行と「帝国主義」<br>まとめ：質疑と討論                       |

◆**教科書** 使用しません。

◆**参考書** 講義の進捗にあわせ適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（100%）。毎回出席していなければ解答できないような問題を作成し、出題します。

◆**E-Mail**：

## ◻福祉国家の諸類型と社会政策の課題〔社会政策論〕

開講単位：2単位 担当者：今井 拓

◆**学習目標** 現代の資本制社会は、福祉国家の形成によって特徴づけることが可能です。しかし、各社会のありようは、社会政策の基本的な目標と機能に応じ、大きく異なり、自由主義（アメリカ型）、保守主義（ドイツ型）、社会民主主義（スウェーデン型）等の諸類型により分析され、研究されてきました。本講においては、福祉国家の諸類型の特徴を解説し、日本の社会政策の特徴と課題について考察していきます。

◆**授業方法** 各テーマについて1時間20分の講義を行います。受講者は、各講義の最後10分間で講義を受けて大事なと思った要点や質問・意見などのリアクションペーパーを記述し、提出します。

◆**準備学習** 参考書『よくわかる社会政策』の序、社会政策と日本社会の現状、Ⅰ．社会政策の考え方、Ⅱ．賃金と社会政策、Ⅲ．労働時間、Ⅳ．雇用・失業、Ⅴ．労使関係 を通読しておくこと。また参考書『福祉政治』も通読することが望ましい。さらに、疑問や質問をまとめておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|     |   |
|-----|---|
| 1日目 | 第1講 社会政策とは：資本主義の基本的な矛盾・特徴と社会政策の目的・機能、第2講 福祉国家とは：福祉資本主義の3つの世界、第3講 福祉国家の成立と後退           |
| 2日目 | 第4講 アメリカ型福祉国家Ⅰ：特徴と成立過程、第5講 アメリカ型福祉国家Ⅱ：新自由主義による批判と社会政策の後退、第6講 日本型福祉国家の成立過程、小レポート（論述課題） |
| 3日目 | 第7講 日本の労働法制の特徴と問題点、第8講 「日本的経営」の特徴と日経連による批判、第9講 日本型福祉国家の変質と再編                          |
| 4日目 | 第10講 ドイツ型福祉国家の特徴と課題、第11講 スウェーデン型福祉国家の特徴と到達点、第12講 日本型福祉国家の特徴と社会政策の課題 論述試験              |

◆**教科書** 当日資料配布 レジューメ・資料を配布する。レジューメ・資料は毎日持参し、参照できるようにすること。

◆**参考書** 丸沼『福祉政治』 宮本太郎 有斐閣（2008）1,570円（税込）（送料340円）  
丸沼『良くわかる社会政策』 石畑良太郎・牧野富夫編著 ミネルヴァ書房（2009）2,730円（税込）（送料390円）  
 その他講義中に示します。

◆**成績評価基準** ① 論述試験 ② 小レポート ③ リアクションペーパーの内容の総合

◆**E-Mail**：

## 世界をめぐるヒト・モノ・おカネの動き

## 〔貿易論〕

開講単位：2 単位 担当者：松原 聖

◆**学習目標** 国際貿易、国際収支、外国為替に関する日本経済・世界経済の諸問題について、基礎的な知識と分析能力を養うことを狙いとしています。主なトピックは以下の通りです：（１）日本の対外取引の現状、（２）貿易の利益と国内問題、（３）貿易実務の基礎、（４）国際収支、（５）外国為替市場と為替レート。各トピックは独立したものではなく、相互に関連しています。

◆**授業方法** 講義においては理論の説明だけでなく、現実の統計データや新聞記事などを元に、日本経済・世界経済の国際貿易、国際収支、外国為替に関する問題を説明します。講義当日の日本経済新聞朝刊を持参するとよいでしょう。

各講義日の最後にその日の講義のまとめと、現実のトピックに関するビデオ視聴やディスカッションなどを行う予定です。質問・意見を歓迎します。

◆**準備学習** 普段から新聞・雑誌やテレビ・インターネットの（経済）ニュースに目を通して、日本経済・世界経済に関する時事問題についての知識を深めておくこと、講義の理解に役立ちます。

講義で用いる経済学のツールは講義中でも説明しますが、事前に経済学の入門テキスト（参考書参照）に目を通しておくこと、講義をさらに理解しやすくなります。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ① イントロダクション（講義の概観）<br>② データでみる日本の貿易<br>③ 比較優位の原理Ⅰ：リカードの貿易理論<br>④ 比較優位の原理Ⅱ：ヘクシャー・オリーンの貿易理論<br>⑤ 本日のまとめとディスカッション |
| 2 日目 | ⑥ 自由貿易と保護主義<br>⑦ 貿易の流れ（貿易実務入門）<br>⑧ 国際収支Ⅰ：国際収支表とは何か<br>⑨ 国際収支Ⅱ：国際収支と国民所得勘定<br>⑩ 本日のまとめとディスカッション                |
| 3 日目 | ⑪ 国際取引と外国為替市場<br>⑫ 為替レートと産業調整<br>⑬ 本日のまとめとディスカッション<br>⑭ 試験   |

◆**教科書** 通材『貿易論 0822』通信教育教材（教材コード000439）2,350円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『入門 国際経済』中北徹 ダイアモンド社 2005年 2,940円（税込）（送料390円）

丸沼『日経文庫ベーシック貿易入門第3版』久保広正 日本経済新聞社 2005年 1,050円（税込）（送料260円）

丸沼『マンキュー入門経済学』N. グレゴリー・マンキュー著、足立ほか訳 東洋経済新報社 2008年 3,360円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 授業への取組（発言等）・試験により、総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆転換期の産業と経済を考える

〔経済地理学〕

開講単位：2 単位 担当者：田村 和彦

◆学習目標 経済のサービス化・ハイテク化が進行している産業の立地展開について解説をする。グローバル化の進展が続いている。国内産業の空洞化も進行している。アジア諸国の経済力が増加しつつある現在、国際的・国内的にも空間的な経済格差が問題となっている。この点に言及してみたい。経済の成熟化の観点から論じてみる。

◆授業方法 講義方式。専門科目なので上記の産業・経済の動向は既に了解しているという前提で講義を進める。したがって、教科書の進行は早い。

◆準備学習 中華人民共和国が日本を抜いて世界で GDP2 位となった。先進資本主義諸国は BRICs への投資や資本の参入を進めている。産業の流動化である。経済情報の収集に注意を払い、最新の情報と経済の動向に注目すべきである。

◆授業計画〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 『経済地理テキスト』。I. 経済地理学の意義と定義について。成熟社会について。I. 第 1 章－第 3 章。       |
| 2 日目 | I. サービス化・情報化社会の定義について。I. 第 3 章－II. 第 4 章。                    |
| 3 日目 | サービス化・情報化社会の定義（後半）。ソフト化・ハイテク化の定義について。II. 第 4 章－第 5 章。<br>試験。 |

◆教科書 教材『経済地理 0973 / 経済地理学 0974』 通信教育教材(教材コード 000233) 2,000 円(送料込)

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験：100%。ただし、授業は毎回出席することを前提とする。

◆E-Mail：

## ◆4 技能を中心に

〔英語科教育法 I〕

開講単位：2 単位 担当者：佐藤 恵一

◆学習目標 英語教師として言語活動の各スキル等について基本的な考え方を確認し実践授業への足掛りとする。特に、それぞれのスキルの特性及び関連について十分理解し把握することを目標とする。

◆授業方法 英語授業を実践する上で必要な各スキルの指導を論読した後、グループで討議し発表する。また発表後にそれらを再びグループで再討議することで（比較することで）理解を深めていく。

◆準備学習 書く指導について事前に学習しておくことと良い。また英語教師としての資質についても考えておく。4 技能のそれぞれの特徴を認識しておくことがグループ討議を更に良いものにする。

◆授業計画〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | オリエンテーション<br>音声と文字の指導<br>リスニング指導（1. 基本概念 2. 音声と文字による技能統合型活動 3. グループ討議）  |
| 2 日目 | リーディング指導<br>ライティング指導<br>スピーキング指導（1. 基本概念 2. 各スキルの指導 3. グループ討議）  |
| 3 日目 | 文法指導（1. 文法的重要性 2. 文法に焦点をあてた指導について 3. 言語使用を意識した指導法）<br>語彙と辞書指導（1. 語彙指導的重要性 2. 語彙の頻度と指導 3. 受容語彙・発表語彙）<br>レポート試験 |

◆教科書 教材『英語科教育法 II 0997』 通信教育教材(教材コード 000490)

※価格未定（価格は『部報』4 月号に掲載）

〈この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会編集（三修社）と同一です〉

◆参考書 丸沼『グローバル時代の英語教育』 SEIBODO 2,625 円（税込）（送料 340 円）

◆成績評価基準 授業参加（学習意欲、発表、グループ）と最終レポート試験で総合的に評価。

◆E-Mail：

## ◆博物館における教育を学ぶ

## 〔博物館教育論〕

開講単位：2 単位 担当者：濱田 晋介

◆**学習目標** 博物館で行われている教育活動について、どのような目的をもって、どのような内容で行われているのかを、その概念とともに説明します。また、各地の博物館で行われている教育活動が、具体的にどのように行われているのかを、事例を挙げながら解説し、現代求められている博物館教育について論じます。

◆**授業方法** 下記の教科書を主に使用しながら、講義形式で進めていきます。また、適宜映像資料を交えながら、現在行われている博物館での教育活動を紹介・解説しながら、博物館での教育活動を実施するにあたっての留意点や着目点についても論じていきます。受講人数が少ない場合は、教育活動の立案をシュミレーションする方法に変更する場合もあります。

◆**準備学習** 事前に教科書を通読しておいてください。特に第5章、第6章、第7章、特論は重点的に読んでください。また近隣の博物館や美術館、動植物園などで行われている、教育普及活動（講座・講演会・イベントなど）について、どのようなものがあるか、タイトル・開催館名・実施期間・内容（文字の上下制限なし）を事前に調べておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | これからの授業の進め方、博物館の概念と博物館教育の変遷、博物館における学びの特性、学校教育と博物館教育、生涯学習と博物館教育、博物館教育の種類  |
| 2 日目 | 博物館での教育 1 企画展：形態（常設展示／企画展示／巡回展示／野外展示）と方法（調査研究／記念・顕彰／参加型）による教育、博物館での教育 2 調査研究：各館園の取り組み  |
| 3 日目 | 博物館での教育 3 講座・講演会、博物館での教育 4 イベント：さまざまなイベント（展覧会を利用／歳時記の利用／学校教育との連携／自立支援など）、博物館での教育 4 博物館の存在：情報公開の流れのなかで（バックヤードの公開プログラムなど）、博物館教育の組み立ての留意点、テスト |

◆**教科書** **【教材】**『博物館教育論 2015』 通信教育教材（教材コード 000479） 2,450 円（送料込）  
〈この教材は市販の『博物館展示・教育論』小原 巖他著（樹村房）と同一です〉

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（提出物・授業態度など）とテストにより総合的に評価します。

◆**E-Mail：**

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京 第4期

| 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考   |
|-------|---|-----------------------|---|
| 6月 8日 | 土 | 13:00～18:30           | ※日曜日は時間内に<br>昼休みを設けます。<br>※「体育実技 A」<br>は授業時間及び会<br>場が異なります。<br>本誌6ページを参<br>照してください。 |
| 6月 9日 | 日 | 9:00～16:30            |   |
| 6月15日 | 土 | 13:00～18:30           |   |
| 6月16日 | 日 | 9:00～16:00<br><試験も含む> |   |

※以下の第4期開講の講座から1講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名              | 担当講師名  | 充 当 科 目    |                       | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |   |
|------------|------------------------|--------|------------|-----------------------|-----------|----------|----------------|---|
|            |                        |        | 科 目<br>コード | 科 目 名                 |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件   |
| D1         | 経 済 学                  | 田村 和彦  | 0024       | 経 済 学                 |           | 1年       |                |   |
| D2         | 西 洋 古 典                | 大住 有里子 | 0087       | 西 洋 古 典               | ※         | 2年       |                |   |
| D3         | 西 洋 史 入 門              | 荒木 洋育  | 0097       | 西 洋 史 入 門             |           | 条件<br>参照 |                | ・史学専攻のみ1学年以上申<br>込可。<br>・その他は2学年以上申込可。                                |
| D4         | 刑 法 I                  | 岡西 賢治  | 0151       | 刑 法 I                 |           | 条件<br>参照 |                | ・法律学科のみ1学年以上申<br>込可。<br>・その他は2学年以上申込可。                                |
| D5         | 民 事 訴 訟 法              | 小田 司   | 0160       | 民 事 訴 訟 法             |           | 2年       |                |   |
| D6         | 政 治 学 原 論              | 吉野 篤   | 0210       | 政 治 学 原 論             |           | 条件<br>参照 |                | ・政治経済学科のみ1学年以<br>上申込可。<br>・その他は2学年以上申込可。                              |
| D7         | 国 文 学 史 I              | 加藤 清   | 0311       | 国 文 学 史 I             |           | 2年       |                |   |
| D8         | 英 米 文 学 義<br>特 殊 講 義 B | 岩城 久哲  | 0431       | 英 米 文 学 義<br>特 殊 講 義  |           | 2年       |                |   |
| D9         | 金 融 論                  | 谷川 孝美  | 0746       | 金 融 論                 |           | 2年       |                |   |
| DA         | 商 学 総 論                | 佐藤 稔   | 0811       | 商 学 総 論               |           | 条件<br>参照 |                | ・商学部のみ1学年以上申込<br>可。<br>・その他は2学年以上申込可。                                 |
| DB         | 社 会 科 ・<br>地理歴史科教育法 I  | 古賀 徹   | 0957       | 社 会 科 ・<br>地理歴史科教育法 I | ※         | 2年       |                | ・法学部・哲学専攻・史学専攻・<br>経済学部・商学部のみ申込<br>可。<br>・スクーリング1回の合格で<br>単位完成する科目です。 |
| DC         | 英 語 科 教 育 法 II         | 岡田 善明  | 0997       | 英 語 科 教 育 法 II        | ※         | 2年       |                | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・スクーリング1回の合格で<br>単位完成する科目です。                          |
| DD         | 体 育 実 技 A              | 吉本 俊明  | 0077       | 体 育 実 技 I             | ※         | 1年       |                | ・スクーリング1回の合格で<br>単位完成する科目です。  |
|            |                        |        | 0078       | 体 育 実 技 II            |           |          |                |   |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### □経済学【マクロ】

### 〔経済学〕

開講単位：2 単位 担当者：田村 和彦

◆**学習目標** 経済に関する知識は日常生活に不可欠となっている。経済について考えるための基礎知識を提示する。各自経済ニュースには関心を持ってこの講義に臨んで欲しい。経済のグローバル化が進行し、アジア諸国の経済発展が著しい。同時に、国内的には、経済における格差が大きな問題となっている。この点に言及してみたい。国民所得の観点からこれらの諸問題を考えてみたい。

◆**授業方法** ※この講座は田村和彦師「経済学 ミクロ」と積み重ね受講できます。ただし、「経済学マクロ」とは積み重ね受講できません。

◆**準備学習** あらかじめ、各自現在の経済問題に関心を持つこと。

◆**授業計画**（1日目・3日目：各 300 分，2日目：390 分，4日目：360 分）

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 1 日目 | イントロダクション<br>経済学とは何か        |
| 2 日目 | 現代資本主義経済とは何か                |
| 3 日目 | 国民所得概念について                  |
| 4 日目 | 国民所得の決定<br>ケインズ経済学的手法<br>試験 |

◆**教科書** 丸沼『経済学』 瀬川浩・田村和彦共著 桜門書房出版部 2,940 円（税込）（送料 340 円）必ず購入し、予習しておくこと。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験（100%）。ただし、授業は毎回出席することを前提とする。

◆**E-Mail**：

### □聖書を読む

### 〔西洋古典〕

開講単位：2 単位 担当者：大住 有里子

◆**学習目標** 自分が学生の時、指導教授に英米文学の理解には聖書は欠かせないと言われ、図書館で聖書を開いたことを覚えています。聖書の影響は文学作品にも多く見られます。が、本テキストの前書きで生地氏はイギリス詩人、批評家 T.S.Eliot の言葉を引用し、英米文学のために聖書を読むなど本末転倒。聖書はそれ自体英米文学を超える、世界最高の書物だと述べています。世界最高の書物を共に味わえるなど幸せです。今回は本テキストの前半、旧約と新約の一部分を味わうことにします。

◆**授業方法** テキストはエルサレム聖書より抜粋されたものです。授業はテキスト本文から、テキストにある順に、内容を把握しながら読み進めます。学生の方に一区切り（半ページ程）読んでいただき、その大まかな内容を言ってもらえます。質問、疑問はその場で挙げていただき、一緒に考え、読み進めます。

◆**準備学習** まず Preface を読んでおいて下さい。そうしてテキスト本文を読み、知らない単語などは辞書で調べ、自分なりに内容を把握するよう努めて下さい。その際に生じた疑問は授業に持参下さい。聖書の内容に矛盾を感じることもありますが。その矛盾の整理に役立つと私が思うものを下の参考書に挙げました（購入すべきという意ではなく）。実際授業で皆さんとの読み進め方により、計画通りにいかないこともあるかもしれません。

◆**授業計画**（1日目・3日目：各 300 分，2日目：390 分，4日目：360 分）

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 1. The Creation And The Fall<br>2. Moses The Liberator of The Hebrews   |
| 2 日目 | 2. Moses The Liberator of The Hebrews<br>3. David, The Conqueror of Goliath<br>4. Judith And Her Victory over The Assyrians |
| 3 日目 | 4. Judith And Her Victory over The Assyrians<br>5. The Vision of Ezekiel  |
| 4 日目 | 6. Jesus And His Mother Mary<br>7. St. John The Baptist And The First Disciples<br>試験                                       |

◆**教科書** 丸沼『The Bible-Selections from the Jerusalem Bible』 生地竹郎、高田恵利子 編注 英光社 2008 年第 13 刷発行 1,995 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 『聖書 新共同訳』日本聖書協会

丸沼『旧約聖書を知っていますか』阿刀田高 新潮社 579 円（税込）（送料 260 円）

丸沼『新約聖書を知っていますか』阿刀田高 新潮社 539 円（税込）（送料 260 円）

◆**成績評価基準** 授業への参加の様子と試験より総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆西洋史のとらえ方

## 〔西洋史入門〕

開講単位：2 単位 担当者：荒木 洋育

◆**学習目標** 時代としては中世以降、地域的には英仏独など西洋主要地域を対象として、全体的な流れおよび特定のテーマの観点から西洋史を一通り概観する。授業を通じて、受講者の方々が「世界史」の枠内としての「西洋史」から、独立した学問分野としての「西洋史」の領域に進む上で必要な知識を身につけることを、本講義の目的として設定したい。

◆**授業方法** 各回ごとに対象とする時代を世紀単位などで適宜区分しつつ、プリントを配布しそれに基づいて講義形式で授業を行う。前半では対象とする時代に関し西洋主要地域における流れを一通り概観し、後半では特定のテーマを掘り下げる形で説明を行う。毎回、後半に受講者各人とのコミュニケーションの時間を必ず設定するので、質問等能動的な受講姿勢を求めたい。

◆**準備学習** 「入門」という科目の性格から、高校の「世界史」修了レベルを前提として講義を組み立てる予定であり、特に準備学習の必要はない。中学・高校段階の「世界史」の教科書を受講前に読み直しておくこと講義の内容の理解のうえで有効であろう。また、後半の講師と受講者の方々とのコミュニケーションの時間に備えて、本講義を受講する動機、また受講に際しての要望等を各自整理しておくことをすすめたい。

◆**授業計画**〔1 日目・3 日目：各 300 分、2 日目：390 分、4 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | * 中世西洋世界、西洋世界の統合と解体<br>前半：時代区分上「中世」に相当する時期の西洋主要地域の歴史を概観する。<br>後半：フランク王国、ナポレオン帝国から現代の EU に至るまでの、ヨーロッパ統一ないし統合の試みとその経過を扱い、西洋世界の「一体性」と「多様性」について論ずる。        |
| 2 日目 | * 近世西洋世界、議会制度の成立と変遷<br>前半：16～18 世紀の西洋主要地域の歴史を概観する。<br>後半：西洋世界の政治体制の特徴としての「議会」の伝統に着目し、中世「身分制議会」から現代の形態にいたる流れを概説する。                                      |
| 3 日目 | * 近代西洋世界、西洋世界の拡大と帝国主義<br>前半：18 世紀後半～19 世紀、「市民革命」期の西洋主要地域の歴史を概観する。<br>後半：ヨーロッパ人の域外進出、西洋世界の拡大をテーマとして、大航海時代、探検活動、植民地獲得、帝国主義などの事柄について、産業・経済面での発達と絡めながら論ずる。 |
| 4 日目 | * 現代西洋世界、試験<br>前半：二つの世界大戦以降、21 世紀の現在に至る西洋主要地域の歴史を概観する。<br>後半：試験。   |

◆**教科書** 当日資料配布 各回ごとに、当日講師側からプリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『西洋世界の歴史』 近藤和彦編 山川出版社 3,360 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 平常点（40%）、試験（60%）。平常点に関しては、質問など授業への参加状況、上記講師と受講者とのコミュニケーションの時間における参加の度合いとその質を対象として評価を行う。

◆ E-Mail：

## ◆犯罪とは何か、刑罰とは何かを学ぶ

## 〔刑法 I〕

開講単位：2 単位 担当者：岡西 賢治

◆**学習目標** 犯罪の成立要件や刑罰の目的など、刑法に関する基礎的な理念や概念についての知識を習得する。また、そうした知識をふまえて、現実には起きている犯罪の状況や問題点の理解ができるようにする。

◆**授業方法** 講義形式による。ただし、判例の理解や、学説上の争点があるテーマについては討論等を取り入れながら理解を深めるようにしたい。なお、資料や文献の検索・収集方法なども紹介する。

◆**準備学習** 刑法に関する理論を学ぶためには、まず現実の犯罪がどのようなものであるかを知り、自分なり考えをもっておいてもらいたい。そのためには新聞・テレビ・ネットなどによって、できるだけ多くの情報を得ておくことが必要である。

◆**授業計画**〔1 日目・3 日目：各 300 分、2 日目：390 分、4 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 刑法の意義、刑罰の目的と種類、罪刑法定主義などの刑法に関する理念や原則を学ぶ。<br>とくに罪刑法定主義に関して、罪刑の法定、遡及処罰の禁止、類推解釈の禁止、明確性の原則については判例を通して理解を深める。 |
| 2 日目 | 犯罪の成立要件である①構成要件、②違法性、③責任のうち、行為、犯罪の主体、主観的構成要件要素、因果関係など①の構成要件について学ぶ。                                      |
| 3 日目 | 正当行為や緊急行為としての正当防衛・緊急避難などの違法性と、責任能力や違法性の意識など③の責任について学ぶ。<br>また、違法性と責任と構成要件との関係についての学説の整理をする。              |
| 4 日目 | 未遂と共犯および刑罰の適用について学ぶ。<br>ここでは個別の犯罪類型を具体例としてあげながら、未遂と共犯の基本的な理解ができるようにする。                                  |

◆**教科書** 通称『刑法 I 0151』 通信教育教材（教材コード 000066） 1,600 円（送料込）  
なお、六法は必携とする。

◆**参考書** 丸沼『最新重要判例 250 刑法〔第 9 版〕』 前田雅英著 弘文堂 3 月刊行予定

◆**成績評価基準** 定期試験による。なお、授業内試験（小テスト）を実施し、それをあわせて評価対象とすることもある。

◆ E-Mail：



## 民事裁判はどのように行われるか 〔民事訴訟法〕

開講単位：2単位 担当者：小田 司

- ◆**学習目標** 民事訴訟の基礎を学ぶための講義です。まず、民事訴訟の全体像について把握した上で、民事訴訟の基本構造と基本理論について理解し、訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの過程、勝訴した際の権利実現の方法（強制執行）などについて、基礎的知識を習得することを目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、民事訴訟について具体的なイメージが描けるよう、貸金返還請求訴訟、売買代金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟、土地・建物明渡請求訴訟など、日常生活と深く関係する紛争事例を用いて進めることにします。
- ◆**準備学習** 講義の最後に次回に取り上げる内容を予告しますので、教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習して講義に出席してください。また、回次の講義は前回までの内容が理解できていることを前提としますので、講義で取り上げた事項については、学習内容を振り返り、各自で内容について整理しておかなければなりません。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 民事紛争の解決方法、民事訴訟の流れと基本構造（貸金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟などを例に）、裁判所（裁判所の構成、裁判管轄）、当事者（当事者能力、訴訟能力、当事者適格）<br>*ここでは、主に民事訴訟以外の紛争解決の方法、民事訴訟の流れとその基本構造、どこの裁判所へ訴えを提起すべきか、という問題などについて学びます。                        |
| 2 日目 | 訴訟の審理（本案と訴訟要件、裁判資料の収集など）、口頭弁論（審理の基本原則、当事者の訴訟行為）、証拠調べと証拠評価の手続、証拠の評価（自由心証主義、証明責任）<br>*ここでは、主に民事訴訟の基本原則である処分権主義、弁論主義とはいかなるものか、どのようなものが証拠となるか、誰が証明責任を負わなければならないか、という問題などについて学びます。                  |
| 3 日目 | 当事者の行為による訴訟終了（訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解）、終局判決による訴訟終了（判決の種類、判決の成立）、確定判決の効力（既判力の時的限界、既判力の客観的範囲・主観的範囲）<br>*ここでは、主に確定判決の効力について、既判力とは何か、いつの時点基準にして既判力という効力が生じるのか、何に対して、また誰に対して既判力が生じるのか、という問題について学びます。 |
| 4 日目 | 多数当事者訴訟（共同訴訟、訴訟参加、訴訟承継など）、不服申立手続（控訴、上告、抗告、再審）、略式訴訟手続（少額訴訟手続、督促手続）権利実現の方法（金銭執行、非金銭執行）<br>*ここでは、主に判決に対する不服申立の方法、少額紛争を簡易迅速に処理するための訴訟手続、勝訴判決を得た際の権利実現の方法などについて学びます。                                |

- ◆**教科書** 丸沼『民事訴訟法』小田司編 弘文堂 2,310円（税込）（送料340円）  
講義には、必ず六法（出版社は問いません）も持参してください。
- ◆**参考書** 丸沼『民事裁判入門〔第3版補訂版〕』中野貞一郎 有斐閣 2,310円（税込）（送料340円）など
- ◆**成績評価基準** 筆記試験（80%）、受講状況・講義中の発言など（20%）の割合で評価しますが、講義に毎回出席することを前提とします。
- ◆**E-Mail：**

## 政治を観る眼を養う 〔政治学原論〕

開講単位：2単位 担当者：吉野 篤

- ◆**学習目標** 政治概念の歴史的変容を辿ることで、政治という現象の本質を考えるとともに、現代の政治過程のアクター（行為主体）の分析を通して、現実の政治の動きを総合的に理解することを目標とする。
- ◆**授業方法** 基本的に講義形式で行います。また、時宜に応じて現実に生起している政治問題を考えるために、主として新聞報道のコピーを素材として配布し、リアルな政治問題について認識を深めてもらいたいと思います。  
質問も歓迎します。
- ◆**準備学習** 政治学の基本的テキストを使って、事前に授業内容について予習することが望ましい。新聞によく目を通すことも重要です。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ・古典古代の政治概念―プラトンとアリストテレス<br>・中世の政治像―キリスト教共同体の概念<br>・近代の政治概念―マキャベリの「君主論」          |
| 2 日目 | ・社会契約説の論理―近代政治理論の形成について<br>・市民革命の政治過程―イギリス・アメリカ・フランス<br>・保守主義の構造―エドモンド・バークの政治思想 |
| 3 日目 | ・社会主義の政治理論―マルクス主義<br>・20世紀の政治概念―丸山真男による政治の概念化<br>・政治過程論の概説                      |
| 4 日目 | ・政党と政党システム<br>・選挙と選挙制度<br>・政治学の科学化過程―アメリカ政治学の歴史的展開                              |

- ◆**教科書** 丸沼『政治学』山田光矢編著 弘文堂 2,100円（税込）（送料340円）
- ◆**参考書** その都度指示する。
- ◆**成績評価基準** 平常点と試験の総合評価。
- ◆**E-Mail：**

## ■日本文学史の初期を理解しよう

〔国文学史Ⅰ〕

開講単位：2 単位 担当者：加藤 清

◆**学習目標** 奈良から平安までの時代を概観しながら、日本文学の歴史的変遷・展開を理解することを目標としています。そのような展望から、特に韻文（歌謡・和歌）を中心としてながら各作品の特質を理解し、個々の文学作品が有する諸問題の基礎的な知識が得られるような考え方を習得することを目標としています。

◆**授業方法** 講義形式での授業となります。文学史ではあるが、授業ではできるだけ作品にふれ講読（解釈と解説）を加えながら、その特色と変遷を考えます。そのことから個別の作品と向いあったときの周辺知識を確立できるような講義をします。

◆**準備学習** 講義形式の授業であるが、奈良・平安時代の歴史的事項や文学ジャンルについて、どのような事例があるのか、表面的にでも予備知識としてあればより深く考察できると思います。

◆**授業計画**〔1 日目・3 日目：各 300 分、2 日目：390 分、4 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ・「文学史の立場（はじめに）」。文学史とはどのような学問であるかを考えます。<br>・「ウタの発生」。記紀歌謡を参考に定形和歌以前の韻文について概観します。 |
| 2 日目 | ・「文字と文学」。文字の獲得による文学の変質について考えます。<br>・「万葉集とその時代」。150 年の上代和歌の流れを概観します。            |
| 3 日目 | ・「大伴家持と万葉の終焉」。家持とその時代思潮にふれます。<br>・「菅原道真と中国文学」。国風暗黒時代といわれる時代と漢詩文についてみます。        |
| 4 日目 | ・「紀貫之と古今集」。新たな文学としての和歌の台頭とその特色について概観します。                                       |

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 必要があれば紹介します。

◆**成績評価基準** 皆出席を前提とします。試験（100%）で評価します。

◆**E-Mail**：

## ■20 世紀初めのイギリス文学

〔英米文学特殊講義 B〕

開講単位：2 単位 担当者：岩城 久哲

◆**学習目標** 新しき思潮などから 20 世紀初頭のイギリス文学を理解する。

◆**授業方法** 講義を中心にすすめますが、感想・発言・翻訳などを求めます。DVD を使用することもあります。

◆**準備学習** 授業計画に記述した作家の作品を英語でも日本語でもよいので読んでおいてください。

◆**授業計画**〔1 日目・3 日目：各 300 分、2 日目：390 分、4 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | H. ジェームズ、J. コンラッドを中心にすすめます。ディジー・ミラー、ある婦人の肖像、闇の奥、ロード・ジムなどを扱います。     |
| 2 日目 | T. S. エリオット、G. グリーンを中心にすすめます。キャッツ、荒地、第三の男、落ちた偶像などを扱います。            |
| 3 日目 | V. ウルフ、J. ジョイスを中心にすすめます。燈台へ、ダロウェイ夫人、ダブリナーズ、若い芸術家の肖像などを取り扱います。      |
| 4 日目 | D. H. ローレンス、G. オーウェルを中心にすすめます。チャタレー夫人、ロスト・ガール、動物農場、空気をもとめてなどを扱います。 |

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 担当者がプリントなどを準備するが、準備学習の記述を読み、予め学習しておくこと。

◆**参考書**

◆**成績評価基準** コメントなどの参加度（50%）、最終日に行なうテスト（50%）。評価基準を変更するときは最終日に説明する。

◆**E-Mail**：

## 日本銀行の機能と金融政策

## 〔金融論〕

開講単位：2 単位 担当者：谷川 孝美

◆**学習目標** 最近では、政府・日本銀行によるデフレ脱却に向けた取組が話題になっています。この講義では中央銀行である日本銀行がどのような機能、役割を果たしているのか。また、日本銀行による金融政策について、基礎理論と共に理解することを目標とします。また、近年のゼロ金利政策や量的緩和政策などについても解説する予定です。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。なお、この講義では、金融市場や金融機関の詳細については取り扱いませんので注意してください。

◆**準備学習** 金融政策の影響などを理解するためには、マクロ経済学の基礎が重要になります。学習の準備として確認をしておくとい良いでしょう。また、理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスについて、参考書などで予習をしておくとい良いでしょう。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 貨幣の定義、金利と債券価格の関係、金融仲介機関と信用創造。<br>※金融政策などを理解するための前提として、貨幣の定義や金利の決定など基礎的な事柄を確認します。   |
| 2 日目 | 中央銀行としての日本銀行、金融政策の主な手段（オペレーション、基準割引率および基準貸付利率の変更、預金準備率操作）、金融政策決定会合と金融調節、最後の貸し手。<br>※日本銀行は、物価の安定と金融システムの安定を目的としています。その目的を果たすための役割、機能について解説をします。 |
| 3 日目 | ゼロ金融政策、量的緩和政策、時間軸効果、強力な金融緩和の推進、デフレ脱却に向けた取組。<br>※近年のデフレ経済下における日本銀行の金融政策について概説します。   |
| 4 日目 | 貨幣数量説、IS-LM 分析、テーラー・ルール。<br>※金融政策に関する経済理論を概説します。   |

◆**教科書** 指定しない。〔当日資料配布〕当日プリント配布。

◆**参考書** 丸沼『はじめて学ぶ金融のしくみ』家森信善 中央経済社 4 月改訂 価格未定  
『新しい日本銀行—その機能と業務（増補版）』日本銀行金融研究所編 有斐閣（日本銀行のホームページに掲載あり）〈上記の本は品切れのため図書館等を利用してください〉

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テスト、最終試験等により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## 現代商業の体系

## 〔商学総論〕

開講単位：2 単位 担当者：佐藤 稔

◆**学習目標** 現代商業の体系、商業の基本的諸問題について理解する。

◆**授業方法** テキスト及び資料に基づく講義形式。

◆**準備学習** 特になし。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 1 日目 | 商業概念の変遷と商業概念の多様性<br>商業の研究対象と研究方法の変遷 |
| 2 日目 | 諸外国における商業の研究特性<br>流通の生成と発展          |
| 3 日目 | 流通の取引対象である商品の概念<br>流通機能の意義と機能分析の展開  |
| 4 日目 | 需給統一機能の意義<br>需給統一機能の諸要素             |

◆**教科書** 〔通材〕『商学総論 0811』通信教育教材（教材コード 000356） 3,250 円（送料込）

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 授業への参加、最終試験など総合的に評価

◆**E-Mail**：

## ■社会科授業の内容と方法（地理と日本史で授業をつくる）〔社会科・地理歴史科教育法Ⅰ〕

開講単位：2 単位 担当者：古賀 徹

- ◆**学習目標** 社会科を構成する3分野（地理・歴史・公民）のうち、地理歴史科授業の目的・内容についての理解を深め、その実践的な授業方法を身につけられるようにする。今回の授業では「日本史」分野を主にとりあげるが、地理・政治経済・思想宗教など各分野間との総合的理解を高めることを意識しておきたい。
- ◆**授業方法** 教科内容及び授業法の講義を行うが、各自1回以上の模擬授業を実践する。学習指導案を作成しての模擬授業と、その批評検討を通して学びあう授業とする。
- ◆**準備学習** 中学校（社会科）・高等学校の地理・歴史科に関する教科書の記述内容について、事前に読んで理解しておく、実際にとりくむ授業づくりにおいて「授業」（生徒の学習活動）がイメージしやすくなります。授業中にも紹介しますが、学習指導要領（文部科学省ホームページからも確認可能）の記述に目を通しておくことも大事になります。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ①ガイダンス：社会科・地歴科教育のねらい<br>②学習指導要領の理解、内容の取り扱い<br>③「日本史」はどんな学力をつけさせるためにあるのか？ |
| 2 日目 | ①学習指導案の作成方法<br>②教材の工夫<br>③実際の教材づくり<br>④ワークシートの活用方法                       |
| 3 日目 | ①指導案の検討<br>②模擬授業（日本史：中世）<br>③模擬授業（日本史：中世および近世）                           |
| 4 日目 | ①「地理」の授業と「地図」をつかった授業<br>②「地図」を教材化する（資料活用の技能を育む指導）<br>③教材の解釈と評価           |

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 資料・レジュメを配布する。
- ◆**参考書** 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。
- ◆**成績評価基準** 学習指導案を指定した分、作成して提出する。模擬授業を複数回行い、授業づくり（教材研究）への取り組み、グループワークへの参加度を加味して総合的に評価する。毎回出席を前提とする。
- ◆**E-Mail：**

## ■英語科教育の指導理論と実践〔英語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：岡田 善明

- ◆**学習目標** 「いじめ」問題が多発している状況を回避する意味でも、精神性のある英語科教育の意味と指導理論を学び、生徒の言語活動を促し、心と心を通わせるコミュニケーションのための能力を養いながら人間性豊かな国際人を育成するための教育実践を行うための教授法を学ぶ。特に生徒に対する教育的な指導法の在り方を考えていく。
- ◆**授業方法** テキストに基づいた講義と教授法に関する英語の論文の英語による内容の討論を行い、英語授業のための理論と新学習指導要領にある英語を用いて授業を行うための実践的コミュニケーション能力を養いながら、生徒に対する教育的な指導法を考える。
- ◆**準備学習** ワークシートを基にして、授業で行うページを必ず予習し授業での英語の討論に備える。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | オリエンテーション「英語教育の目的と価値」、発音と文字指導 4技能の指導<br>文法指導と対照言語学の理解<br>論文読解と討論1 Approaches to classroom investigation in teaching |
| 2 日目 | 論文読解と討論2 Exploring teachers' beliefs<br>論文読解と討論3 Focus on the learner<br>論文読解と討論4 Teacher decision making           |
| 3 日目 | 論文読解と討論5 The role of the teacher<br>論文読解と討論6 The structure of a language lesson                                     |
| 4 日目 | 模擬授業（学習した内容を生かして授業実践を行う）<br>試験（学習した内容の論述試験）   |

- ◆**教科書** **〔丸沼〕**『英語教育の精神と実践』 岡田善明著 春風社 4月中旬刊行予定 1,890円（税込）（送料340円）  
**〔丸沼〕**『*Reflective Teaching in Second Language Classroom*』 J.C. Richard & C. Lockhart  
Cambridge University 1996 3,549円（税込）（送料340円）  
（上記二つのテキストを論文読解と討論で使用しますので書店等で注文し購入しておいてください。）
- ◆**参考書** スクーリングで紹介。
- ◆**成績評価基準** 試験と発表等で総合的に評価。
- ◆**E-Mail：**

## □運動・スポーツに親しむ

## 〔体育実技 A〕

開講単位：1 単位 担当者：吉本 俊明

◆**学習目標** 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性は益々重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣にまで発展させることをねらいとしています。

◆**授業方法** 天候に左右されない体育館での授業とし、小グループでいろいろなスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型球技）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解してもらうようにします。また、体力測定を通して体力の現状を自覚し、維持増進についての認識を高めてもらうようにします。

◆**準備学習** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ガイダンス、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定、体力の維持増進についての解説 |
| 2 日目 | 班別スポーツ種目の展開（1）、班別スポーツ種目の展開（2）                  |
| 3 日目 | 班別スポーツ種目の展開（3）                                 |
| 4 日目 | 班別スポーツ種目の展開（4） 班別対抗ソフトバレーボール大会                 |

◆**教科書** 特になし。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み及び自己の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

# Ⅲ 地方スクーリング

## 1 開催地及び開講日程

| 開講期 | 開催地            | 日程     | 授業時間               |
|-----|----------------|--------|--------------------|
| 第1期 | 札幌<br>山形<br>神戸 | 25日(土) | 9:30～18:30         |
|     |                | 26日(日) | 9:00～18:30         |
|     |                | 27日(月) | 9:00～16:00 <試験も含む> |
| 第2期 | 名古屋<br>福岡      | 1日(土)  | 9:30～18:30         |
|     |                | 2日(日)  | 9:00～18:30         |
|     |                | 3日(月)  | 9:00～16:00 <試験も含む> |

※ いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※ 各期から1開催地1講座のみの申込みです。

## 2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

### 【注意事項】

- ・ 自家用車・バイクの通学を禁止します。
  - ・ 指定された場所以外での喫煙を禁止します。
  - ・ 各自、ゴミは持ち帰ってください。
- その他、会場の使用上の注意を守ってください。

| 開講期 | 開催地 | 会 場                    | 会場案内   |
|-----|-----|------------------------|--------|
| 第1期 | 札幌  | 札幌日本大学高等学校・中学校、恵庭総合体育館 | 61 ページ |
|     | 山形  | 山形Vカレッジ、山形テルサ          | 63 ページ |
|     | 神戸  | 神戸国際館                  | 65 ページ |
| 第2期 | 名古屋 | 中産連ビル（貸会議室）            | 68 ページ |
|     | 福岡  | パピヨン24                 | 71 ページ |

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

※札幌及び山形会場は、日程により会場が異なるため注意してください。

## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

| <div>地方<br/>(第1期)</div> <div>札幌</div> | 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考  |
|---------------------------------------|-------|---|-----------------------|--|
|                                       | 5月25日 | 土 | 9:00～18:30            | ※時間内に昼休みを設けます。<br>※札幌会場のみ授業時間が他会場と異なりますので注意してください。 |
|                                       | 5月26日 | 日 | 9:00～18:30            |  |
|                                       | 5月27日 | 月 | 9:00～15:30<br>＜試験も含む＞ |  |

※開講式を初日の8時50分から行いますので参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名 | 充 当 科 目    |            | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |           |  |
|------------|------------|-----------|-------|------------|------------|-----------|----------|-----------|--|
|            |            |           |       | 科 目<br>コード | 科 目 名      |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュム | 受 講 条 件  |
| 50         | F1         | 体 育 実 技 B | 高橋 正則 | 0077       | 体 育 実 技 I  | ※         | 1年       |           | ・I・IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。<br>・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 |
|            |            |           |       | 0078       | 体 育 実 技 II |           |          |           |  |
| 50         | F2         | 英米文学演習 G  | 猪野 恵也 | 0486       | 英米文学演習 I   | ※         | 3年       |           | ・英文学専攻のみ申込可。<br>・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。            |
|            |            |           |       | 0487       | 英米文学演習 II  |           |          |           |  |
|            |            |           |       | 0488       | 英米文学演習 III |           |          |           |  |

札幌会場は以下のとおり、日程により会場が異なりますので注意してください。

**札幌**  
5月25日(土)・26日(日)  
札幌日本大学高等学校・中学校  
北広島市虹ヶ丘5丁目7-1

JRをご利用の場合  
千歳線 上野幌駅下車 徒歩7分

バスをご利用の場合

- 地下鉄大谷地駅より  
JRバス(北広島, 南幌, 長沼行き)  
上野幌通下車3分
- 新さっぽろ駅ターミナルより  
JRバス・中央バス(もみじ台団地行き)  
青葉通橋下車7分

**札幌**  
5月27日(月)のみ  
恵庭総合体育館  
恵庭市黄金中央5丁目199-2

札幌駅から  
「JR千歳線」乗車。3駅目の「恵庭駅」下車  
後、東口より直進徒歩15分程度

※ JR恵庭駅まで快速「エアポート」で15分(快速エアポートは15分おきに運行しています)

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◻運動・スポーツに親しむ

〔体育実技 B〕

開講単位：1 単位 担当者：高橋 正則

◆**学習目標** 高齢社会を迎え、健康、体力の維持増進の必要性が益々重要になってきている。運動、スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、将来生活習慣化することをねらいとする。

◆**授業方法** 基本的には体育館内で実施するが、天候が良ければ屋外にてウォーキング等の運動も行う。特にコミュニケーションスキルの向上を図りながら小グループで実施していく。

◆**準備学習** 1 日 20 分以上の連続歩行や軽い運動の実施を心がけること。

◆**授業計画**〔1 日目：510 分、2 日目：510 分、3 日目：330 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ガイドダンス<br>・準備運動・コミュニケーションスキル<br>・バスケットボール     |
| 2 日目 | ・準備運動・ウォーキング<br>・ソフトバレーボール                    |
| 3 日目 | ・ウェイトトレーニングの基本（講義）<br>・準備運動・バレーボール<br>・バドミントン |

※施設・用具等により授業計画の一部が変更になる場合があります。

◆**教科書** なし。

◆**準備用品** 体育実技に適した運動着と運動靴（室内及び屋外用の 2 足）を用意すること。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（授業態度・服装）及び事故の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

### ◻*Animal Farm*（1945）を読む

〔英米文学演習 G〕

開講単位：1 単位 担当者：猪野 恵也

◆**学習目標** George Orwell（1903-1950）による *Animal Farm*（1945）を読みます。ユニークな文体ですが、辞書を頼りに三日間オーウェルの英文にぶつかっていきましょう。

◆**授業方法** 学生による和訳が中心。和訳しておしまいにするのではなく、言葉に注意を払いながら読んでいきましょう。

◆**準備学習** 翻訳を使用してもいいので、事前配布プリントを自分の発表箇所だけではなく、その全てを読んできて下さい。

◆**授業計画**〔1 日目：510 分、2 日目：510 分、3 日目：330 分〕

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 1 日目 | George Orwell の紹介／学生による発表 |
| 2 日目 | 小テスト／映画鑑賞／学生による発表         |
| 3 日目 | 学生による発表／試験                |

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを配布。ペーパーバックを各自購入してもいいです。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 発表（40%）小テスト（15%）平常点（15%）試験（30%）3 日間の短期スクーリングなので皆出席を前提として評価します。

◆**E-Mail**：



## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

### 地方 (第1期)

### 山形

| 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考            |
|-------|---|-----------------------|----------------|
| 5月25日 | 土 | 9:30～18:30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 5月26日 | 日 | 9:00～18:30            |                |
| 5月27日 | 月 | 9:00～16:00<br><試験も含む> |                |

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名 | 充 当 科 目    |           | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |           |                                       |
|------------|------------|-----------|-------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|---------------------------------------|
|            |            |           |       | 科 目<br>コード | 科 目 名     |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュム | 受 講 条 件                               |
| 06         | F1         | 英 語 G     | 堀切 大史 | 0041       | 英 語 I     |           | 1 年      |           | ・ I ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |            |           |       | 0042       | 英 語 Ⅱ     |           |          |           |                                       |
|            |            |           |       | 0043       | 英 語 Ⅲ     |           | 2 年      |           |                                       |
|            |            |           |       | 0044       | 英 語 Ⅳ     |           |          |           |                                       |
| 06         | F2         | 日 本 史 概 説 | 鍋本 由徳 | 0620       | 日 本 史 概 論 |           | 2 年      |           | ・ 法学部のみ申込可。                           |
|            |            |           |       | 0621       | 日 本 史 概 説 |           |          |           | ・ 文理・経済・商学部のみ申込可。                     |

山形会場は以下のとおり、日程により会場が異なるため注意してください。

**山形** 5月25日(土)・26日(日)  
山形Vカレッジ  
山形市清住町1丁目4-41

山形駅西口から徒歩20分  
山本学園高等学校バス停から1分  
春日町バス停から徒歩5分  
東北中央道山形中央ICから車で5分

**山形** 5月27日(月)のみ  
山形テルサ  
山形市双葉町1-2-3

山形駅より徒歩3分

#### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### □アメリカ映画で学ぶ英語

〔英語 G〕

開講単位：1 単位 担当者：堀切 大史

◆**学習目標** アメリカ映画に関するエッセイをととして、英語力を高めること及び異文化理解を深めることを目標とします。

◆**授業方法** 受講生には、輪読形式でテキストの音読と日本語訳をしてもらいます。また、ただ英語を読むだけでなく、視聴覚資料として映像も使いながら授業をします。なお、授業初日に受講生を確認した後、二日目以降はあらかじめ分担当所を決めます。

◆**準備学習** 英語辞典を丁寧に引きながら、テキストをよく読んでおいて下さい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | ガイダンス<br>映画の誕生（360 ページ 'Movies' 1 行目～361 ページ 21 行目）<br>1930 年代（362 ページ下から 15 行目～363 ページ 12 行目） |
| 2 日目 | 1950 年代（364 ページ下から 19 行目～下から 1 行目）<br>1960 年代（365 ページ下から 7 行目～366 ページ 10 行目）                   |
| 3 日目 | 1970 年代（366 ページ下から 11 行目～367 ページ 6 行目）<br>1990・2000 年代（367 ページ下から 18 行目～下から 1 行目）<br>まとめと試験    |

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを送付します。

◆**参考書** 英語辞典。

◆**成績評価基準** 発表（30%）授業参加（20%）試験（50%）  
毎回出席することを前提として評価します。

◆**E-Mail**：

### □日本史の古代・中世を理解しよう

〔日本史概説〕

開講単位：2 単位 担当者：鍋本 由徳

◆**学習目標** 本講義では、中等教育レベルの日本史から、高等教育レベルの日本史へのステップアップを図ることを目標とし、主として古代・中世の時代について講義します。高校教科書に記されている「事実」は「史実」なのでしょうか？登場する人物はなぜそのような行動を起こしたのでしょうか？また史実解釈は1つなののでしょうか？古代から中世までの大きな流れを知ると同時に、「歴史」に対する理解を深めることを目標にします。

◆**授業方法** 講義科目なので、基本的に講師の説明が主体となります。1日目・2日目の午前はテキストを中心に講義を進めていきます。なお、2日目の午後は山形市内の旧跡巡見をおこなう予定です（受講生数によっては講義となります）。3日目は再びテキストを中心に講義を進めていきます。なお、3日間で古代から中世を通すため、講義トピックは限定されますので了解ください。報告課題に対する助言もおこないます（主に分冊1）

◆**準備学習** この講義では高校教科書の内容を利用しながら、専門性のある日本史を学んでいきます。最低限、高校教科書レベルの用語は理解しておきたいところです。高校教科書や日本史B用語集と、教科書の内容や専門性の高い辞書類とを事前比較しておく、中等教育と高等教育の質的差異を知ることができれば幸いです。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | ★トピック 先史時代から平安時代まで<br>1日目は、先史時代から律令体制の成立までを扱います。東アジア社会のなかの「倭」が「日本」となり、列島独自の国家が形成される姿を概観します。倭五王、大化改新、奈良時代の政争、摂関時代、荘園公領制などが主たるキーワードとなります。                           |
| 2 日目 | ★トピック 鎌倉時代・南北朝時代<br>2日目は、鎌倉時代と南北朝時代までを扱います。平氏政権の樹立によって武家が列島を支配する時代に移り、その反動と揺り戻しの姿を概観します。平氏政権、東西政権、頼朝の擾乱などが主たるキーワードとなります。午後2時頃から午後6時頃まで市内巡見を予定しています（講義となる場合もあります）。 |
| 3 日目 | ★トピック 室町時代～戦国時代まで<br>3日目は、室町時代から織田政権までを扱います。戦乱の世に変わりゆく時代をみて、近世社会につながる前提条件を概観します。足利義満、日明貿易、戦国社会、兵農未分離などが主たるキーワードとなります。   |

◆**教科書** **通材**『日本史概論 0620 / 日本史概説 0621』 通信教育教材（教材コード 000382）  
2,450 円（送料込）

〈この教材は市販の『概論 日本史』佐々木潤之介他著（吉川弘文館）と同一です〉

**〔当日資料配布〕** ※なお、当日参考プリントもあわせて配布します。

◆**参考書** 『日本の歴史』シリーズ（講談社、小学館など） その他、講義中に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（授業内豆テスト 30%）をベースにした総合評価にて決定します（全回出席が前提）。

◆**E-Mail**：

## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

### 地方 (第1期)

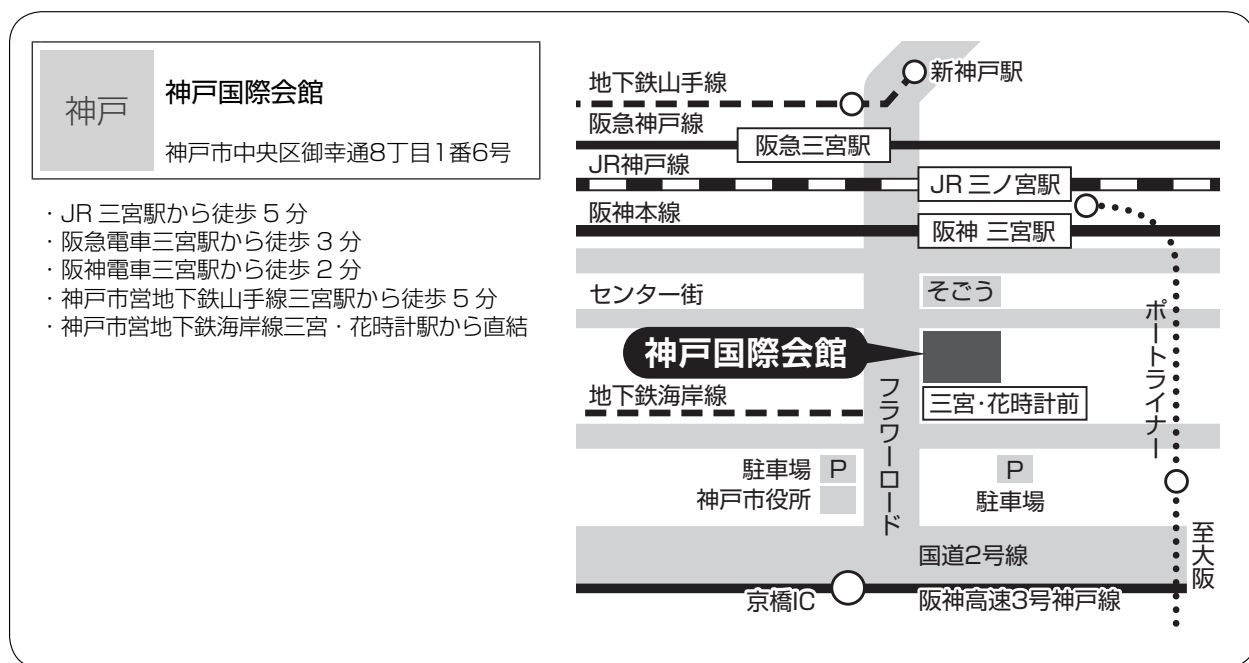
### 神戸

| 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考            |
|-------|---|-----------------------|----------------|
| 5月25日 | 土 | 9:30～18:30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 5月26日 | 日 | 9:00～18:30            |                |
| 5月27日 | 月 | 9:00～16:00<br><試験も含む> |                |

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名 | 充 当 科 目    |         | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |   |
|------------|------------|-----------|-------|------------|---------|----------|----------|----------------|---|
|            |            |           |       | 科 目<br>コード | 科 目 名   |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件                                     |
| 28         | F5         | 商 法 B     | 根田 正樹 | 0140       | 商 法     |          | 2年       |                |   |
| 28         | F6         | 英 文 法     | 真野 一雄 | 0445       | 英 文 法   |          | 条件<br>参照 |                | ・英文学専攻のみ1学年以上<br>申込可。<br>・その他は2学年以上申込<br>可。 |
| 28         | F7         | 哲 学 概 論   | 齋藤 隆  | 0531       | 哲 学 概 論 |          | 2年       |                |   |



#### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ■株式会社と法規制

〔商法 B〕

開講単位：2 単位 担当者：根田 正樹

◆**学習目標** わが国で実際に活動している会社の数は 250 万位ありますが、このうち株式会社が大部分を占めています。株式会社制度は国民経済にとって大変有益な経済主体ですが、ときに大きな問題も投げかけています。この授業では実際のニュースなどを取り上げながら、株式会社をめぐる法的諸問題を検討します。

◆**授業方法** シラバスに従った講義形式となりますが、できるだけ具体的事例を挙げながら考える勉強にしたいと思います。

◆**準備学習** テキスト『商法』の第 3 編および第 4 編を事前に 2、3 回読んでスクーリングに臨んでください。内容が理解できなくても差し支えありません。飛ばして最後まで読んでください。その際、六法のある会社法などの条文も読んでみてください。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 1 会社法はどのような法か 2 会社設立と法規制 3 株式と株主の地位<br>4 株主総会の機能・権限と活性化        |
| 2 日目 | 5 会社経営機構の多様化 6 役員の義務と責任 7 経営の監督と是正                             |
| 3 日目 | 8 資本の調達 9 剰余金の分配と違法配当 10 M&A などの会社組織の再編と法<br>授業の終わった後、試験を行います。 |

◆**教科書** 〔教材〕『商法 0140』通信教育教材（教材コード 000451）2,000 円（送料込）  
なお、小型の六法を必ず持参して下さい。

◆**参考書** 〔当日資料配布〕資料集を作成し、講義の冒頭に配布する予定です。

◆**成績評価基準** 受講状況（20％） 試験（80％）

◆**E-Mail**：

### ■英文法をより深く

〔英文法〕

開講単位：2 単位 担当者：真野 一雄

◆**学習目標** 時制と相（アスペクト）についての再確認とより深い知識を習得します。

◆**授業方法** テキスト本文の解説、補足説明を行い、EXERCISES を考えます。必要に応じて担当講師が用意する練習問題を行います。

◆**準備学習** 毎回、テキストを読み、EXERCISES の解答を用意しておいてください。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 1 日目 | Part I 時と時制 1 章 現在時と過去時の表現 2 章 未来時の表現 |
| 2 日目 | Part II 相 3 章 進行形                     |
| 3 日目 | Part III 相 4 章 完了形                    |

◆**教科書** 〔丸沼〕『コーパス英文法』開拓社 2,100 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 他の英文法参考書、英文法研究書など。

◆**成績評価基準** 試験（100％）で評価します。（試験は途中退場なしです）毎回出席することを前提として評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆キリスト教と中世哲学を学ぼう

## 〔哲学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：齋藤 隆

◆**学習目標** 教職科目として受講する学生にも「哲学」の何たる課を理解してもらう。今回は中世哲学の展開を中心に講義する。

◆**授業方法** テキストと印刷物を用いて講義形式で行う。

◆**準備学習** 古代哲学から中世哲学へ至る流れとキリスト教について、基本的理解が得られるようテキスト等の関連文献に眼を通しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 哲学の誕生（ミュートスからロゴスへの移行）<br>最初の哲学者たちソクラテス、プラトン、アリストテレス |
| 2 日目 | ヘレニズム期の哲学<br>新プラトン主義とキリスト教<br>アウグスティヌスと教父哲学者たち、普遍論争 |
| 3 日目 | 中世における論理学の展開<br>トマス・アクィナスとスコラ哲学者たち                  |

◆**教科書** **通材**『哲学 0011』 通信教育教材（教材コード000404） 3,250 円（送料込）  
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』 嘉吉純夫・齋藤隆著（北樹出版）と同一です〉

◆**参考書** 印刷物を配布する。

◆**成績評価基準** 試験の成績と平常点により総合的に評価する。

◆**E-Mail**：

## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

**地方**  
(第2期)

**名古屋**

| 日     | 程 | 授 業 時 間               | 備 考            |
|-------|---|-----------------------|----------------|
| 6月 1日 | 土 | 9:30～18:30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 6月 2日 | 日 | 9:00～18:30            |                |
| 6月 3日 | 月 | 9:00～16:00<br>＜試験も含む＞ |                |

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名  | 充 当 科 目    |           | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |            |         |
|------------|------------|-----------|--------|------------|-----------|----------|----------|------------|---------|
|            |            |           |        | 科 目<br>コード | 科 目 名     |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュラム | 受 講 条 件 |
| 80         | G1         | 政 治 学 B   | 関根 二三夫 | 0023       | 政 治 学     |          | 1年       |            |         |
| 80         | G2         | 商 法 Ⅲ     | 丹羽 重博  | 0144       | 商 法 Ⅲ     |          | 2年       |            |         |
| 80         | G3         | 経 済 開 発 論 | 須藤 裕之  | 0740       | 経 済 開 発 論 |          | 2年       |            |         |

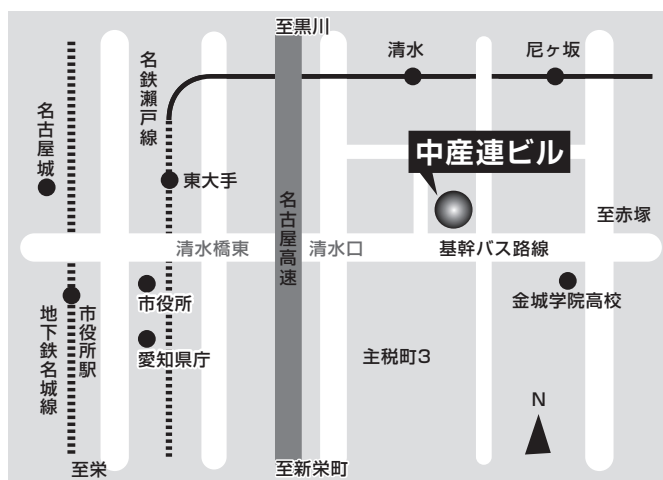
名古屋

中産連ビル（貸会議室）

名古屋市中区白壁三丁目12-13

名古屋駅より

- ・市バス（新出来町線）：  
名古屋駅前松坂屋2階バスターミナル7番のりばから  
基幹バス「光ヶ丘」「猪高車庫」行き→「清水口」（約25分・200円）下車徒歩5分
- ・名鉄バス（本地ヶ原線）：  
名鉄バスセンター3階4番のりばから  
基幹バス「栄・市役所」経由「弓山」「四軒家」ほか→「清水口」（約35分・200円）下車徒歩5分



### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### 政治を基礎から学びましょう

〔政治学 B〕

開講単位：2 単位 担当者：関根 二三夫

◆**学習目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しいことのように感じられます。しかし、そこで制定され執行される法律や予算は、国家や社会や個人の発展の為に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会を構成する人々はそれぞれ考え方が異なりますので、同じ原因が示されても異なった結果が生じるのが通例です。政治学の学問としての課題もそこにあり、現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学習の準備として、メディアの記事などに関心を持ち、問題点を把握することが必要になります。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 日目 | 政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理）<br>※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やあるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。                         |
| 2 日目 | 議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴）<br>※一院制や二院制、立法部と行政部との関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的な考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴を学びます。                     |
| 3 日目 | 政党（発展過程・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型、方向性）とリーダーシップ<br>※政党がどのように発展してきたか、また、その働きや問題点を考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点を学びます。さらに、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて学びます。 |

◆**教科書** 通材『政治学 0023』通信教育教材（教材コード 000279）1,800 円（送料込）

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%。  
※受講に際しては欠席をしないように注意してください。

◆**E-Mail：**

### 手形に関する法的紛争事例の解決

〔商法Ⅲ〕

開講単位：2 単位 担当者：丹羽 重博

◆**学習目標** 経済社会に多数流通している有価証券の中でも、特に中心となる約束手形に関し、多くの実例を検討しながら授業を進める。

また、図解しながら授業を行うことにより、最終的には学生諸君らが自ら事例問題の解決ができるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 手形・小切手の実物を見た上、手形法・小切手法の条文と当座勘定規定とを比較し、法規制の実務と取り扱いの違いなどを共に検討する。

◆**準備学習** 授業の開始前に、教科書を 3 回読んでおくことを進めます。その際、引用されている条文は、六法で必ず確認すること。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 手形・小切手制度<br>手形・小切手の経済的機能<br>銀行取引と手形・小切手（当座勘定取引契約）       |
| 2 日目 | 統一手形用紙・手形交換・取引停止処分<br>有価証券の意義・種類<br>手形行為の種類・意義・特性       |
| 3 日目 | 約束手形について<br>振り出し（基本手形の各要件の問題点）<br>白地手形<br>各種の裏書（善意取引制度） |

◆**教科書** 通材『商法Ⅲ 0144』通信教育教材（教材コード 000314）2,850 円（送料込）

◆**参考書** 六法（必ず持参すること）

実例『手形小切手判例百選（第 6 版）』有斐閣 2,310 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** 平常点（授業中の質疑応答）及び授業の中で触れた重要な事項から出題されるテストの評価で成績判定する。

◆**E-Mail：**

## ◆経済開発の歩みと今について考える

## 〔経済開発論〕

開講単位：2 単位 担当者：須藤 裕之

◆**学習目標** 本講義の目標は、履修者が経済開発に関わるこれまでの経緯や政策の歴史、そして今現在行われている開発援助の実態や問題点などを理解することによって、今日的な経済開発の意義や国際経済社会のあり方を考えるための基礎的知識を獲得することにあります。具体的には、第一に、なぜ発展途上国という国々があるのか、第二に、経済開発政策や援助の内容とその意義について学修し、理解することにあります。

◆**授業方法** 講義する内容は、通信教育部テキスト『経済開発論』に沿ったものとしますが、限られた時間をより有意義なものとするために、具体的な授業の進め方として、担当者が独自に作成した「書込み式のプリント」を配布し、これを中心に進めていきます。その際、履修者の理解を深めるために、最新の統計データや参考資料などもプロジェクター等を用い、あわせて提示していききたいと思います。

◆**準備学習** 限られた時間で歴史から理論と国際経済に関わる大変多くの事象や概念について勉強することになりますので、履修者には、あらかじめ通信教育部テキストの第 1 章～第 4 章、そして第 9 章を読んでくると、そして重要用語（教材でゴシック体になっている用語）を可能な限り自ら予習してくることを希望します。

◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | <経済開発政策の意義と南北問題の変遷><br>※初日には、これから検討していく「経済開発」や「開発援助政策」の意味や意義について、いわゆる南北問題が認識された国家間の経済発展格差の要因とされる歴史的背景や経緯について講義します。特に、その中では、植民地時代から現代に至るまでのいわゆる「南北問題」それ自体の変質等も踏まえた議論を提示していきます。 |
| 2 日目 | <開発途上国の現状と開発援助政策について><br>※二日目は、前日の議論を踏まえながら、開発途上国の現状めぐる「貧困や不平等」、そしてそれらを是正するために歴史的に行われてきた経済開発政策の意図やその具体的な中身について、経済開発・発展メカニズムに関連してこれまで提示されたきた法則や統計データの提示をしながら進めていきます。           |
| 3 日目 | <経済発展と開発援助政策>～まとめ<br>※スクーリング最終日は、前半で ODA、国際機関による援助体制など、世界とわが国の開発援助政策について、近年の動向や特徴、そして今後の問題点について講義します。後半は、本講義全体のまとめや質問、そして試験を行なう予定です。  |

◆**教科書** **教材**『経済開発論 0740』 通信教育教材（教材コード 000350） 1,700 円（送料込）

**当日資料配布** 当日配布プリント。

◆**参考書** **丸沼**『グローバル化の光と影』 加藤義喜・青木一能編著 文眞堂 2001 年 3,150 円（税込）  
（送料 390 円）をはじめ、通信テキストにのっている参考文献。

※ただし、購入や持参は必須ではありません。

◆**成績評価基準** 成績評価基準は、テスト結果 70%、平常点 30%とします。講義全体への理解度を確かめるテスト結果が評価の中心であることはもちろんですが、各回テーマごとに課す復習用課題の提出などの平常点も加味します。

◆**E-Mail**：



## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

### 地方 (第2期)

### 福岡

| 日       | 程 | 授 業 時 間                     | 備 考            |
|---------|---|-----------------------------|----------------|
| 6 月 1 日 | 土 | 9 : 30 ~ 18 : 30            | ※時間内に昼休みを設けます。 |
| 6 月 2 日 | 日 | 9 : 00 ~ 18 : 30            |                |
| 6 月 3 日 | 月 | 9 : 00 ~ 16 : 00<br>＜試験も含む＞ |                |

※開講式をスクーリング初日の 9 時 20 分から行いますので、参加してください。

※以下の第 2 期開講の講座から 1 講座を選択してください。

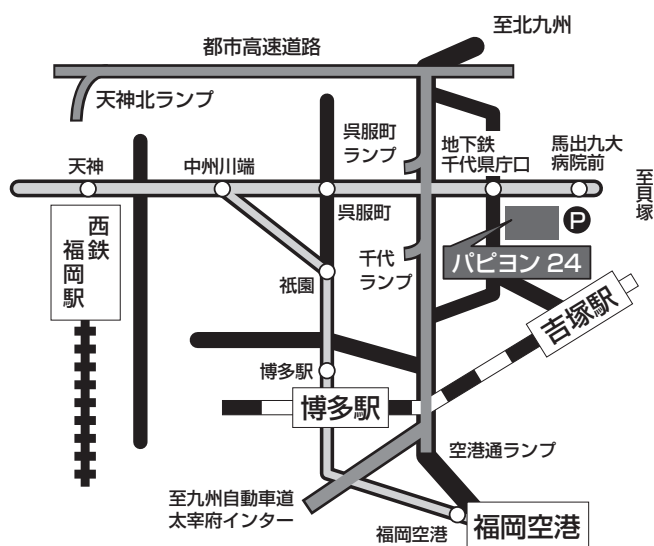
| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名 | 充 当 科 目    |         | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |   |
|------------|------------|-----------|-------|------------|---------|----------|----------|----------------|---|
|            |            |           |       | 科 目<br>コード | 科 目 名   |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件   |
| 99         | G4         | 国文学基礎講義   | 近藤 健史 | 0081       | 国文学基礎講義 |          | 条件<br>参照 |                | ・国文学専攻のみ 1 学年以上<br>申込可。<br>・その他は 2 学年以上申込<br>可。 |
| 99         | G5         | 英米文学概説    | 原 公章  | 0086       | 英米文学概説  |          | 条件<br>参照 |                | ・英文学専攻のみ 1 学年以上<br>申込可。<br>・その他は 2 学年以上申込<br>可。 |

福岡

パピヨン 24

福岡市博多区千代 1-17-1

- ・地下鉄 千代県庁口下車すぐ
- ・西鉄バス 千代町バス停前
- ・JR 吉塚駅下車徒歩 10 分



#### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◻福岡ゆかりの文学者たちを現地で学びましょう【国文学基礎講義】

開講単位：2 単位 担当者：近藤 健史

- ◆**学習目標** 福岡県は、五木寛之『青春の門』、松本清張『或る「小倉日記」伝』など、数多くの名作を生み出した文学的土壤がある。今回は福岡県ゆかりの文学者たちについて現地において学び、その特色を考えてみたい。
- ◆**授業方法** 福岡県に在住した作家、創作・勉強などで一時的に滞在した作家、福岡県を題材として創作活動をおこなった作家などに分け、その特徴などについて講義し、参加者で討論する。また「福岡市文学館」において、ゆかりの文学者の本や原稿、書簡、郷土の本、地方の同人誌などの展示物を見学することで、文学的土壤を学ぶ。
- ◆**準備学習** 事前に図書館を利用して『福岡県文学辞典』（勉強出版 13,440 円）などで、ゆかりの文学者にどんな人がいるのか、など調べておくこと。スクーリング終了の一週間後頃に、試験としてのレポートを提出してもらう。（ゆかりの文人を一人選び、特徴など）。
- ◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | 1. 福岡県の文学者たちを学ぶ。<br>(1) 福岡県ゆかりの文学者たちの歴史<br>(2) 在住した作家<br>(3) 一時的に滞在した作家 |
| 2 日目 | 1. 福岡県の文学者たちを学ぶ。<br>(1) 題材とした作家<br>2. 校外学習：福岡市文学館にて文学者に関するものを学ぶ。        |
| 3 日目 | 1. 文学的土壤・風土について学ぶ。<br>(1) 地域別 特色<br>(2) ジャンル別 特色<br>2. まとめ。             |

- ◆**教科書** 特に指定しない。自分の好きなゆかりの文学者の作品が入っている本は、1 冊くらい用意して欲しい。
- ◆**参考書** 丸沼『福岡の近代文学』 福岡市文学館 800 円（税込）（送料 210 円）  
丸沼『文学の記憶・福岡 1945』 福岡市文学館 700 円（税込）（送料 290 円）。  
問い合わせ先、福岡市総合図書館文学・文書課 福岡市文学館担当、TEL 092-852-0606。
- ◆**成績評価基準** 講義内における討論・発言など 20%、レポートの内容 80%により、総合的に評価します。
- ◆**E-Mail**：

### ◻19 世紀イギリス小説の中の女性像を探る【英米文学概説】

開講単位：2 単位 担当者：原 公章

- ◆**学習目標** 19 世紀イギリスは、女性の生活、地位、職業などが目覚しく変遷していった世紀だった。「家庭の天使」として女性が、いかに「新しい女」へと移り変わっていったか、その経過を代表的な小説を通して探っていく。  
※ 2011 年神戸スクーリング、2012 年大阪スクーリングと内容が重複するため、両スクーリングを受講した学生は受講できません。
- ◆**授業方法** メリン・ウィリアムズ『女性たちのイギリス小説』（南雲堂）をテキストに、主要作家の主要作品をとりあげつつ、そこで解説されていく内容を担当者が解説・要約していく。英語の本文ではなく翻訳を主であるが、引用によっては原文も扱いたい。また、オースティン『説得』と、ブロンテ姉妹の伝記をビデオ鑑賞する予定。
- ◆**準備学習** テキストで言及されている作品のうち、目にふれたものをできる限り、読んでくることが望ましい。時間のない場合は、テキストにざっと目を通して出席して欲しい。
- ◆**授業計画**〔1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 日目 | イントロダクション；<br>社会と小説の中の女性；イデオロギーと小説              |
| 2 日目 | ジェイン・オースティン；ウォルター・スコット；『説得』鑑賞<br>19 世紀初期の女性作家たち |
| 3 日目 | チャールズ・ディケンズ；ブロンテ姉妹『伝記』鑑賞、他                      |

- ◆**教科書** 丸沼『女性たちのイギリス小説』 メリン・ウィリアムズ 南雲堂 2,940 円（税込）（送料 340 円）
- ◆**参考書** 講義の中で紹介する。
- ◆**成績評価基準** 受講状況（20%）、最終試験（80%）
- ◆**E-Mail**：

*MEMO*

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple sets of three horizontal dashed lines, providing a guide for letter height and placement. The lines are evenly spaced across the entire page, which is otherwise blank.

# IV 夜間スクーリング

## 1 開講日程

|        |   |      |      |      |      |      |
|--------|---|------|------|------|------|------|
| 開講期間   | 5月20日(月)～7月12日(金)   |      |      |      |      |      |
| 授業時間   | 18:30～21:25   |      |      |      |      |      |
| 受講形態   | 月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。<br>また、すべての講義に出席が求められます。 |      |      |      |      |      |
| 授業日程   | 月   | 月曜日  | 火曜日  | 水曜日  | 木曜日  | 金曜日  |
| ①: 1回目 | 5月  | ① 20 | ① 21 | ① 22 | ① 23 | ① 24 |
| ②: 2回目 |   | ② 27 | ② 28 | ② 29 | ② 30 | ② 31 |
| ③: 3回目 | 6月  | ③ 3  | ③ 4  | ③ 5  | ③ 6  | ③ 7  |
| ④: 4回目 |   | ④ 10 | ④ 11 | ④ 12 | ④ 13 | ④ 14 |
| ⑤: 5回目 |   | ⑤ 17 | ⑤ 18 | ⑤ 19 | ⑤ 20 | ⑤ 21 |
| ⑥: 6回目 |   | ⑥ 24 | ⑥ 25 | ⑥ 26 | ⑥ 27 | ⑥ 28 |
| ⑦: 7回目 | 7月  | ⑦ 1  | ⑦ 2  | ⑦ 3  | ⑦ 4  | ⑦ 5  |
| ⑧: 8回目 |   | ⑧ 8  | ⑧ 9  | ⑧ 10 | ⑧ 11 | ⑧ 12 |

※ 各曜日から1講座のみの申込みで、最多合計5講座まで受講できます。

## 2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 名 称     | 日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺   |
| 所 在 地   | 通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3    |
| 交 通 案 内 | 水道橋駅から徒歩5分<br>神保町駅から徒歩7分 |

※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

## 3 開講講座

| 月 曜 日         |           |
|---------------|-----------|
| 講 座 名         | 担 当 講 師 名 |
| 法 学 B         | 武 田 茂 樹   |
| 英 語 H         | 佐 藤 健 児   |
| 英 語 学 演 習 H   | 市 川 泰 弘   |
| 証 券 市 場 論     | 高 嶋 勝 平   |
| 英 語 科 教 育 法 Ⅲ | 佐 藤 恵 一   |
| 経 済 学 概 論     | 大 塚 友 美   |
| 博 物 館 資 料 論   | 大 塚 英 明   |

| 火 曜 日           |           |
|-----------------|-----------|
| 講 座 名           | 担 当 講 師 名 |
| 宗 教 学 基 礎 講 読 B | 合 田 秀 行   |
| 行 政 法 I         | 和 知 賢 太 郎 |
| 民 法 Ⅲ B         | 根 本 晋 一   |
| イ ギ リ ス 文 学 史 I | 小 山 誠 子   |
| 国 語 科 教 育 法 I   | 品 川 利 幸   |
| 博 物 館 展 示 論     | 濱 田 晋 介   |

| 水 曜 日         |               |
|---------------|---------------|
| 講 座 名         | 担 当 講 師 名     |
| 英 語 J         | ダ レ ル ハ ー デ ィ |
| 刑 法 Ⅱ         | 坂 井 愛         |
| 国 文 法         | 保 科 恵         |
| 英 語 史         | 真 野 一 雄       |
| 英 米 文 学 演 習 J | 石 川 勝         |
| 会 計 学         | 林 徳 順         |

| 木 曜 日           |            |
|-----------------|------------|
| 講 座 名           | 担 当 講 師 名  |
| 政 治 学 C         | 関 根 二 三 夫  |
| 英 語 K           | 北 原 安 治    |
| 考 古 学 入 門       | 山 本 孝 文    |
| 国 文 学 概 論       | 布 村 浩 一    |
| スピーチコミュニケーション I | アレックス ブラウン |
| 東 洋 思 想 史 I     | 本 間 直 人    |

| 金 曜 日       |           |
|-------------|-----------|
| 講 座 名       | 担 当 講 師 名 |
| 英 語 L       | 講 師 未 定   |
| 英 語 学 概 説 B | 田 中 竹 史   |
| 国 語 学 講 義   | 加 藤 陽 子   |
| 日 本 思 想 史 I | 島 田 健 太 郎 |
| 経 済 史 総 論 B | 古 賀 義 弘   |
| 商 品 学       | 鄭 舜 玉     |
| 教 育 制 度 論   | 安 藤 忠     |
| 博 物 館 概 論   | 中 野 照 男   |

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

|     |     |             |      |     |      |      |      |     |                |
|-----|-----|-------------|------|-----|------|------|------|-----|----------------|
| 夜 間 | 時間  | 18：30～21：25 |      |     |      |      |      |     |                |
|     | 授業日 | 1回目         | 2回目  | 3回目 | 4回目  | 5回目  | 6回目  | 7回目 | 8回目<br>＜試験を含む＞ |
| 月曜日 |     | 5/20        | 5/27 | 6/3 | 6/10 | 6/17 | 6/24 | 7/1 | 7/8            |

※以下の月曜日開講の講座から 1 講座を選択してください。

| 講座コード | 開 講 講 座 名       | 担当講師名 | 充 当 科 目 |                      | 受講方式 | 制 限・注 意 |        |  |
|-------|-----------------|-------|---------|----------------------|------|---------|--------|--|
|       |                 |       | 科目コード   | 科目名                  |      | 配当学年    | カリキュラム | 受 講 条 件  |
| A1    | 法 学 B           | 武田 茂樹 | 0021    | 法 学<br>(日本国憲法2単位を含む) |      | 1年      |        |  |
| A2    | 英 語 H           | 佐藤 健児 | 0041    | 英 語 I                |      | 1年      |        | I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                |
|       |                 |       | 0042    | 英 語 II               |      |         |        |  |
|       |                 |       | 0043    | 英 語 III              |      | 2年      |        |  |
|       |                 |       | 0044    | 英 語 IV               |      |         |        |  |
| A3    | 英 語 学 演 習 H     | 市川 泰弘 | 0481    | 英 語 学 演 習 I          | ※    | 3年      |        | 英文学専攻のみ申込可<br>I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|       |                 |       | 0482    | 英 語 学 演 習 II         |      |         |        |  |
|       |                 |       | 0483    | 英 語 学 演 習 III        |      |         |        |  |
| A4    | 証 券 市 場 論       | 高嶋 勝平 | 0829    | 証 券 市 場 論            |      | 2年      |        |  |
| A5    | 英 語 科 教 育 法 III | 佐藤 恵一 | 0961    | 英 語 科 教 育 法 III      | ※    | 2年      |        | 英文学専攻のみ申込可<br>スクーリング1回の合格で単位完成する科目です               |
| A6    | 経 済 学 概 論       | 大塚 友美 | 0986    | 経 済 学 概 論            |      | 条件参照    |        | 経済学部のみ1学年以上申込可<br>その他は2学年以上申込可                     |
| A7    | 博 物 館 資 料 論     | 大塚 英明 | 2012    | 博 物 館 資 料 論          | ※    | 2年      | D      | スクーリング1回の合格で単位完成する科目です                             |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◆現代世界を理解するための8個の歴史的テーマ

〔法学 B〕

月曜日

開講単位：2 単位

担当者：武田 茂樹

◆**学習目標** 本講座は、現代世界の法の在り方について考察することを目標としています。近代社会に形成された主権国家システムは、今日でも重要な役割を担っていますが、同時にその閉鎖性が国際社会の発展を妨げています。地球環境全体を基盤とした新たな世界システムの構築が現代世界の課題であり、その展望を考えたいと思います。

◆**授業方法** 法について世界的視点から学ぶために、一日に一つの法の世界史的テーマを選んで説明し、その積み重ねによって、現代の法について多様な角度から考察できるよう法的認識を深めて行きたいと思います。

◆**準備学習** 現代の法的問題は、政治、経済、文化、宗教など多様なジャンルが複合していて単純な答えを導くことは困難です。いろいろなことに積極的に興味をもって研究してください。法学の本格的な各論の基本書としては、有斐閣の Legal Quest のシリーズをお薦めします。

#### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 「法とは何か」、「法はどのように誕生したのか」。ハムラビ法典の理解を通じて、古代法の成立について考察します。                      |
| 2 回目 | 今日の法の源流であり、古代法の完成形態ともいえる古代ローマ法の成立原因とその法的構造について考察します。                        |
| 3 回目 | 法と宗教は社会規範として長い間、深い関係性と葛藤を続けています。その本質ともいえる中世キリスト教と法との関係について考察します。            |
| 4 回目 | 法の基本的構造が現代的な社会基盤として整ったのは、近代立憲主義に基づく近代法体系で、その歴史背景として近代市民革命という社会変動があります。      |
| 5 回目 | 資本主義経済の成立は、近代法システムの根本的な社会基盤であり、資本主義経済の下で法と経済は根本的な連関性を有するようになります。            |
| 6 回目 | 資本主義経済の産業革命による発展は、社会的矛盾を顕在化し、植民地支配の争奪を目的とする第一次世界大戦・第二次世界大戦と言う帝国主義的戦争に至ります。  |
| 7 回目 | 悲惨な世界大戦の反省のもとに、新たな平和主義に基づく現代法システムの形成が目指されます。日本国憲法は現代平和主義の理念に基づく代表的な現代憲法です。  |
| 8 回目 | 主権国家の閉鎖的枠組みを超えて、世界の法が、個人の人権保障、民主主義、平和主義を地球規模で実現すべきであるという「人間の安全保障」が主張されています。 |

◆**教科書** 特になし。

◆**参考書** 参考文献は講義中に紹介します。

◆**成績評価基準** 試験成績（90%）、平常点（10%）

◆**E-Mail**：

### ◆『Chicken Soup for the Soul』を読む②

〔英語 H〕

月曜日

開講単位：1 単位

担当者：佐藤 健児

◆**学習目標** 全米中で感動の渦を巻き起こした『Chicken Soup for the Soul』の精読を通して、読解の方法を学ぶと共に、文法の知識が英文を読む（味わう）うえでいかに重要であるかを実感すること、それをこの授業の目標とします。テキストは高校で学習した文法・語法の知識があれば十分に読みこなすことのできるレベルです。受講する際の一応の目安にしてください。なお、昨年度の春期スクーリング（英語 G）の内容と一部（読解①、②）重複します。

◆**授業方法** 第1編“The Circus”（p. 1）から輪読形式で読み進めていきます。指名された学生にはテキストの音読と和訳（説明）をしてもらい、その後、教員が内容（文法事項）の確認、解説をしていきます。また、適宜、補足プリントを用いて、英文読解の鍵となるいくつかの重要な文法事項を学習していきます。なお、受講者の様子（や希望）を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまでも「参考」です。

◆**準備学習** 予習をする際は、辞書や注釈を参照しながら、できるだけ丁寧に（文法や語彙の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。第1回目の授業では、「品詞と文型」が終わり次第、読解①へと進みますので、そのつもりで準備をしておいてください。

#### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 1 回目 | 品詞と文型                   |
| 2 回目 | 読解① The Circus          |
| 3 回目 | 読解② Puppies For Sale    |
| 4 回目 | 読解③ Follow Your Dream   |
| 5 回目 | 読解④ Love And The Cabbie |
| 6 回目 | 読解⑤ The Smile           |
| 7 回目 | 読解⑥ A Simple Gesture    |
| 8 回目 | 総まとめと試験                 |

◆**教科書** 丸沼『チキンスープをどうぞー心あたたまる 17 のアメリカ小話集』 Jack Canfield・Mark Victor Hansen 編著 小野和人・小谷耕二 編注 金星堂 1,628 円（税込）（送料 260 円）

◆**参考書** 丸沼『総合英語 Forest』 石黒昭博 監修 桐原書店 1,575 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況・発表等）・試験により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## □生成文法と言語習得：初期の研究から

〔英語学演習 H〕

月曜日

開講単位：1 単位

担当者：市川 泰弘

◆**学習目標** 本講の目的は英語を研究する際に、重要となる語学力を身につけることと、生成文法が出現して、言語習得についてどのような認識がもたれ、研究されてきたのかを理解することです。

◆**授業方法** 生成文法（変形文法）の標準理論を理論基盤として言語習得を研究した C.Chomsky の Dissertation を読み進めます。最初に理論的基盤について説明をし、その上で、プリントを読み進めていくことになります。プリントは担当者を決め、内容を説明してもらいながら進めていきます。

◆**準備学習** 事前に配布するプリントを日本語に訳し、何を言っているのかをまとめるようにしてください。授業方法で示したとおり、平常点の一部として授業中に訳してもらいます。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 回目 | ガイダンス・生成文法（標準理論について）   |
| 2 回目 | Theoretical Consideration of Linguistic Complexity I<br>発表・小レポート |
| 3 回目 | Theoretical Consideration of Linguistic Complexity I<br>発表・小レポート |
| 4 回目 | Theoretical Consideration of Linguistic Complexity I<br>発表・小レポート |
| 5 回目 | Experimental Design<br>発表・小レポート                                  |
| 6 回目 | Experiment I<br>発表・小レポート   |
| 7 回目 | Experiment II<br>発表・小レポート  |
| 8 回目 | Experiment III および、最近の言語研究発表・小レポート                               |

◆**教科書** **当日資料配布** プリント（C. Chomsky, The Acquisition of Syntax in Children from 5 to 10）を配布します。

◆**参考書** **丸沼**『認知科学への招待 2』 大津由紀雄、波多野誼余夫編 研究社 3,150 円（税込）（送料 390 円）  
『Contemporary Linguistic Analysis』 千葉修司他編注 松柏社

◆**成績評価基準** 発表・小レポートなどを総合して判断します。

◆**E-Mail：**

## □証券市場を正しく理解するために

〔証券市場論〕

月曜日

開講単位：2 単位

担当者：高嶋 勝平

◆**学習目標** ・教科書に載っていない証券市場についての現状と実態・課題を学びます。  
・初歩的な分野から専門的な分野まで幅広く網羅した内容を学びます。

◆**授業方法** ・レジュメに沿った講義を基本としますが、証券市場に関するトピックが生じた時は当該事項についての質問を受け、解説を加えたり議論を行ったりします。  
・初歩的な分野から専門的な分野まで幅広く網羅した内容を学びます。・質疑応答は適宜行います。  
・初歩的な分野から専門的な分野まで幅広く網羅した内容を学びます。・**電卓は必携とします。**

◆**準備学習** ・証券市場に関する新聞記事、雑誌記事をスクラップしておいてください。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 証券市場概観                                    |
| 2 回目 | 証券市場関係者についての概説、証券会社について（定義と業務の実態）         |
| 3 回目 | 証券会社について（証券会社業務、取扱い商品）                    |
| 4 回目 | 証券会社について（取扱い商品の取引の実態、流通市場、発行市場）<br>レポート作成 |
| 5 回目 | 証券会社について（リスクマネジメントとコンプライアンス）              |
| 6 回目 | 証券会社について（海外業務の現状）                         |
| 7 回目 | 証券会社における利害関係者についての詳説                      |
| 8 回目 | 証券市場を取り巻く変遷と展望<br>レポート作成（試験）              |

◆**教科書** 特に使用しません。  
**事前資料送付** レジュメを事前に配布します。

◆**参考書** 必要に応じて指示します。

◆**成績評価基準** レポート形式の試験を最終日に実施します。  
理解度をみるため中間時にレポートを提出してもらいます。

◆**E-Mail：**





## ◆博物館資料が語るもの

## 〔博物館資料論〕

月曜日

開講単位：2 単位 担当者：大塚 英明

◆**学習目標** テーマを「博物館資料が語るもの」と設定し、多様化する博物館資料の保存と活用の在り方について検討するとともに、これを取り巻く今日的な課題を探り、基礎的な能力を構築する。

◆**授業方法** 上記の「学習目標」を視野に入れ、以下の項目を基軸に講義を基調として、必要に応じて質疑応答を行ない理解の深化を図る。

1. 博物館資料の概念を理解する。
2. 博物館資料の調査・研究を考える。
3. 博物館資料の保存と活用の在り方を考える。

◆**準備学習** 我が国の国公立の博物館・美術館・資料館などの公開施設の内、1 館を選定して当該館の所蔵する博物館資料を概観し、関心のある博物館資料につて調べておくこと。また、館案内及び資料の映像を用意しておくこと。なお、授業内で各自の報告を予定している。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 1 回目 | 博物館資料とは何か。博物館資料化へのプロセスを探る。           |
| 2 回目 | 博物館資料の種類と分野。博物館資料（人文系）の収集。           |
| 3 回目 | 博物館資料（人文系）の調査・研究と保存対応。               |
| 4 回目 | 博物館資料（自然系）の収集。博物館資料（自然系）の調査・研究と保存対応。 |
| 5 回目 | 質疑応答 課題について各自の報告を行なう。                |
| 6 回目 | 画像形成と保存科学的調査の確保。                     |
| 7 回目 | 展示公開における博物館資料の存在と意義。                 |
| 8 回目 | 博物館資料の現状把握と今後の課題。                    |

◆**教科書** 使用しない。〔当日資料配布〕授業内に関連資料等を配布する。

◆**参考書** なし。授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 授業内報告（30%）、試験（70%）を基準に総合的に評価する。

◆**E-Mail**：

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

|            |     |             |      |     |      |      |      |                       |
|------------|-----|-------------|------|-----|------|------|------|-----------------------|
| 夜 間<br>火曜日 | 時間  | 18:30～21:25 |      |     |      |      |      |                       |
|            | 授業日 | 1回目         | 2回目  | 3回目 | 4回目  | 5回目  | 6回目  | 7回目<br>8回目<br>＜試験を含む＞ |
|            |     | 5/21        | 5/28 | 6/4 | 6/11 | 6/18 | 6/25 | 7/2<br>7/9            |

※以下の火曜日開講の講座から 1 講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名   | 担当講師名  | 充 当 科 目    |                    | 受 講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |  |
|------------|-------------|--------|------------|--------------------|-----------|----------|----------------|--|
|            |             |        | 科 目<br>コード | 科 目 名              |           | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件                                      |
| B1         | 宗教学基礎講読 B   | 合田 秀行  | 0092       | 宗教学基礎講読            |           | 2年       |                |  |
| B2         | 行 政 法 I     | 和知 賢太郎 | 0122       | 行 政 法 I            |           | 2年       |                |  |
| B3         | 民 法 III B   | 根本 晋一  | 0134       | 民 法 III            |           | 2年       |                |  |
| B4         | イギリス文学史 I   | 小山 誠子  | 0411       | イ ギ リ ス<br>文 学 史 I |           | 条件<br>参照 |                | ・英文学専攻のみ1学年以上<br>申込可。<br>・その他は2学年以上申込可。      |
| B5         | 国語科教育法 I    | 品川 利幸  | 0931       | 国語科教育法 I           | ※         | 2年       |                | ・国文学専攻のみ申込可。<br>・スクーリング1回の合格で<br>単位完成する科目です。 |
| B6         | 博 物 館 展 示 論 | 濱田 晋介  | 2014       | 博 物 館 展 示 論        | ※         | 2年       | D              | ・スクーリング1回の合格で<br>単位完成する科目です。                 |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

## ◆知の巨人・空海思想体系を学ぶ

〔宗教学基礎講読 B〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：合田 秀行

◆**学習目標** 空海の著作『秘蔵宝鑑』（書き下し文・現代語訳）の講読を通して、空海の十住心の思想を学ぶとともに、仏教諸宗派の思想はもとより、仏教以外の思想の基本的な特徴についても理解することを目指します。このテキストは、淳和天皇の勅命により、自宗の教理をまとめたもので、『秘密曼荼羅十住心論』とともに献上されている空海晩年の傑作です。現代を生き抜く私たちの心にも響く、空海思想を味わっていききたいと思います。

◆**授業方法** 指定の教科書、あるいは必要に応じて講師作成のプリントを使用して、講義形式で進めます。受講生にテキストを輪読してもらい、それに解説を加え、随時、質疑応答の時間も設けながら、進めていきます。空海あるいは密教関連の映像資料も使って、より理解を深めるようにします。

◆**準備学習** 予めそれぞれの回の範囲をよく読んで講義に臨んで下さい。特に多岐にわたる仏教の専門用語については、語釈も十分に参照してください。具体的にテキストを読み始めるのは、2回目からになります。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 空海の生涯と主な著作について DVD「空海の風景・前編」鑑賞<br>※まずは映像資料も参照しながら、空海の人生をたどり、他の著作についても概説します。         |
| 2 回目 | 序文 序詩に基づく十住心の体系に関する概要 DVD「空海の風景・後編」鑑賞<br>※十住心の体系の全体像を紐解きながら、その流麗さで有名な序文の詩を味読していきます。 |
| 3 回目 | 第一住心 異生牴羊心・第二住心 愚童持斎心・第三住心 嬰童無畏心<br>※欲望のままの心のあり方から、道徳・倫理、(神話的)宗教のあり方という諸段階を学びます。    |
| 4 回目 | 第四住心 唯蘊無我心・十四問答<br>※第四住心から仏教の段階に移ります。所謂、小乗仏教(声聞乗)と十四問答を学びます。                        |
| 5 回目 | 第五住心 拔業因種心・第六住心 他縁大乘心・第七住心 心覚心不生心<br>※縁覚乗から、大乘仏教の法相宗(唯識思想)と三論宗(中観思想)のあり方を学びます。      |
| 6 回目 | 第八住心 一道無為心・第九住心 極無自性心<br>※さらに大乘仏教の天台宗と華嚴宗を取り上げ、中国でまとめられたそれらの教理を学びます。                |
| 7 回目 | 第十住心 秘密莊嚴心 DVD「空海と東寺の至宝」鑑賞(予定)<br>※究極の教えである真言密教とその修行法を学び、顕教と密教との思想的差違も理解します。        |
| 8 回目 | 『秘蔵宝鑑』の十住心に関するまとめ 現代における空海<br>試験  |

◆**教科書** 丸沼『空海コレクション1』 宮坂宥勝 筑摩書店(ちくま学芸文庫) 1,470 円(税込)(送料 340 円)

◆**参考書** 丸沼『空海入門』 加藤精一 角川書店(角川ソフィア文庫) 700 円(税込)(送料 260 円)

◆**成績評価基準** 試験 70%, 平常点 30%

◆**E-Mail** :

## ◆行政の仕組みと諸活動

〔行政法 I〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：和知 賢太郎

◆**学習目標** 本講義の目標は行政法体系の概略を把握することです。行政法 I では、「行政法とは」、「法律による行政の原理」、「行政を行う組織・活動」を中心に行政法理論についてできるだけ平易に説明して、行政と行政法への関心を深め、行政法を支える理論の概要を把握してもらいたいと思います。

◆**授業方法** 主として講義が中心となります。毎回、それぞれのテーマに応じて講義ノート中心として、必要な資料(プリント)を配布します。講義内容はあらかじめパワー・ポイント原稿にしてありますので、プロジェクターを使用して講義を行います。

◆**準備学習** 原則として、毎週配布するプリントは次回の授業内容を含めたものになっています。講義時に講義ノートプリントに各自が補った内容を確認しながら、次回の講義の準備としてテキストや講義で紹介する参考書などを読む、というサイクルを繰り返して下さい。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | ① ガイダンス<br>② 行政の概念、「法律による行政の原理」、法律による授権等      |
| 2 回目 | ① 行政法の特徴・法源・行政上の法律関係<br>② 行政の仕組みと行政活動の主体      |
| 3 回目 | 中央と地方の行政組織                                    |
| 4 回目 | ① 行政機関(行政庁とその他の行政機関、権限等)<br>② 行政立法(法規命令と行政規則) |
| 5 回目 | ① 行政計画(類型、行政計画と法律による行政の原理、策定手続等)<br>② 行政契約    |
| 6 回目 | 行政行為(1)(行政行為の分類、行政行為と裁量、行政行為の附款、行政行為の諸効力)     |
| 7 回目 | 行政行為(2)(行政行為の瑕疵、行政行為の取消と撤回)                   |
| 8 回目 | ① 行政指導(類型、法的統制、行政手続との関係、要綱行政との関係等)<br>② 試験の実施 |

◆**教科書** 通称『行政法 I 0122』 通信教育教材(教材コード 000051) 2,600 円(送料込)

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、講義ごと実施する小テスト(40%)、試験(60%)で総合的に判断します

◆**E-Mail** :

## □債権総論の体系と基本論点

〔民法Ⅲ B〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：根本 晋一

- ◆**学習目標** 1 民法学における、債権総論の体系的な位置付を理解する。  
2 債権総論の体系（全体像）を理解する。  
3 1, 2 の理解および修得を前提として、債権総論に関する基本論点を理解する。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡その目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「民法Ⅲ」スク2 単位+根本「民法Ⅲ」スク2 単位=「民法Ⅲ」1 科目（4 単位）完成は不可である。例外は認めない。
- ◆**準備学習** 前回講義における板書事項をしっかりと読み直してこよう。それが本講義における予習であり、準備学習である。
- ◆**授業計画〔各 170 分〕**

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 学習目標の 1 および 2<br>民法の全体像（民法と広義の商法・財産法と家族法）・財産法の概要（物権法と債権法）など |
| 2 回目 | （前回の続き）<br>債権総論の体系と基本論点（債権の発生・目的など）                         |
| 3 回目 | （前回の続き）   |
| 4 回目 | （前回の続き）<br>債権総論の体系と基本論点（債権の効力・多数当事者の債権債務関係など）               |
| 5 回目 | （前回の続き）   |
| 6 回目 | （前回の続き）<br>債権総論の体系と基本論点（債権譲渡・債権の消滅など）                       |
| 7 回目 | （前回の続き）   |
| 8 回目 | （前回の続き）<br>調整と復習・筆記試験（ただし、レポート試験の場合には実施しない）                 |

- ◆**教科書** 指定しない。
- ◆**参考書** **通材**『民法Ⅲ 0134』通信教育教材（教材コード 000354）2,600 円（送料込）  
**丸国**『じつは身近な債権法一知って得する！ 契約、損害賠償制度 etc…の「基礎知識」』山川一陽著 日本加除出版株式会社 3,360 円（税込）（送料 340 円）など。その他の文献については適宜紹介をする。
- ◆**成績評価基準** 筆記試験またはレポートの成績・授業態度等を、総合的に考慮する。
- ◆**E-Mail：**

## □イギリス文学史（18 世紀迄）を概観する

〔イギリス文学史 I〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：小山 誠子

- ◆**学習目標** イギリス（England を中心に）における社会的／文化及び宗教的歴史背景を概観しながら時代を代表する作品を可能な限り原文（英語）にて鑑賞することで英文学についての理解を深め、今後の専門研究へとつなげていきます。（※本講義は初めてスクーリングでこの講座（小山担当）を受講する人のみを対象としています。）  
また、今回の講座では、「第 1 章 Anglo-Saxon」～「第 3 章 文芸復興」までを中心とします。
- ◆**授業方法** 下記授業計画に従い、①時代背景／思潮及び②代表的な作家及び作品の特徴を解説した後、③実際の作品（テキスト後半＜Texts＞及び随時配布予定）を受講者主体（音読／和訳 分担）にて考察／検証します。
- ◆**準備学習** 授業方法／計画を意識し、テキストに登場する作家／作品／年代及び関連事項を整理しながら全体の流れをある程度確認した上で授業に臨んでください。また、作品の考察に関しては指示に従い予習しておいてください。
- ◆**授業計画〔各 170 分〕**

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 1 回目 | ガイダンス<br>第 1 章 Anglo-Saxon の文学 |
| 2 回目 | 第 2 章 中世英語時代の文学（1）             |
| 3 回目 | 第 2 章 中世英語時代の文学（2）             |
| 4 回目 | 第 3 章 文芸復興時代の文学（1）             |
| 5 回目 | 第 3 章 文芸復興時代の文学（2）             |
| 6 回目 | 第 3 章 文芸復興時代の文学（3）             |
| 7 回目 | 第 4 章 十七世紀の英文学                 |
| 8 回目 | 第 5 章 十八世紀の英文学<br>まとめ／テスト      |

- ◆**教科書** **通材**『イギリス文学史 I 0411』通信教育教材（教材コード 000111）2,300 円（送料込）
- ◆**参考書** 大学生／社会人レベルの英語辞書（電子辞書可）を毎回持参のこと。  
※携帯電話や PC による辞書替わりの授業での使用は認めない。
- ◆**成績評価基準** 平常点（予習／発表を含む授業への取り組み）：40％ 試験：60％
- ◆**E-Mail：**

## ◆理念と展開

## 〔国語科教育法Ⅰ〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：品川 利幸

◆**学習目標** 「理念と展開」を骨子に据え、関係法規を照らしつつ『国語科教育法Ⅰ』で説かれる内容を講義する。次にはその理念を『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、具体的な教材に即して国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。各回毎にテーマを定め、取り上げた教材を元に模擬授業による展開例からその適否を合評する。

◆**授業方法** 『国語科教育法Ⅰ』巻末の「国語教育関係法規」などから教育課程の意義と編成の方法について捉える。具体的には高校 1 年生の教科書（『国語総合』）を用い、学習指導案の作成など現場に即応した内容を基軸に、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その展開について考察を加える。また、読書指導、作文指導、ディベートなどについても取り上げたい。

◆**準備学習** 事前課題として『国語総合』18 頁～29 頁「羅生門」を 4 時間で担当する前提で、本時を第 1 時限目とする学習指導要領を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、『国語総合』から初日に提示する 6 教材について、割り当てられた教材の展開例を考え、各回毎の学習指導案の作成など模擬授業に対応して欲しい。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | ①教育課程の意義と編成の方法について、「教育法Ⅰ」テキスト巻末の関係法規を参照しつつ考察する。<br>②学習指導案の作成法について考察する。教育実習を想定してその実際を捉える。            |
| 2 回目 | ①「教育法Ⅰ」テキストに依り、ジャンル別教材研究として〔現代文〕の指導例について考察する。<br>②具体的な実践例として、小説の指導法を事前課題『羅生門』を取り込み考察する。             |
| 3 回目 | ①「教育法Ⅰ」テキストに依り、ジャンル別教材研究として〔古典〕の指導例について考察する。<br>②「古文入門」の指導法を説話集より「児のそら寝」をもとに考察する。                   |
| 4 回目 | ①漢文入門としての「訓詁の基礎」の指導法について考察する。<br>②具体的な展開例として、故事から「借虎威」を取り上げ、模擬授業を通して、被教授者の立場から疑問点などを明示していく。         |
| 5 回目 | ①現代文指導の中枢を占める評論文の指導法を考える。<br>②具体的な実践例として、評論文の展開を「水の東西」をもとに捉え、読解に関わる二項対応など効果的な指導法を考察する。              |
| 6 回目 | ①古文教材から「徒然草」を取り上げ、読解の基礎としての古典文法について、その指導法を考察する。<br>②具体的には「亀山殿の御池に」から用言と助動詞について指導の実際を考える。            |
| 7 回目 | ①漢文の基本となる句型について取り上げ、4 回目と合わせて漢文の基本事項を確認する。<br>②異なるジャンルから漢詩「香炉峰下新ト山居～」に取り組み、その形式と鑑賞法について模擬授業を通じて捉える。 |
| 8 回目 | ①7 回目までに盛り込めなかったディベート、読書法、作文教育などについて取り上げる。<br>②以上、春期 8 回分の内容から試験を課す。                                |

◆**教科書** **題材**『国語科教育法Ⅰ 0931』 通信教育教材（教材コード 000469）2,550 円（送料込）

**丸沼**『国語総合』 高校 1 年教科書 教育出版 835 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、受講状況（30%）、提出物（20%）、試験（50%）により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆博物館の展示

## 〔博物館展示論〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：濱田 晋介

◆**学習目標** 博物館では何故展覧会を行うのか。また、その方法や留意点にはどのようなものがあるのか。現在各地で行われている各館園の事例を通して、その理論と実践を学びます。自らが展示を行う際に必要な知識を習得することを目的とします。

◆**授業方法** 下記の教科書を主に使用しながら、講義形式で進めていきます。また、適宜映像資料を交えながら、現在行われている博物館での展示を紹介・解説しながら、博物館での展示を実施するにあたっての留意点や着目点についても論じていきます。受講人数が少ない場合は、展示立案をシュミレーションする方法に変更する場合があります。

◆**準備学習** 事前に教科書を通読しておいてください。特に第 4 章、第 5 章は重点的に読んでください。また近隣の博物館や美術館、動植物園などで行われている、展覧会について実際に観覧し、タイトル・開催館名・期間・内容（字数の上下限の制限なし）をまとめておくこと（授業の 1 日目に集めます）。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 1 回目 | これからの授業の進め方、展示の意味、展示の種類            |
| 2 回目 | 展示を行う環境 ―温度湿度、照明、虫・被害の防止―          |
| 3 回目 | 展示の計画から実践まで                        |
| 4 回目 | 展示の実際 1 常設展示                       |
| 5 回目 | 展示の実際 2 企画展示・巡回展示                  |
| 6 回目 | 展示の実際 3 野外展示、展示の実際 4 調査研究・記念顕彰型の展示 |
| 7 回目 | 展示の実際 5 市民参加型の展示                   |
| 8 回目 | 展示論のまとめと留意点、試験                     |

◆**教科書** **題材**『博物館展示論 2014』 通信教育教材（教材コード 000478）2,450 円（送料込）

〈この教材は市販の『学芸員の仕事』神奈川県博物館協会編（岩田書店）と同一です〉

◆**参考書** **丸沼**『展示論』 日本展示学会編 雄山閣 2,730 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（提出物、授業態度など）と試験により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

|     |     |             |      |      |      |      |      |      |                 |
|-----|-----|-------------|------|------|------|------|------|------|-----------------|
| 夜 間 | 時間  | 18：30～21：25 |      |      |      |      |      |      |                 |
|     | 授業日 | 1 回目        | 2 回目 | 3 回目 | 4 回目 | 5 回目 | 6 回目 | 7 回目 | 8 回目<br>＜試験を含む＞ |
| 水曜日 |     | 5/22        | 5/29 | 6/5  | 6/12 | 6/19 | 6/26 | 7/3  | 7/10            |

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名 | 担当講師名    | 充 当 科 目    |            | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |           |  |
|------------|-----------|----------|------------|------------|----------|----------|-----------|--|
|            |           |          | 科 目<br>コード | 科 目 名      |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュム | 受 講 条 件  |
| C1         | 英 語 J     | ダレル ハーディ | 0041       | 英 語 I      |          | 1 年      |           | ・ I ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。                  |
|            |           |          | 0042       | 英 語 II     |          |          |           |  |
|            |           |          | 0043       | 英 語 III    |          | 2 年      |           |  |
|            |           |          | 0044       | 英 語 IV     |          |          |           |  |
| C2         | 刑 法 II    | 坂井 愛     | 0152       | 刑 法 II     |          | 2 年      |           |  |
| C3         | 国 文 法     | 保科 恵     | 0355       | 国 文 法      |          | 2 年      |           |  |
| C4         | 英 語 史     | 真野 一雄    | 0441       | 英 語 史      |          | 2 年      |           |  |
| C5         | 英米文学演習 J  | 石川 勝     | 0486       | 英米文学演習 I   | ※        | 3 年      |           | ・ 英文学専攻のみ申込可。<br>・ I ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|            |           |          | 0487       | 英米文学演習 II  |          |          |           |  |
|            |           |          | 0488       | 英米文学演習 III |          |          |           |  |
| C6         | 会 計 学     | 林 徳順     | 0851       | 会 計 学      |          | 2 年      |           |  |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◆ English Through Movies

〔英語 J〕

水曜日

開講単位：1 単位

担当者：ダレル ハーディ

◆学習目標 In this course we will study and practice authentic English from scenes from a popular movie.

◆授業方法 We will use the movie, "Back to the Future" for listening comprehension, and for speaking practice. We will study some common idioms and expressions as presented in the movie. Students will be able to practice authentic English from the movie by role-playing scenes from the movie.

◆準備学習 No prerequisites are required. However, lower level students may find the speed of speech and content challenging.

#### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 回目 | Orientation and Introductions. Scene 1 and Scene 2 |
| 2 回目 | Scene 2 continued and Scene 4                      |
| 3 回目 | Scene 4 continued and review for the Midterm test  |
| 4 回目 | Midterm Test and Scene 5                           |
| 5 回目 | Scene 5 continued and Scene 6                      |
| 6 回目 | Scene 6 continued and Scene 7                      |
| 7 回目 | Scene 8 and practice for Oral Presentations        |
| 8 回目 | Oral Presentations                                 |

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆参考書 A good Japanese-English dictionary may be useful.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, a final exam and an oral exam.

◆E-Mail：

### ◆刑法各論の基礎を学ぶ

〔刑法Ⅱ〕

水曜日

開講単位：2 単位

担当者：坂井 愛

◆学習目標 刑法総論で学んだことを前提に、刑法各論の構造、どのような行為が犯罪となるのか等を学習することにより、社会に存在する様々な犯罪について、条文を解釈できるようになる。

◆授業方法 基本的には教科書に基づき講義を行う。どのような行為をするとどのような犯罪に該当するのかを意識して授業をすすめる。特にニュース等で問題となった最近の事件等については、新聞記事、裁判例、判例等を資料として配付して、事案を検討しつつ授業を進める。

◆準備学習 特に必要はない。

#### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 回目 | ・刑法各論の基本：①刑法総論との関係、②刑法各論の体系、等<br>・生命身体に対する罪Ⅰ：①殺人罪、②自殺関与罪・同意殺人罪、③傷害の罪                 |
| 2 回目 | ・生命身体に対する罪Ⅱ：①過失傷害罪、過失致死罪、②交通事故と業務上過失致死傷罪、自動車運転過失致死傷罪、保護責任者遺棄罪                        |
| 3 回目 | ・自由に対する罪：①逮捕及び監禁の罪、②脅迫の罪、③強制わいせつ罪・強姦罪  |
| 4 回目 | ・名誉に対する罪：①事実の証明、②名誉毀損罪と侮辱罪<br>・信用及び業務に対する罪：①信用毀損罪、②業務妨害罪の類型、等                        |
| 5 回目 | ・財産に対する罪Ⅰ：①窃盗罪の基本構造、②強盗罪・事後強盗罪・昏睡強盗罪、等   |
| 6 回目 | ・財産に対する罪Ⅱ：①詐欺の罪（詐欺罪の構造、詐欺罪の形態）、②恐喝の罪、③詐欺罪と恐喝罪に共通の諸問題、④恐喝罪、強盗罪、詐欺罪の区別                 |
| 7 回目 | ・財産に対する罪Ⅲ：①横領の罪（窃盗罪・強盗罪・詐欺罪・恐喝罪との区別、業務上横領罪、遺失物等横領罪）、②背任の罪（背任罪の構造、横領との区別、等）、③毀棄及び隠匿の罪 |
| 8 回目 | ・社会的法益・国家的法益に対する罪：①放火及び失火の罪、②公務の執行を妨害する罪<br>・試験                                      |

◆教科書 丸沼『法学刑法2各論』 設楽裕文編 信山社 1,523 円（税込）（送料 340 円）

◆参考書 必要に応じて適宜資料として配布する。

◆成績評価基準 最終回に実施する試験結果に基づき判断する。

◆E-Mail：





## □サリンジャーを探して

〔英米文学演習 J〕

水曜日

開講単位：1 単位 担当者：石川 勝

◆**学習目標** 日本で最もよく読まれているアメリカの作家のひとりであるサリンジャーの短編小説を読み、ユダヤ人独特の文化的背景から謎に満ちた内容を解き明かしていく。

◆**授業方法** 基本的にテキストを訳す形をとる。授業中は指名して訳してもらうので、必ず事前に全訳しておくこと。そのうえで作品の解説を行う。

◆**準備学習** 事前に指示された箇所を全訳しておくこと。授業中はアトランダムに指名し訳を言ってもらう。予習していない場合は単位を認めない。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 1 回目 | ガイダンス<br>Unit5 を読む                 |
| 2 回目 | For Esme with Love and Squalor を読む |
| 3 回目 | 続き                                 |
| 4 回目 | 続き                                 |
| 5 回目 | 続き                                 |
| 6 回目 | 続き                                 |
| 7 回目 | 続き                                 |
| 8 回目 | 作品の解釈                              |

◆**教科書** 丸沼『*The Laughing Man and Other Short Stories*』 南雲堂 1,785 円（税込）（送料 260 円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 皆出席と予習が基本条件である。そのうえで作品の解釈を書いてもらい評価をつける。

◆**E-Mail**：

## □会計学の基礎知識を学ぶ

〔会計学〕

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：林<sup>リン</sup> トクジ<sup>トクジ</sup> 徳<sup>トク</sup> 順<sup>ジュン</sup>

◆**学習目標** 日常生活において会計学は重要である。例えば、投資家がある企業に投資するか否かを判断するとき、従業員が自分の勤めている会社の経営が順調であるか否かを判断するとき、経営者が自分の会社における今年度のもうけや現在持っている純資産を把握するときなどには、会計学の知識が必須である。本講義の目標は、初心者が会計に係る個別学問へ進むための会計学の基礎知識を身につけることである。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で教科書に沿って講義し、必要に応じて受講者に課題を指示し、簡単なレポートを提出して頂くこともある。また、講義内容と関連のある新聞記事を取上げ、受講者の会計学に対する理解を深め、会計学的重要性を実感できる講義にしたい。

◆**準備学習** 会計学の準備学習として、簿記及び財務会計に関する知識を予習することを勧める。自分に適した簿記及び財務会計の入門書を読んで理解することは、本講義の内容理解に有益であり、学習効果を更に向上させることができる。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 本講義の授業方法、講義計画及び成績評価方法を説明する。現代社会と会計の役割について、会計の歴史、会計の分類、会計の役割について学習する。      |
| 2 回目 | 簿記・会計の基礎概念について学習する。複式簿記の理論構造を理解し、その基本的手続きについて学習する。                        |
| 3 回目 | 株式会社の仕組み及び企業会計制度について学習する。株式会社の基本的な特質、分類及びその機関を理解し、企業会計のトライアングル体制について学習する。 |
| 4 回目 | 損益計算書及び貸借対照表の仕組みについて学習する。損益計算書及び貸借対照表の意義及びその構造について学習する。                   |
| 5 回目 | 財務諸表の分析方法を学習する。財務諸表分析の意義、収益性分析の考え方及びその指標、安全性分析の考え方及びその指標について学習する。         |
| 6 回目 | 会計の国際化及び会計の監査について学習する。会計の国際化の背景及びその動向について理解する。また、会計の監査の意義について学習する。        |
| 7 回目 | 管理会計の意義及び体系、税務会計の意義及び課税所得の基本的な考え方について学習する。                                |
| 8 回目 | 税務会計における企業利益と課税所得の関係等について学習し、期末試験を実施する。                                   |

◆**教科書** 丸沼『はじめての会計学 第3版』 日本大学会計学研究室編 森山書店 2,520 円（税込）（送料 340 円）

◆**参考書** 丸沼『基礎 財務会計 第15版』 五十嵐邦正著 森山書店 3,570 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 平常 40%（レポートの提出及びその内容）期末試験 60%。毎回出席することを前提として評価する。

◆**E-Mail**：

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

|     |     |             |      |      |      |      |      |      |                 |
|-----|-----|-------------|------|------|------|------|------|------|-----------------|
| 夜 間 | 時間  | 18：30～21：25 |      |      |      |      |      |      |                 |
|     | 授業日 | 1 回目        | 2 回目 | 3 回目 | 4 回目 | 5 回目 | 6 回目 | 7 回目 | 8 回目<br>＜試験を含む＞ |
| 木曜日 |     | 5/23        | 5/30 | 6/6  | 6/13 | 6/20 | 6/27 | 7/4  | 7/11            |

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

| 講座<br>コード | 開 講 講 座 名      | 担当講師名      | 充 当 科 目    |                | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |           |                                       |
|-----------|----------------|------------|------------|----------------|----------|----------|-----------|---------------------------------------|
|           |                |            | 科 目<br>コード | 科 目 名          |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュム | 受 講 条 件                               |
| D1        | 政 治 学 C        | 関根 二三夫     | 0023       | 政 治 学          |          | 1年       |           |                                       |
| D2        | 英 語 K          | 北原 安治      | 0041       | 英 語 I          |          | 1年       |           | ・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 |
|           |                |            | 0042       | 英 語 II         |          |          |           |                                       |
|           |                |            | 0043       | 英 語 III        |          | 2年       |           |                                       |
|           |                |            | 0044       | 英 語 IV         |          |          |           |                                       |
| D3        | 考 古 学 入 門      | 山本 孝文      | 0098       | 考 古 学 入 門      |          | 条件<br>参照 |           | ・ 史学専攻のみ1学年以上申込可。<br>・ その他は2学年以上申込可。  |
| D4        | 国 文 学 概 論      | 布村 浩一      | 0321       | 国 文 学 概 論      |          | 条件<br>参照 |           | ・ 国文学専攻のみ1学年以上申込可。<br>・ その他は2学年以上申込可。 |
| D5        | スピーチコミュニケーションI | アレックス ブラウン | 0453       | スピーチコミュニケーションI |          | 2年       |           | ・ 英文学専攻のみ申込可。                         |
| D6        | 東 洋 思 想 史 I    | 本間 直人      | 0516       | 東 洋 思 想 史 I    |          | 条件<br>参照 |           | ・ 哲学専攻のみ1学年以上申込可。<br>・ その他は2学年以上申込可。  |

## 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

## ■政治を基礎から学びましょう

〔政治学 C〕

木曜日

開講単位：2 単位

担当者：関根 二三夫

◆**学習目標** 基礎養育としての講義を行います。議会及び内閣もしくは大統領の動きを見ますと、政治が難しいことのように感じられます。しかし、そこで制定され執行される法律や予算は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会を構成する人々はそれぞれ考え方が異なりますので、同じ原因が示されても異なった結果が生じるのが通例です。政治学の学問としての課題もそこにあり、現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学習の準備として、メディアの記事などに関心を持ち、問題点を把握することが必要になります。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 回目 | 政治学の変遷、政治の概念<br>※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治とは何かを学びます。  |
| 2 回目 | 政治の本質、政治権力（概念・構造）<br>※あるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、政治権力の仕組みを学びます。                         |
| 3 回目 | 政治権力（支配の手段）、国家（成立の要素・分類）<br>※支配の典型的な手段、国家を成立させる要素、一定の基準に基づく国家の分類を行います。                   |
| 4 回目 | 議会政治（沿革・原理）、議会の構成、立法部と行政部<br>※議会政治の歴史や議会政治の基本的な考え方、一院制や二院制、議院内閣制や大統領制について学びます。           |
| 5 回目 | 選挙制度の原則、選挙区の画定、選挙区制、代表選出の形態<br>※選挙の仕組みを支える基本的な原則、選挙区を作成し決定するための基本的な考え方、代表を選出する方法などを学びます。 |
| 6 回目 | 政党（概念・特徴・発展過程・機能・問題点）<br>※政党とは如何なるものか、特徴や沿革、形態や動き、問題点を学びます。                              |
| 7 回目 | 圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）<br>※圧力団体とは如何なるものか、特徴や活動、問題点を学びます。                                     |
| 8 回目 | コミュニケーションとリーダーシップ<br>※コミュニケーションの機能、類型、方向性、リーダーの役割について学びます。                               |

◆**教科書** 教材『政治学 0023』 通信教育教材（教材コード 000279） 1,800 円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『教養政治学』 岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他、南窓社 3,045 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%  
※試験同様、質問や小テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意してください。

◆**E-Mail**：



## □テキストを自覚的に〈読む〉には

〔国文学概論〕

木曜日

開講単位：2 単位

担当者：布村 浩一

- ◆**学習目標** 本講義では、テキストを自覚的に〈読む〉ための理論・方法について教授し、『源氏物語』『桐壺』を用いてその実践例を示したいと考えています。また、文学研究の手続き（先行研究の探し方、レジュメの作り方、レポート・論文の書き方）についても教授します。
- ◆**授業方法** 作品の講読形式でおこないます。桐壺巻を中心に読み進めながら、〈読む〉ための理論・方法についてふれ、文学を読むために必要な基礎知識についても、適宜ふれます。1 回目～7 回目の授業の最後には、感想・意見等を書いた、簡易的なレポートを提出してもらいます。また、最終日（8 回目）には小論文を提出してもらい、試験の代わりとします。
- ◆**準備学習** 講義形式の授業ですが、各自、辞典や参考書を用いて予習をおこない、自分なりに問題点・疑問点を見つけておきましょう。
- ◆**授業計画〔各 170 分〕**

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 『源氏物語』前史（文学史）、『源氏物語』概説、参考文献について<br>※文学研究の手続き（レジュメの作り方、先行研究の探し方）について教授します。 |
| 2 回目 | テキスト講読（古典セクション章段区分 [1] ～ [2]）<br>※〈読む〉ための理論・方法について教授します。                  |
| 3 回目 | テキスト講読（古典セクション章段区分 [3] ～ [6]）   |
| 4 回目 | テキスト講読（古典セクション章段区分 [7] ～ [8]）<br>※和歌の基礎知識や、和歌と『源氏』との関わりについて補足説明します。       |
| 5 回目 | テキスト講読（古典セクション章段区分 [9] ～ [10]）<br>※漢詩文の基礎知識や、漢詩文と『源氏』との関わりについて補足説明します。    |
| 6 回目 | テキスト講読（古典セクション章段区分 [11] ～ [14]）<br>※文学研究の手続き（レポート・論文の書き方）について教授します。       |
| 7 回目 | テキスト講読（古典セクション章段区分 [15] ～ [17]）   |
| 8 回目 | 総括、小論文<br>※小論文の詳細については、1 回目の講義でコメントします。                                   |

- ◆**教科書** 丸沼『古典セクション 源氏物語 1』阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男 小学館 1,680 円（税込）（送料 340 円）
- ◆**参考書** 多岐に亘るので、授業時に伝える予定です。
- ◆**成績評価基準** 「授業後のレポート」30%、「試験（小論文）」70%の割合で、総合的に評価します。
- ◆**E-Mail：**

## □ Speech Communication 1

〔スピーチコミュニケーションⅠ〕

木曜日

開講単位：1 単位

担当者：アレックス ブラウン

- ◆**学習目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency.
- ◆**授業方法** This course syllabus will be topic-based where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used in the various topics. Students will incorporate the language covered by performing group tasks and role plays. The course is open to all students, however the language and activities are set for pre-intermediate to intermediate language abilities.
- ◆**準備学習** There are no prerequisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.
- ◆**授業計画〔各 170 分〕**

|      |  |
|------|--|
| 1 回目 | Introductions/Icebreakers.<br>Topic 1 and 2 vocab, structures, activities, tasks and role plays. |
| 2 回目 | Topic 3 and 4 vocab, structures and grammar points and task orientated activities.               |
| 3 回目 | Topic Review. Introduce Topic 5 and work through the assigned activities.                        |
| 4 回目 | Topic 6 Prepare content for a group presentation.  |
| 5 回目 | Group presentations. Introduce Topic 7 and work through the assigned activities.                 |
| 6 回目 | Topic 7 continued. Introduce Topic 8.  |
| 7 回目 | Complete Topic 8.<br>Preparation for tests   |
| 8 回目 | Written and oral tests (group format) .  |

- ◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts.  
Students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes
- ◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.
- ◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test.
- ◆**E-Mail：**

# ◆韓非子の思想を考える

〔東洋思想史Ⅰ〕

木曜日

開講単位：2 単位

担当者：本間 直人

◆**学習目標** 韓非子の人物像を明らかにすることを学習目標とします。韓非子、その人の言葉は国を超え、時代を超え、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。

又、哲学思想の有機的な連関を重視しつつ、中国思想を概観し、韓非子の思想をより深く理解します。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。

◆**授業方法** 講義を中心に進めますが、教科書を読んでいただくこともあります。又、レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが、漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し、無理のないように進めていきます。したがって、東洋思想に興味を持ちながら、漢文に対する抵抗感から、今まで本格的な学習を思いとどまっていた方の受講も歓迎します。

◆**準備学習** 韓非子についての参考書は、数多く出版されています。図書館、又は書店で実際に手に取り、気に入った本を読んでみて下さい。すんなりと頭に入る事柄もあれば、すぐには理解できない事柄もあることでしょう。しかしながら、そのことについて、じっくりと時間をかけ、自分の頭で考えることは、これからの学習に特に重要なことなのです。

## ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |  |
|------|--|
| 1 回目 | ガイダンス（研究の意義、必要性について）、レポートの書き方について①（司馬遷「任少卿に報ずるの書」を題材として）         |
| 2 回目 | レポートの書き方について②（前回のレポートの講評など）、中国思想概説                               |
| 3 回目 | ＜勢＞の理論—韓非子の政治理論の政治的本質—、韓非子の人物・生涯、法治の必要性について                      |
| 4 回目 | 政治理論—その哲学的分析—、韓非子の政治的理論—その概要—、小レポート                              |
| 5 回目 | 韓非子の＜勢＞について、＜勢＞の限界—韓非子の哲学的思惟の限界—、＜勢＞の哲学的本質、韓非子の人間観—その政治理論の哲学的背景— |
| 6 回目 | 人主の孤独、韓非子—その政治理論の哲学的本質から見た人物像—、小レポート                             |
| 7 回目 | 韓非子における道家言—特にその＜無為＞を中心に—、老子の＜無為＞と韓非子の＜無為＞                        |
| 8 回目 | 漢代の『韓非子』評価について、まとめ、小テスト  |

◆**教科書** **通材**『東洋思想史Ⅰ 0516』 通信教育教材（教材コード 000392） 1,900 円（送料込）  
**当日資料配布** プリント配布（当日）。漢和辞典を用意してください。

◆**参考書** 授業中に紹介します。

◆**成績評価基準** 平常点（30%）、レポート（30%）、小テスト（40%）で評価します。

◆**E-Mail**：

講座の  
選定

第 1 期  
東京

第 2 期  
東京

第 3 期  
東京

第 4 期  
東京

第 1 期  
札幌

第 1 期  
山形

第 1 期  
神戸

第 2 期  
名古屋

第 2 期  
福岡

月曜日  
夜間

火曜日  
夜間

水曜日  
夜間

木曜日  
夜間

金曜日  
夜間

申込方法  
講座の

許可  
申込講座の

納入  
受講料の

受講準備

受講及び  
試験

受講期間中の  
学生生活

各種用紙

付録

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

|     |     |             |      |     |      |      |      |     |                |
|-----|-----|-------------|------|-----|------|------|------|-----|----------------|
| 夜 間 | 時間  | 18：30～21：25 |      |     |      |      |      |     |                |
|     | 授業日 | 1回目         | 2回目  | 3回目 | 4回目  | 5回目  | 6回目  | 7回目 | 8回目<br>＜試験を含む＞ |
| 金曜日 |     | 5/24        | 5/31 | 6/7 | 6/14 | 6/21 | 6/28 | 7/5 | 7/12           |

※以下の金曜日開講の講座から 1 講座を選択してください。

| 講 座<br>コード | 開 講 講 座 名   | 担当講師名  | 充 当 科 目    |             | 受講<br>方式 | 制 限・注 意  |                |  |
|------------|-------------|--------|------------|-------------|----------|----------|----------------|--|
|            |             |        | 科 目<br>コード | 科 目 名       |          | 配当<br>学年 | カリ<br>キュ<br>ラム | 受 講 条 件                                  |
| E1         | 英 語 L       | 講師未定   | 0041       | 英 語 I       |          | 1 年      |                | ・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。     |
|            |             |        | 0042       | 英 語 Ⅱ       |          |          |                |  |
|            |             |        | 0043       | 英 語 Ⅲ       |          | 2 年      |                |  |
|            |             |        | 0044       | 英 語 Ⅳ       |          |          |                |  |
| E2         | 英 語 学 概 説 B | 田中 竹史  | 0085       | 英 語 学 概 説   |          | 2 年      |                |  |
| E3         | 国 語 学 講 義   | 加藤 陽子  | 0314       | 国 語 学 講 義   |          | 2 年      |                |  |
| E4         | 日 本 思 想 史 I | 島田 健太郎 | 0521       | 日 本 思 想 史 I |          | 2 年      |                |  |
| E5         | 経 済 史 総 論 B | 古賀 義弘  | 0720       | 経 済 史 総 論   |          | 条件<br>参照 |                | ・ 経済学部のみ 1 学年以上申込可。<br>・ その他は 2 学年以上申込可。 |
| E6         | 商 品 学       | 鄭 舜玉   | 0821       | 商 品 学       |          | 2 年      |                |  |
| E7         | 教 育 制 度 論   | 安藤 忠   | 0912       | 教 育 制 度 論   | ※        | 2 年      |                | ・ スクーリング 1 回の合格で単位完成する科目です。              |
| E8         | 博 物 館 概 論   | 中野 照男  | 2010       | 博 物 館 概 論   | ※        | 2 年      | D              | ・ スクーリング 1 回の合格で単位完成する科目です。              |

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。



## 講座内容（シラバス）

◆英語 L

〔英語 L〕

金曜日

開講単位：1 単位

担当者：講師未定

◆現在、当該講座は担当講師未定のため下記のとおり追ってお知らせいたします。  
夜間スクーリング（春期）で当該講座を申込み場合は、シラバス告知後に申込んでください。

シラバス告知・申込方法

『部報 4月号』及び「在学生専用サポート（Web 報）」にてお知らせします。

## ◆探検！ことばの世界

〔英語学概説 B〕

金曜日

開講単位：2 単位

担当者：田中 竹史

◆**学習目標** ヒトの自然言語は音と意味の結び付きにより成り立っていますが、音と意味は直接的に結び付いているのではなく、それらの間には文を組み立てる仕組み・文の組立に関する法則（i.e., 狭い意味での文法）が介在しています。この種の仕組みを持つのは多くの生物種の中でヒトだけであり、この特殊能力のため、ヒトはことばを使う事ができると考えられています。このような能力を持たないヒト以外の動物は（たとえチンパンジーの様に賢い動物であっても）、叫ぶ事はできてもことばを使い話す事はできません。

本講座では、ヒトのことばに関わる基本的な性質を概観し、英語を主たる研究対象とする英語学の主要な分野（統語論、意味論、形態論、音韻論など）の前提となるような基礎知識を身に付ける事を目標とします。

◆**授業方法** 配布プリントを基に講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。

◆**準備学習** 特別な準備学習は必要ありませんが、事前に参考書として挙げられている大津（2004, 2008）に目を通しておく、講義内容のより良い理解につながります。

◆**授業計画**〔各 170 分〕

|      |                   |
|------|-------------------|
| 1 回目 | 初回ガイダンス<br>無意識の知識 |
| 2 回目 | 文法の組み立て           |
| 3 回目 | 言語の獲得（1）          |
| 4 回目 | 言語の獲得（2）          |
| 5 回目 | 言語の障害（1）          |
| 6 回目 | 言語の障害（2）          |
| 7 回目 | 動物の「言語」（1）        |
| 8 回目 | 動物の「言語」（2）        |

◆**教科書** 〔当日資料配布〕プリント使用。

◆**参考書** 丸岡『探検！ことばの世界』大津由紀雄（2004）ひつじ書房 1,680 円（税込）（送料 340 円）  
丸岡『ことばに魅せられて 対話編』大津由紀雄（2008）ひつじ書房 1,680 円（税込）（送料 340 円）  
英語学の入門書（e.g., 通信教育部英語学概説教材『英語学入門』, 『ファンダメンタル英語学』, …）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、授業に対する取り組みとレポートなどの課題により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

## □様々な観点から現代の文法を考える

〔国語学講義〕

金曜日

開講単位：2 単位

担当者：加藤 陽子

◆**学習目標** 日本語を母語とする人は、小中学校で「国語」の時間に文法を学んだ経験があるでしょう。しかし、その文法は、日本語を母語としない人に教えるものとして理解しやすいでしょうか。また、それは、私たちが日常生活で触れる様々な種類の日本語を説明するのに十分なものでしょうか。この授業では、現代の文法を多様な視点から観察し、ことばを多角的に考えることを目的とします。

◆**授業方法** 講義が中心となりますが、討論や課題についての小発表なども行い、双方向のやりとりを重視します（ただし、受講生の人数により、講義と、討論や発表などの演習的要素との割合を適宜変更します）。教師の発問に対して自発的に回答や発言をすることを求めます。

◆**準備学習** 下記の参考書を入手し、一読しておくことをすすめます。適宜出される課題が次の週の予習となる場合があるので、課題をしっかりと作成して授業に臨んでください。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 1 回目 | 講義ガイダンス 自分の使用している文法を意識化する      |
| 2 回目 | 国文法を振り返る                       |
| 3 回目 | 日本語教育からみた文法 1（語を中心に）           |
| 4 回目 | 日本語教育からみた文法 2（文を中心に）           |
| 5 回目 | 日本語教育からみた文法 3（文章を中心に）          |
| 6 回目 | 様々な日本語における文法 1（敬語、方言など）        |
| 7 回目 | 様々な日本語における文法 2（話し言葉・書き言葉の違いなど） |
| 8 回目 | 講義のまとめ 試験                      |

◆**教科書** 指定しません。〔当日資料配布〕授業用プリントを当日配付します。

◆**参考書** 丸沼『日本語学入門』近藤安月子著 研究社 2008 年 1,890 円（税込）（送料 340 円）

◆**成績評価基準** 課題の提出（30%）、発表等を含む授業への積極的参加（30%）、小テストと試験（40%）  
毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

## □末法と末世の思想

〔日本思想史Ⅰ〕

金曜日

開講単位：2 単位

担当者：島田 健太郎

◆**学習目標** 本講義では、平安時代後期（11 世紀～12 世紀）の思想状況を、特に仏教思想を中心に概説します。この時代は、それまでの価値基準が崩壊し、新しい価値基準ができつつある転換期です。このような中で、当時の人々は自分の生きている時代をどのように認識し、どのように生きようとしたのか。これらの検討を通して、この時代の思想状況への理解を深め、中世という時代に対する一視点を持つてもらうことがこの授業の目的です。

◆**授業方法** プリントとして配布する原典や史料を使って、講義形式で行います。特殊な言葉や専門用語もたくさんありますが、それらには適宜説明を加える予定です。また、プリントには現代語訳とルビを付けるので、古文・漢文の読解に自信がなくても構いません。

◆**準備学習** 授業中にも説明を加えますが、この時代に何が起り、どのような人物が、どんな順番で登場したか、大まかな知識を持っていると、授業が聞きやすくなると思います。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 概説<br>時代状況の概説－末法と末世－基礎的な仏教用語の説明         |
| 2 回目 | 『往生伝』の世界<br>日本における浄土教－『往生伝』について－往生の諸相   |
| 3 回目 | 浄土教の新傾向（1）<br>永観の浄土教－『往生拾因』             |
| 4 回目 | 浄土教の新傾向（2）<br>珍海の浄土教－融通念仏               |
| 5 回目 | 『法華験記』の世界<br>日本における『法華経』の位置－法華持経者－聖について |
| 6 回目 | 天台本覚論<br>仏性について－本覚と始覚－本覚思想の展開           |
| 7 回目 | 閻魔と地藏（1）<br>地獄について－墮地獄の恐怖－閻魔について        |
| 8 回目 | 閻魔と地藏（2）<br>地藏菩薩について－『地藏十王経』            |

◆**教科書** 特に使用しません。〔当日資料配布〕当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業中に適宜指示します。

◆**成績評価基準** 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して評価します。

◆E-Mail：



## ◆学校教育制度の成立・発展と教育行政

## 〔教育制度論〕

金曜日

開講単位：2 単位

担当者：安藤 忠

◆**学習目標** 近代国家が国民教育制度として学校教育を制度化し教育行政を実施する中で、どのような国民教育を目指したのかを考察する。さらに、現行の教育行政の仕組みと、学校制度並びに教育課程についても考察をする。また、教育基本法の改正により、今後の学校教育、教育行政がどのように変化するのかを考えてみたい。

◆**授業方法** 資料を配布し、教科書、参考書としての「教育六法」を用いて法規を参照しながら授業を進める。質問をしていくので、積極的に授業に参加してもらいたい。

◆**準備学習** 明治以降の近代学校教育制度の成立事情とその後の発展の経緯について学習しておいて欲しい。参考書である「教育六法」を入手し、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に目を通しておいてほしい。

### ◆授業計画〔各 170 分〕

|      |   |
|------|---|
| 1 回目 | 授業の進め方についてのガイダンス<br>近代国家と公教育の成立、近代学校教育制度の成立と発展について                                |
| 2 回目 | 明治以降のわが国の教育体制について（1）<br>「学制」「教育令」「諸学校令」等による学校教育の制度的変遷と学校教育の目的<br>「教育勅語」の成立と果たした役割 |
| 3 回目 | 明治以降のわが国の教育体制について（2）<br>大正・昭和前期の学校教育の制度的変遷と学校教育の目的                                |
| 4 回目 | 戦後教育改革と教育基本法の成立<br>学校制度改革と教育行政の基本的構造  |
| 5 回目 | 日本国憲法のエデュケーション条項・エデュケーション関連条項について<br>教育基本法の改正について                                 |
| 6 回目 | 原稿学校教育の基本的構造（1）<br>義務教育制度、学校教育の目的・目標、教育課程   |
| 7 回目 | 現行学校教育の基本構造（2）<br>現行教育行政の基本構造   |
| 8 回目 | まとめ。<br>最終試験  |

◆**教科書** 教材『教育制度論 0912』 通信教育教材（教材コード000285） 1,300 円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『解説 教育六法』 三省堂 2,730 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 受講状況、小テスト、最終試験（筆記）を総合して評価する。

◆**E-Mail**：

## ◆博物館学芸員の素養を身につけよう

## 〔博物館概論〕

金曜日

開講單位：2 單位

担当者：中野 照男

- ◆**学習目標** 博物館に関する基礎的な知識を理解し、専門的な学芸員としての能力を養うことを目的とする。博物館学が目指すもの、その学問的な方法、博物館の歴史をきちんと踏まえた上で、博物館の定義、機能と目的、博物館の歴史と現状、学芸員の果たすべき役割、博物館関連法案等を学び、今日の博物館や美術館の具体的な活動状況を観察することによって、博物館学芸員の基礎的な技術と知識を身につけることができる。
- ◆**授業方法** 講義内容をまとめたレジュメを前週の講義終了時または当日の講義前に配布し、それを用いて講義形式で授業を進める。さらに内容の理解を深めるために有効なスライド等の画像を適宜上映する。授業が一方向的な情報の伝達にならないように、毎回質疑応答の時間を設け、議論をしつつ、聴講者の疑問に速やかに答える。
- ◆**準備学習** 前週に配布されたレジュメについては、予習時にチェックし、講義担当者に質問すべき事項をあらかじめ用意して、授業に臨むこと。また、平素から博物館や美術館を自発的に訪れ、美術作品や文化財に触れる機会を多くもち、作品の展示や文化財の保存修復に関心をもつように心がけること。
- ◆**授業計画**〔各 170 分〕

- | 授業計画（全17回分） |   |
|-------------|---|
| 1 回目        | 欧州における博物館の出現とその展開、欧州におけるコレクションの形成の歴史をたどり、それらが市民によって活用されていく様子、大英博物館やルーブル美術館等を例に説く。           |
| 2 回目        | 近代日本における博物館の誕生、日本の博物館・美術館の歴史をたどり、近代化を目指すに日本が、ナショナル・アイデンティティの確立のために、文化財や美術を利用した歴史をふりかえる。     |
| 3 回目        | 博物館の定義、博物館の種類と区分、博物館の目的を論ずる。博物館学が対象とする博物館や美術館の基礎的な概念を概括的に取り上げ、明確に定義する。                      |
| 4 回目        | 博物館の機能と活動を総括する。博物館がいかなる組織からなり、どのような機能を持って、いかなる活動しているのかを、国内外の博物館・美術館を例にあげ、具体的に述べる。           |
| 5 回目        | 学芸員の役割と仕事について、自らの体験に基づいて述べる。博物館活動を担う学芸員は、どのような専門性をもち、何を目指し、いかなる活動をするのか、具体例を提示して述べる。         |
| 6 回目        | 日本の博物館関係法令の歴史をたどり、文化財行政と博物館活動の関係を考える。文化財の保護、活用のために、わが国が、文化財関係と博物館関係の法令をいかに整備してきたか、その歴史をたどる。 |
| 7 回目        | 博物館学が対象とするもの、博物館学の手法、博物館学の歴史を述べる。学問としての博物館学は何を目指してきたのか、わが国の博物館学は独自性を保持できているのかを問い直す。         |
| 8 回目        | 今後の博物館の理想像を語る。博物館の理想的なあり方について、最近のいくつかの新しい博物館や美術館の活動を紹介しながら、模索する。最後に、授業内容に即した試験を実施する。        |

- ◆教科書 使用しない。  
     (当日資料配布) 各回の講義開始前か、或いは前週の講義終了時に、講義内容をまとめたレジュメを配布する。
- ◆参考書 講義時間中に、それぞれのテーマに即した参考文献を提示する。
- ◆成績評価基準 試験の成績を 70%, 授業への貢献度を 30%で評価する。授業への貢献度に関しては、積極的に質問し、授業の運営に自発的に参加したかどうかを重視する。
- ◆E-Mail :

- ◆**参考書** 講義時間中に、それぞれのテーマに即した参考文献を提示する。
- ◆**成績評価基準** 試験の成績を 70%, 授業への貢献度を 30%で評価する。授業への貢献度に関しては、積極的に質問し、授業の運営に自発的に参加したかどうかを重視する。

- ◆成績評価基準 試験の成績を 70%, 授業への貢献度を 30%で評価する。授業への貢献度に関しては、積極的に質問し、授業の運営に自発的に参加したかどうかを重視する。

- ◆ E-Mail :

## 1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。  
 なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学習要覧』を参照してください。

| 項 目                   | 手 続 内 容  |
|-----------------------|--|
| ・『手引』入手<br>・受講科目選択    | ・『手引』を読み、受講講座を決定する。  |
| ・受講講座<br>・科目の単位修得方式決定 | ・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。<br>各修得方法の詳しい内容は『学習要覧』の「単位修得方式」のページを参照。 |



|                   |        |  |
|-------------------|--------|--|
| スクーリング併用試験方式希望者のみ | 履修登録   | ・未登録科目を登録する。<br>スクーリング併用試験方式で受講する科目で、履修登録を行っていない科目は、表紙記載の締切日までに「履修届」又は「追加科目履修届」で登録する。<br>【「履修届」用紙の配布は前期生は『部報』3月号，後期生は『部報』9月号に同封（1枚）にて行います。「追加科目履修届」は『手引』各種用紙にとじこまれています。】 |
|                   | レポート提出 | ・レポートを提出する。<br>スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。   |



|              |  |
|--------------|--|
| 受講希望の講座を申し込む | ・受講を希望する講座・科目を「在学生専用サポート（Web 報）」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。<br>表紙記載の締切日に注意してください。 |
|--------------|--|



|                             |   |
|-----------------------------|---|
| スクーリング受講許可通知書の確認            | ・会計課から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受け取り次第、許可された講座を確認する。<br>内容に疑問があれば教務課へ問い合わせる。 |
| 許可講座の辞退<br>【許可講座の取消を行う場合のみ】 | ・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。             |
| 受講料の納入                      | ・「受講許可通知書」の内容に疑問がなければ、表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。  |
| 使用教材の入手                     | ・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。  |



|      |  |
|------|--|
| 授業開始 | ・各スクーリング会場やホームページの新着情報で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 |
|------|--|



|            |   |
|------------|---|
| スクーリング結果確認 | ・教務課から送付される通知又は「在学生専用サポート（Web 報）」で、受講した講座の成績を確認する。<br>・発送日程は表紙記載。 |
|------------|---|

## 2 講座を申し込む

### 申し込み上の注意事項

「受講届」(はがき)と「在学生専用サポート(Web 報)」の両方で申込みがあった場合は、「在学生専用サポート(Web 報)」の内容を有効とします。

#### ① 「在学生専用サポート(Web 報)」による申込み


##### ●申込みの前に

|   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 申込みには、ID とパスワードが必要です。<br>ID = 学生番号<br>初期パスワード=自分の西暦生年月日(半角数字 8 桁)                          |   |
| 2 | 申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。<br>登録していない場合は、「在学生専用サポート(Web 報)」にある「個人情報の設定」で登録してから手続きをしてください。 | <p>● 個人情報の設定</p> <p>パスワードなどの登録内容の変更をしたい方はこちら。<br/>※ログインが必要です。</p> |

〈メールアドレスについて〉

正科生は大学から配布しているメールアカウント(Gメール)で申込みできます。Gメールを利用するためには、承認が必要となりますので、「在学生専用サポート(Web 報)」に掲載されている「NU-AppsG(在学生専用メール)」から手続きをしてください。

##### ●申込方法

| 1  | 通信教育部公式ホームページ（URL：http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html）の「在学生専用サポート（Web 報）」をクリックしてください。 |    |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
|--|---|--|------------------|--------------------------------|-------------|---|--------|-------------|-------------|---|------------|--------------------------------|--------|-----------|--------|------------|--------------------------------|-------------|-----------|--------|------------|--------------------------------|-----------|-----------|--------|------------|--------------------------------|----|-----------|--------|------------|--------------------------------|-------------|-----------|--------|------------|--------------------------------|--------|------------|--------|-----------|--------------------------------|
| 2  | 「スクーリング申し込み」でスクーリングごとに申込みができる期間が表示されていますので、申込期間の確認をし[申込] ボタンをクリックしてください。                  | <div>スクーリング申し込み</div> <p>※昼間スクーリングは学生専用ホームページでの申込対象外です<br/>（受講手続説明会に参加してください。【詳細は前報3月号参照】）。</p> <table><thead><tr><th colspan="5">学生専用ホームページでの申込期間</th></tr></thead><tbody><tr><td>東京（春期）第1・2期</td><td>2012年3月3日</td><td>10:00～</td><td>2012年3月15日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr><tr><td>夜間（春期）</td><td>2012年4月6日</td><td>10:00～</td><td>2012年4月18日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr><tr><td>地方（春期）第1・2期</td><td>2012年4月6日</td><td>10:00～</td><td>2012年4月18日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr><tr><td>東京（春期）第3期</td><td>2012年4月6日</td><td>10:00～</td><td>2012年4月18日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr><tr><td>夏期</td><td>2012年6月6日</td><td>10:00～</td><td>2012年6月14日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr><tr><td>東京（秋期）第1・2期</td><td>2012年8月4日</td><td>10:00～</td><td>2012年8月15日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr><tr><td>夜間（秋期）</td><td>2012年8月21日</td><td>10:00～</td><td>2012年9月3日</td><td>24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a></td></tr></tbody></table> <div>申込</div> <p>※ログインが必要です。</p> <p>スクーリングの手続きは<br/>こちら</p> | 学生専用ホームページでの申込期間 |                                |             |   |        | 東京（春期）第1・2期 | 2012年3月3日   | 10:00～                                  | 2012年3月15日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> | 夜間（春期） | 2012年4月6日 | 10:00～ | 2012年4月18日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> | 地方（春期）第1・2期 | 2012年4月6日 | 10:00～ | 2012年4月18日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> | 東京（春期）第3期 | 2012年4月6日 | 10:00～ | 2012年4月18日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> | 夏期 | 2012年6月6日 | 10:00～ | 2012年6月14日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> | 東京（秋期）第1・2期 | 2012年8月4日 | 10:00～ | 2012年8月15日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> | 夜間（秋期） | 2012年8月21日 | 10:00～ | 2012年9月3日 | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |
| 学生専用ホームページでの申込期間   |   |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 東京（春期）第1・2期  | 2012年3月3日   | 10:00～   | 2012年3月15日       | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 夜間（春期）   | 2012年4月6日   | 10:00～   | 2012年4月18日       | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 地方（春期）第1・2期  | 2012年4月6日   | 10:00～   | 2012年4月18日       | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 東京（春期）第3期  | 2012年4月6日   | 10:00～   | 2012年4月18日       | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 夏期   | 2012年6月6日   | 10:00～   | 2012年6月14日       | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 東京（秋期）第1・2期  | 2012年8月4日   | 10:00～   | 2012年8月15日       | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 夜間（秋期）   | 2012年8月21日  | 10:00～   | 2012年9月3日        | 24:00 <a href="#">締退願(PDF)</a> |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 【各スクーリングの Web 報による申込期間】  |   |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| <table><thead><tr><th>スクーリング名</th><th>Web 報による申込期間</th></tr></thead><tbody><tr><td>東京（春期）第1～3期</td><td>2013年3月4日（月） 10：00～ 2013年3月13日（水） 24：00</td></tr><tr><td>夜間（春期）</td><td></td></tr><tr><td>地方（春期）第1・2期</td><td>2013年4月5日（金） 10：00～ 2013年4月17日（水） 24：00</td></tr><tr><td>東京（春期）第4期</td><td></td></tr></tbody></table> |   |  | スクーリング名          | Web 報による申込期間                   | 東京（春期）第1～3期 | 2013年3月4日（月） 10：00～ 2013年3月13日（水） 24：00 | 夜間（春期） |             | 地方（春期）第1・2期 | 2013年4月5日（金） 10：00～ 2013年4月17日（水） 24：00 | 東京（春期）第4期  |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| スクーリング名  | Web 報による申込期間  |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 東京（春期）第1～3期  | 2013年3月4日（月） 10：00～ 2013年3月13日（水） 24：00   |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 夜間（春期）   |   |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 地方（春期）第1・2期  | 2013年4月5日（金） 10：00～ 2013年4月17日（水） 24：00   |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 東京（春期）第4期  |   |  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |
| 3  | 申込みの流れの説明が表示されますので、手順・注意事項を確認してから、画面下の[次へすすむ] ボタンをクリックしてください。                             | <div>【画面下】</div> <p>下の画面コピーを必ず保存しておいてください。申込</p> <div>次へすすむ</div>  |                  |                                |             |   |        |             |             |   |            |                                |        |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |           |           |        |            |                                |    |           |        |            |                                |             |           |        |            |                                |        |            |        |           |                                |

【ログインしていない場合】

ログイン ID・パスワードを入力する画面が表示されますので、入力してください（すでにログイン済みの場合は表示されません）。

こちらは、ログインが必要なページです。  
ID、パスワードを入力してください。

ログインID:   
※学生番号を半角数字で入力

パスワード:   
※初期パスワードについて

[ログイン >](#)

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

4 申込みを受け付けているスクーリングが表示されますので、**申込** ボタンをクリックし、後は画面の指示に従って、手を完了してください。

【受付中のスクーリング

希望のスクーリング・開催地を選択してください。  
申し込み内容の確認、変更、削除する場合は、確認ボタンを押してください。

| 年度                 | コード | スクーリング種別     | 開催地 | 操作        |
|--------------------|-----|--------------|-----|-----------|
| 2013               | 04  | 夜間（春期）スクーリング | 東京  | <b>申込</b> |
| <a href="#">戻る</a> |     |              |     |           |

## ●受付完了

申込受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに受付メールが配信されますので、必ず確認してください。配信されない場合は、申込確認画面で申込受付が完了しているか確認してください。

## ●申込確認

申込期間内に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で確認することができます。

1 申込方法の1～3の手順で、受付中のスクーリングの画面まで進んでください。

2 申込みをしたスクーリングの **確認** ボタンをクリックして、内容を確認してください。

【受付中のスクーリング

希望のスクーリング・開催地を選択してください。  
申し込み内容の確認、変更、削除する場合は、確認ボタンを押してください。

| 年度                 | コード | スクーリング種別     | 開催地 | 操作        |
|--------------------|-----|--------------|-----|-----------|
| 2013               | 62  | 夜間（春期）スクーリング | 東京  | <b>確認</b> |
| <a href="#">戻る</a> |     |              |     |           |

## ●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で申込講座の変更・取りやめをすることができます。

申込内容を変更する場合には、いったん申込内容を削除する必要があります。

**変更する** ボタンをクリックして、内容を削除してから、再度申込みを行ってください。

| 年度                                   | スクーリング名      | 開催地   | コード |
|--------------------------------------|--------------|-------|-----|
| 2013                                 | 夜間（春期）スクーリング | 東京    | 13  |
| 講座                                   |              | 充当科目  | 併用  |
| *****                                |              | ***** | **  |
| 確認を終了して、在学生専用サポートのトップ画面に戻る           |              |       |     |
| 申し込み内容を変更するので、一旦全て削除して、申し込み画面のトップに戻る |              |       |     |
| <a href="#">確認終了</a>                 |              |       |     |
| <b>変更する</b>                          |              |       |     |

注意）申込期限の経過した場合、申込内容の変更・取りやめはできません。



## ② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

### (1) 記入上の注意

#### (ア) 開催地コード

開催地のコード番号です。

#### (イ) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

#### (ウ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

#### (エ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

#### (オ) 受講希望方式

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

| 履修方法               | 記入方法       |
|--------------------|------------|
| スクーリング併用試験方式を希望する  | 「併用」と記入    |
| スクーリング併用試験方式を希望しない | 無記入（空欄のまま） |

#### (カ) 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

## (2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では2桁の講座コードと4桁の充当科目コードによって、受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

☐ 内を必ず御記入ください
 

平成25年 月 日 作成

**平成25年度東京スクーリング(春期) 受講届 (39)**  
**第1～3期 東京用**

| 期 | 開催地<br>コード | 講座<br>コード | 講座名 | 充当科目コード | 受講希望<br>方式 |
|---|------------|-----------|-----|---------|------------|
| 0 | 0          | 0         |     |         |            |
| 0 | (ア)        | (イ)       | (ウ) | (エ)     | (オ)        |
| 0 | 0          | 0         |     |         |            |

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。  
 ※併用試験方式を希望しない場合は、空欄のまま提出してください。  
 ※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。  
 ※併用試験方式を希望しない場合は、空欄のまま提出してください。  
 ※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。  
 ※併用試験方式を希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

|         |     |  |  |  |  |
|---------|-----|--|--|--|--|
| 学 生 番 号 |     |  |  |  |  |
| フリガナ    |     |  |  |  |  |
| 氏 名     | (カ) |  |  |  |  |
| 自宅電話番号  |     |  |  |  |  |
| 緊急時電話番号 |     |  |  |  |  |

※提出締切日 平成25年3月13日(水)【締切日までの消印有効】  
 ※本票は東京スクーリング(春期)第1～3期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。  
 ※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。  
 ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

| 講座コード | 開講講座名 | 担当講師名 | 充 当 科 目 |         |
|-------|-------|-------|---------|---------|
|       |       |       | 科目コード   | 科目名     |
| 15    | 英 語 B | 〇〇 〇〇 | 0041    | 英 語 I   |
|       |       |       | 0042    | 英 語 II  |
|       |       |       | 0043    | 英 語 III |
|       |       |       | 0044    | 英 語 IV  |
| 16    | 英 語 C | 〇〇 〇〇 | 0041    | 英 語 I   |
|       |       |       | 0042    | 英 語 II  |
|       |       |       | 0043    | 英 語 III |
|       |       |       | 0044    | 英 語 IV  |

(2)

(1)

(4)

(3)

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
- (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「16」となる。
- (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
- (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「0043」となる。
- (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「16」、充当科目コードに「0043」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。

※「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

### 記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
  - ・乱雑な記入
  - ・記入誤り、記入漏れ
  - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

### (3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

#### ア 教務課窓口へ直接提出

教務課カウンターに提出用ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【提出は事務取扱時間内】

#### イ 郵送で提出する

「受講届」に切手を貼付し、郵送してください。【提出締切日までの消印有効】

### 郵送提出についての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講許可通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

### 3 受講講座の変更・追加

#### ① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋等を使用し、以下の記入例を参考に「変更届」を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

#### ② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「受講希望方式」の併用申込有無を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

#### ③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

#### ④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

##### ①東京スクーリング（春期）第1～3期の場合

平成○年○月○日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成 25 年度東京スクーリング（春期）受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ東京スクーリング（春期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。

記

（当初の受講講座）

| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 講座名      | 充当科目<br>コード | 受講希望方式 |
|------------|------------|----------|-------------|--------|
| 1 期        | 79         | A1 文学    | 0017        | 併用     |
| 2 期        | 79         | B2 英語 C  | 0041        | —      |
| 3 期        | 79         | C2 政治学 A | 0023        | —      |

（変更後の受講講座）

| 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 講座名     | 充当科目<br>コード | 受講希望方式 |
|------------|------------|---------|-------------|--------|
| 1 期        | 79         | A2 英語 A | 0041        | 併用     |
| 2 期        | 79         | BC 英語 D | 0041        | —      |
| 3 期        | 79         | C1 哲学   | 0011        | —      |

上記のとおり相違ありません。

文理学部史学専攻 学生番号：24123999  
氏 名：日大 太郎

##### ②夜間スクーリング（春期）の場合

平成○年○月○日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成 25 年度夜間スクーリング（春期）受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夜間スクーリング（春期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。

記

（当初の受講講座）

| 曜 日 | 講 座<br>コード | 講座名  | 充当科目<br>コード | 受講希望方式 |
|-----|------------|------|-------------|--------|
| 水   | C2         | 刑法Ⅱ  | 0152        | 併用     |
| 金   | E1         | 英語 L | 0041        | —      |

（変更後の受講講座）

| 曜 日 | 講 座<br>コード | 講座名   | 充当科目<br>コード | 受講希望方式 |
|-----|------------|-------|-------------|--------|
| 水   | C1         | 英語 J  | 0043        | 併用     |
| 木   | D1         | 政治学 C | 0023        | —      |

上記のとおり相違ありません。

法学部法律学科 学生番号：11123999  
氏 名：日大 太郎

# VI 申込講座の許可と不許可

## 1 受講許可通知書を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」により通知します。

なお、「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」の発送は、下記の日程を予定しています（発送完了をもって「在学生専用サポート（Web 報）」にも掲載します）。**発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。**

### 〈受講許可通知書発送予定日〉

| スクーリング名 |           | 在学生         | 平成 25 年度新入生（4 月生） |
|---------|-----------|-------------|-------------------|
| 東京（春期）  | 第 1 ～ 3 期 | 4 月 10 日（水） | 4 月 17 日（水）       |
|         | 第 4 期     | 5 月 22 日（水） | 5 月 29 日（水）       |
| 夜間（春期）  |           | 5 月 1 日（水）  | 5 月 9 日（木）        |
| 地方（春期）  | 第 1 ～ 2 期 | 5 月 2 日（木）  | 5 月 13 日（月）       |

「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受領したら、以下の要領で許可内容を必ず確認してください。

### ① 充当科目コードの確認

**必ず充当科目コード・単位を確認してください。**

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

### ② 講座コード・講座名・時間割の確認

**必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。**

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

### ③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

| 「併用手続」欄表示 | 許可・不許可 | 備 考            |
|-----------|--------|----------------|
| ○         | 許 可    |                |
| —         | 不許可    | スクーリングの受講は可能です |

※ 受講許可後にスクーリング併用試験の申込みをすることはできません。

## 2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

- ① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける
- ② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける  
※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。
- ③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする  
※希望した講座を受講できないことになります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

## 3 許可講座を辞退する

この手続は、「スクーリング受講許可通知書」を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

**ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。**

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

### ① 手続書類

#### 【すべての講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されているすべての講座を辞退する場合、以下の（1）及び（2）を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

#### 【一部の講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されている講座の一部を辞退する場合、以下の（1）、（2）及び（3）を同封の上、教務課（試験係）まで提出してください。

この場合、受講希望の許可講座のみ記載された「スクーリング受講許可通知書」等を大学から再送付します。

- （1）「受講申込辞退願」【各種用紙】
- （2）受講許可通知時送付書類（2 連用紙、次の（A）及び（B）の書類）
  - （A）スクーリング受講許可通知書兼領収書
  - （B）スクーリング受講料等振込依頼書
- （3）350 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形 3 号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

| スクーリング名 |           | 受講申込辞退の手続期限 |
|---------|-----------|-------------|
| 東京（春期）  | 第 1 ～ 3 期 | 4 月 17 日（水） |
|         | 第 4 期     | 5 月 29 日（水） |
| 地方（春期）  | 第 1 ・ 2 期 | 5 月 13 日（月） |
| 夜間（春期）  |           | 5 月 9 日（木）  |

《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

※ 辞退手続は 1 回しかできません。

*MEMO*

[illegible]

# VII 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

## 1 受講料

| スクーリング名 |       | 受講料               |
|---------|-------|-------------------|
| 東京（春期）  | 第1～3期 | 1講座 10,000円×受講講座数 |
|         | 第4期   |                   |
| 地方（春期）  | 第1・2期 | 1講座 13,000円×受講講座数 |
| 夜間（春期）  |       | 1講座 10,000円×受講講座数 |

## 2 納入期限

| スクーリング名 | 納入期限           |
|---------|----------------|
| 東京（春期）  | 第1～3期 4月24日（水） |
|         | 第4期 6月5日（水）    |
| 地方（春期）  | 第1・2期 5月20日（月） |
| 夜間（春期）  | 5月16日（木）       |

銀行窓口 ※当日取扱時間まで

## 3 納入方法

必ず大学から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を使用し銀行窓口から振り込んでください。「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」と「(B) スクーリング受講料等振込依頼書」は、切り離さずに銀行窓口へ持参してください。

### 注 意 事 項

#### ① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ＡＴＭ）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。銀行係員が勧めでも使用しないでください。
- (3) 「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」に記載された事項を訂正したものは受け付けません。
- (4) 三井住友銀行本・支店窓口からの振込手数料は、無料となります。

#### ② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急救務課に連絡してください。
- (2) 「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」は、受講時、試験時、通学定期券購入を行う際、学生証とともに必要になります。受講期間中は常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。





## 1 使用教材の購入

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学習効果が期待できません。受講許可通知書を受け取った後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を購入してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

## 注 意 事 項

「指定配本」、「履修届」及び「追加科目履修届」による配本を受け、所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を購入してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

## ① 使用教材が『通信教育教材』の場合

**通材**印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約 1 週間を要しますので、「受講許可通知書」を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）に問い合わせください。

## ② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は休み）

（購入方法）直接店頭（151 ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又は FAX をしてください。

（2）郵便為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して上記あてに郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。



## 2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

### ① 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、文部科学省発行で通信教育の主旨等を記載した「勸奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

### ② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。「在学生専用サポート（Web 報）」の「各種手続用紙（様式）」からのダウンロード又は『部報』（4月号又は10月号）巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（定型・80円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

## 3 通学定期券の購入

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

### ① 学生証裏面学籍シールへの記入

- （1）「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- （2）「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

### ② 購入手続き

- （1）学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- （2）通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

### ③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- （1）通学定期乗車券発行控（全員必要）
- （2）滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- （3）通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合に必要）

#### ④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

【通信教育部最寄り駅】

| 鉄道会社    | 最寄り駅      |
|---------|-----------|
| J R 東日本 | 水道橋駅      |
| 都営地下鉄   | 水道橋駅、神保町駅 |
| 東京メトロ   | 神保町駅、後楽園駅 |

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

#### ⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ① 現住所及び通学区間を偽ること。 | ② 他人に譲渡・貸与すること。  |
| ③ 記名人以外が使用すること。   | ④ その他、不正に使用すること。 |

#### ⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

### 4 学割証の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は、科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため、片道100kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ、運賃が2割引となります。

#### ① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は、80円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

#### ② 発行対象条件（全項目該当が条件）

- (1) 正科生であること。
- (2) 科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。
- (3) JR各社の鉄道又はバスを使用すること。  
JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道100km以上であること。

#### ③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引対象外）

#### ④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の 10 日前から最終日の 5 日後までの間に限り選択できます。

#### ⑤ 発行枚数

原則として 1 枚です。（1 枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

また、往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。期間外になる場合には片道乗車券を 2 枚購入することになり、学割証も 2 枚必要です。

【往復切符有効期間】

| 片道の距離（km） | 200kmまで | 400kmまで | 600kmまで | 800kmまで | 1000kmまで |
|-----------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 有効期間      | 4 日間    | 6 日間    | 8 日間    | 10 日間   | 12 日間    |

#### ⑥ 発行所要期間

科目修得試験やスクーリングごとに定められた発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから 2 日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の 2 日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※ 急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も 350 円分の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料＞割引額」とならないように注意してください。

#### ⑦ 発行開始日

科目修得試験やスクーリングの各手引に発行開始日が明記されていますので、確認してください。

なお、時期的には、科目修得試験やスクーリングの受講許可通知の到着後となります。

| スクーリング名 |                 | 発行開始日        |
|---------|-----------------|--------------|
| 東京（春期）  | 第 1 期           | 4 月 17 日（水）  |
|         | 第 2 期           |              |
|         | 第 3 期           |              |
|         | 第 4 期           | 5 月 29 日（水）  |
| 地方（春期）  | 第 1 期（札幌・山形・神戸） | 5 月 15 日（水）  |
|         | 第 2 期（名古屋・福岡）   |              |
| 夜間（春期）  |                 | 5 月 10 日（金）※ |
|         |                 | 6 月 7 日（金）※  |

※学割発行後の有効期間は 1 か月ですので、夜間スクーリングでの「学割証」発行開始日を、2 回に分けています。夜間スクーリング全期間を通して毎週通学する必要があり、「学割証」の発行を希望する場合は、事前に学生課にご相談ください。

#### ⑧ 購入方法

JR 各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。

## ⑨ 購入日

乗車券が購入できるのは、原則として乗車当日であり、事前の購入はできません。

新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

## ⑩ 禁止事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

### 【不正使用一覧】

|                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| ① 記載事項を改変すること。  | ④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること。   |
| ② 記名人以外が使用すること。 | ⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること。 |
| ③ 有効期間外に使用すること。 | ⑥ その他、不正に使用すること。       |

## ⑪ よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？

→ A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（4月27日～29日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？

→ A 2. 乗車日欄に行 4月27日、帰 4月29日と記入し、必要枚数欄に3枚、理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

# IX 受講及び試験

## 1 講座の受講

- ① スクーリングは出席が重視されます。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を携帯してください。

## 2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

### 「スクーリング試験」受験上の注意

- ❶ 「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- ❷ 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- ❸ 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- ❹ 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
- ❺ 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- ❻ 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- ❼ 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
- ❽ 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- ❾ 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- ❿ 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※ 試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。



### 3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成25年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に教務課から郵送で通知します。また、「在学生専用サポート（Web 報）」でもお知らせします。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などは「在学生専用サポート（Web 報）」で確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

| スクーリング名 |       | 結果発送時期 |
|---------|-------|--------|
| 東京（春期）  | 第1～3期 | 6月上旬   |
|         | 第4期   | 7月中旬   |
| 地方（春期）  | 第1・2期 | 7月中旬   |
| 夜間（春期）  |       | 8月上旬   |

#### ① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

#### ② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため「スクーリング結果通知書」には併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が記載されます。

# X 受講期間中の学生生活

## 1 受講にあたっての諸注意

### ① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要となります。

### ② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

### ③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項等を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

### ④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないよう注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

### ⑤ 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失したり、他人の落とし物を拾得した場合は、速やかに学生課まで届け出てください。届けられた物品は学生課で保管します。

### ⑥ 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

### ⑦ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

## 2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本誌「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」を記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

- ※ 不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。
- ※ 郵送では受け付けしません。
- ※ 通学定期券購入手続の際にも必要です。

## 3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 水道橋駅及び通信教育部校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

## 4 緊急時の避難行動の指針について

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおり対応についての行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

### ① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装に心掛ける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携行など。また、日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携行していることが望ましい。

### ② 避難について

#### （1）地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機器等の下からは退避する。

#### （2）避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救護を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて避難してください。」

ーあわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。ー

### **(3) 避難場所**

- ア 避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否の確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。
- イ 避難場所は安全な場所を前提に「通信 1 号館学生ホール」や「西神田公園」とし、必要に応じて千代田区指定の避難所へ移動する。

### **(4) あわてて帰宅をしない**

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関に運行状況等により判断し、帰宅が困難な場合は避難場所の通信 1 号館学生ホールで待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材購入用）
- ・追加科目履修届
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勸奨状）申込書
- ・＜受講申込辞退願＞
  - ・東京スクーリング（春期） 第 1 ～ 3 期
  - ・東京スクーリング（春期） 第 4 期
  - ・地方スクーリング（春期） 第 1 ・ 2 期
  - ・夜間スクーリング（春期）

## 「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「追加科目履修届」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

### 注意事項①

「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

### 見本 表

#### 定額小為替証書

01234-567890

指定受取人  
おなまえ

300円

※この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入ください。  
上記の金額をこの証書の発行の日から6か月以内にゆうちょ銀行の本支店等でお受け取りください。

払渡日付印  
上記の金額を受け取りました。

おところ  
おなまえ

裏面の注意書をごらんください。

#### 定額小為替払渡票

01234-567890

300円

この証書は機械で処理しますので、折り曲げたり、汚したりしないでください。

### 注意事項②

これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

### 注意事項③

為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

### 見本 裏

#### ご 注 意

- 1 この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証書の持参人に為替金をお支払いすることとし、これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社が委託した者を含みます。）は責任を負いません。
- 2 この証書は、他の銀行その他の銀行の定める金融機関以外の者に譲渡することができません。
- 3 当行または当行と同一の手形交換所に参加している他の銀行その他の金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同じ口座の預金への入金等を行うことができます。なお、証書の発行の日から一定期間経過後は、このお取扱いができません。
- 4 為替金をお受け取りになる場合は、表面の所定の欄におとこ・おなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。
- 5 為替金のお受け取りを代理の方に委任される場合は、委任欄に代理の方のおなまえと委任者（お受取人）のおとこ・おなまえを記入し、押印を押ししてください。
- 6 代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、表面の所定の欄に「〇〇〇〇代理人」のように肩書をつけて、代理の方のおとこ・おなまえを記入し、押印を押ししてください。
- 7 ゆうちょ銀行または郵便局では、為替金をお支払いする際、お受取人ご本人であることを確認させていただくため、運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすることや、お受取人と代理の方両方の書類のご提示をお願いすることがあります。
- 8 発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならないときは、お申出により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年間そのままでしておきますが、証書の再交付を請求する権利及び為替金を受け取る権利がなくなります。

委任欄  
(代理人) おなまえ  
上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。  
(委任者) おとこ  
おなまえ

### 注意事項④

この欄には何も記入しないでください。

### 注意事項⑤

右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「郵便小為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

#### 定額小為替金受領証書

### 見本 表

01234-567890

300円

料金 100円

発行日付印

発行日付印

(お客さま控)

(お客さま控)

## 教材購入用紙 (丸沼書店用)

市販教材（市販本）購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。  
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

| 平成 25 年度 春期スクーリング    |   |          |                      |
|----------------------|---|----------|----------------------|
| 申 込 日                | 平成 25 年                  月                  日 |          |                      |
| 科 目 名                | 書                  名                          | 教材費 (税込) | 送                  料 |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
|                      |   |          |                      |
| 小                  計 |   | 円        | 円                    |
| 合                  計 |   | 円        |                      |
| 購入方法<br>(いずれかに○)     | ①代金引換      ②定額小為替・郵便為替      ③現金書留             |          |                      |

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

|             |                      |                                      |
|-------------|----------------------|--------------------------------------|
| 送<br>り<br>先 | 住                  所 | 〒                  ー                 |
|             | 氏                  名 |                                      |
|             | 電 話 番 号              | (                                  ) |

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。  
※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

## 【購入方法】

(1) ～ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

### ※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代＋送料（実費）＋手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店  
（所 在 地）〒101-0061  
東京都千代田区三崎町 2-8-12  
（電 話）03-3261-4540  
（F A X）03-3261-0118  
（営 業 時 間）9：00～20：00（日曜日は休み）



日本大学通信教育部 御中  
(提出先：会計課)

## 教材購入願 (通信教育教材用)

|                 |  |  |  |     |      |
|-----------------|--|--|--|-----|------|
| 学 生 番 号         |  |  |  | 氏 名 | フリガナ |
|                 |  |  |  |     |      |
| 連絡先電話番号 (携帯電話可) |  |  |  | - - |      |

(太線枠内にボールペンで記入してください)

|       | 教材コード | 科 目 名 | 金 額 | スクーリング種別<br>講 座 名 |
|-------|-------|-------|-----|-------------------|
| 1     | 0 0 0 |       |     |                   |
| 2     | 0 0 0 |       |     |                   |
| 3     | 0 0 0 |       |     |                   |
| 4     | 0 0 0 |       |     |                   |
| 5     | 0 0 0 |       |     |                   |
| 6     | 0 0 0 |       |     |                   |
| 合計科目数 |       | 合計金額  |     |                   |
|       |       | 円     |     |                   |

※ボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』で確認し、必ず記入してください。  
「教材コード」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 0023』」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

## 「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』を購入する場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

### 1 購入手続

#### ① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（本館1階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

#### ② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

##### (1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償ありませんので、必ず現金書留を利用してください。

##### (2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。

為替には何も記入せず送付してください。

### 2 教材購入対象者

- ① 面接授業（スクーリング）、メディア授業で『通信教育教材』を使用する場合
- ② 教材を紛失した場合
- ③ 学習する際に、参考として使用する場合
- ④ 教材が改訂された場合

### 3 注意事項

- ① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**  
教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。
- ③ 「教材購入願」で入手した教材でレポート提出はできません。レポート＋科目修得試験方式、スクーリング併用試験方式、メディア授業併用試験方式で単位修得する場合は、履修登録（履修届・追加科目履修届）で教材を入手してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中  
(提出先：会計課)

## 追加科目履修届

|                |  |  |  |     |      |
|----------------|--|--|--|-----|------|
| 学 生 番 号        |  |  |  | 氏 名 | フリガナ |
|                |  |  |  |     |      |
| 連絡先電話番号（携帯電話可） |  |  |  | - - |      |

(太線枠内にボールペンで記入してください)

(平成 年度)

※「裏面」の注意事項を熟読の上，記入してください。

|              | 科目コード | 科 目 名 | 単位     |                                       |
|--------------|-------|-------|--------|---------------------------------------|
| 1            |       |       |        | 合計科目<br><br>科目<br><br>合計単位数<br><br>単位 |
| 2            |       |       |        |                                       |
| 3            |       |       |        |                                       |
| 4            |       |       |        |                                       |
| 5            |       |       |        |                                       |
| 単位 × 1,500 円 |       |       | 合計金額 円 |                                       |

※科目コードは『教材要綱』で確認し，必ず記入してください。  
 ※「追加科目履修届」は大学が受理した日の学年で登録されます。  
 上級学年の科目を履修する場合は注意してください。  
**【裏面〈注意〉④※印 参照】**  
 ※新入生の登録は前期生は4月1日から，後期生は10月1日から  
 になります。

会計課領収印



## 「追加科目履修届」提出上の注意

「1 学年指定配本」以外の科目や「履修届」で履修登録していない科目を、科目修得試験またはスクーリング・メディア授業併用試験方式で受験する場合は、この「追加科目履修届」用紙を提出してください。

### 1 追加履修費

1 単位につき 1,500 円（例：4 単位科目は 4 単位×1,500 円=6,000 円）。

### 2 手続方法

手続は随時受け付けています。必要に応じてそれぞれの履修登録締切日までに手続を行ってください。

#### ① 窓口による手続（直接持参による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）を持参の上、通信教育部の会計課窓口に出し、手続を行ってください。

#### ② 郵便による手続（郵便小為替による納入）

郵便局で追加履修費（現金）を「定額小為替」又は「普通為替」に換え（手数料が必要）、追加科目履修届用紙と一緒に簡易書留で会計課あてに送付してください。

#### ③ 郵送による手続（現金書留による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）と一緒に現金書留封筒で、会計課あてに送付してください。

※教材の受け渡しは郵送に限ります。窓口での受け渡しは一切行いません。

なお、教材が手元に届くのは、「追加科目履修届」受理後、約 1 週間を要します。

### 3 注意事項

#### ① 対象者・科目

- ・「1 学年指定配本」以外の科目
- ・「履修届」による配本以外の科目
- ・スクーリングでなければ履修できない科目や、教材を刊行していない科目は履修登録の対象になりません（例：総合科目・演習科目など、『学習要覧』に「※」印を記載の科目、及び教育実習・教育実践指導）。
- ・D カリキュラム在籍者は、配当学科・学年にも注意してください。
- ・正科生のみ（科目履修生は使用できません）。

#### ② 履修登録の有効期間

履修登録した科目（指定配本科目、履修届・追加科目履修届により配本を受けた科目）は、在籍期間中有効です。

#### ③ 当該科目の所定単位で登録

4 単位科目を、スクーリングまたはメディア授業で 2 単位修得している場合でも 4 単位として登録してください（所定単位 4 単位の科目を、2 単位のみ登録することはできません）。

#### ④ その他

「追加科目履修届」で登録し、配本された科目の教材は「教材購入願」で購入する必要はありません。

- ・当年度の授業料を納入していない場合は、履修登録できません。
- ・届出後の変更・取り消しはできません。また、返金も行いませんので、慎重に科目を選択してください。
- ・記入に際しては、ボールペンを使用してください。

※追加科目履修届は大学が受理した日の学年で登録されます。現在の学年より、上級学年の配当科目を追加履修する場合は、学年進級時（前期生は 4 月 1 日、後期生は 10 月 1 日）から登録が可能となります。

また、新入生の場合も同様で、前期新入生は 4 月 1 日から、後期新入生は 10 月 1 日からの受付となります。受付開始日前に到着した場合は、受理することができず、返送いたしますのでご注意ください。

日本大学通信教育部教務課

# 通学定期乗車券発行控

|       |         |     |      |   |     |     |
|-------|---------|-----|------|---|-----|-----|
|       |         | 平成  | 年    | 月 | 日   |     |
| 学 科   |         | 学 年 | 学生番号 |   |     |     |
|       |         |     |      |   |     |     |
| 大 学 院 |         |     |      |   |     |     |
|       |         |     |      |   |     |     |
| フリガナ  |         |     |      |   | 性 別 | 年 齢 |
| 氏 名   |         |     |      |   | 男・女 | 才   |
|       |         |     |      |   |     |     |
| 現 住 所 |         |     |      |   |     |     |
| 電 話   | ( )     |     |      |   |     |     |
|       |         |     |      |   |     |     |
| 通学区間  | 駅～ 駅 経由 |     |      |   |     |     |
|       | 駅～ 駅 経由 |     |      |   |     |     |

※記入後，学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。  
 ※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には，学則により懲戒を行う。

## 注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

|       |    |     |     |   |            |    |
|-------|----|-----|-----|---|------------|----|
| 正しい記入 | 新橋 | 駅 ～ | 水道橋 | 駅 | <u>秋葉原</u> | 経由 |
| 誤った記入 | 新橋 | 駅 ～ | 水道橋 | 駅 | <u>総武線</u> | 経由 |



日本大学通信教育部長 殿

## 学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

|                       |              |          |                                 |             |          |       |  |
|-----------------------|--------------|----------|---------------------------------|-------------|----------|-------|--|
|                       |              |          |                                 | 平成 年 月 日 申請 |          |       |  |
| 学部                    |              | 学科（専攻）   |                                 | 学生番号        |          |       |  |
| 氏 名                   |              |          |                                 | 年 齢         |          | 歳     |  |
| 現住所 〒 -               |              |          |                                 |             |          |       |  |
| TEL ( )               |              |          |                                 |             |          |       |  |
| 申請事由（該当箇所に○を記入してください） |              |          |                                 |             |          |       |  |
| 東京・地方スクーリング（春期）（開講地）  |              |          |                                 | 卒業論文指導（月 日） |          |       |  |
| 夏期スクーリング（第 期）         |              |          |                                 | 総合面接試問      |          |       |  |
| 東京・地方スクーリング（秋期）（開講地）  |              |          |                                 | 科目修得試験（第 回） |          |       |  |
| 昼間・夜間スクーリング（曜日 時限）    |              |          |                                 | その他（ ）      |          |       |  |
| 乗車区間                  | 自            | 線        |                                 | 駅           | 至        | 線 駅   |  |
| 乗車日                   | 行            | 平成 年 月 日 |                                 | 帰           | 平成 年 月 日 |       |  |
| 必要枚数                  | 枚            |          | （1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること） |             |          |       |  |
|                       | ※理由          |          |                                 |             |          |       |  |
| 利用交通機関                | 鉄道・バス・その他（ ） |          |                                 | 受取方法        |          | 窓口・郵送 |  |

### 【注意事項】

- ① 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- ② 大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ③ 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- ④ 郵送の場合は、返信用封筒（あて名明記、80円切手貼付）を同封してください。
- ⑤ 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ⑥ この交付願では通学定期券の購入はできません。





## 滞在先届 平成 25 年度 東京スクーリング（春期）

|   |        |         |        |
|---|--------|---------|--------|
| 学 部   | 学科（専攻） | 学 生 番 号 | 氏 名    |
|   |        |         |        |
| スクーリング期間中滞在先住所（宿泊施設名，知人宅名等もご記入ください。）                              |        |         |        |
| 〒 -   |        |         |        |
| <div style="text-align: right;">_____方</div>                      |        |         |        |
| 電 話 （ ）   |        |         |        |
| 最 寄 駅 [                      駅 ]                                  |        |         |        |
| 受講期間    第 1 期    ・    第 2 期    ・    第 3 期    ・    第 4 期    （○で囲む） |        |         |        |
| 現 住 所   |        |         | 学生課受付印 |
| 〒 -   |        |         |        |
| TEL                      （ ）                                      |        |         |        |

※ 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

キ リ ト リ

## 注意事項

※記入後にコピーしたものを添えて（計２部必要）受講初日までに学生課窓口に出してください。

※郵送では受け付けません。



日本大学通信教育部長 殿

## 休暇依頼状（勸奨状）申込書

スクーリング受講のため休暇依頼状の発行をお願いします。

平成 年 月 日 申請

|                        |         |  |         |  |  |
|------------------------|---------|--|---------|--|--|
| 申<br>込<br>者            | 氏 名     |  |         |  |  |
|                        | 学 部     |  | 学科（専攻）  |  |  |
|                        | 学 年     |  | 学 生 番 号 |  |  |
|                        | 勤 務 先   |  |         |  |  |
|                        | 所 属 部 署 |  |         |  |  |
| スク<br>ー<br>リ<br>ン<br>グ | 種 別     |  | 開 催 地   |  |  |
|                        | 受 講 期 間 |  |         |  |  |
| 提<br>出<br>先            | 勤 務 先 名 |  |         |  |  |
|                        | 役 職 名   |  |         |  |  |
|                        | 役職者氏名   |  |         |  |  |

### <注意事項>

- \*スクーリングの受講許可後発行します。
- \*スクーリング開講期間のみの証明になります。
- \*送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を必ず同封してください。
- \*勤務先名は正式名称を記入してください。
- \*複数のスクーリングで発行を希望する場合は、この用紙をコピーしてください。



併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号, 350円切手貼付）

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 平成25年度東京スクーリング(春期)第1～3期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名(フリガナ) \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容 ☐ 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）  
 （☐にチェック） ☐ 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、）  
 辞退講座のみを以下へ記入

| 期   | 講座コード | 辞 退 講 座 名 |
|-----|-------|-----------|
| 1 期 |       |           |
| 2 期 |       |           |
| 3 期 |       |           |

5 辞 退 理 由（詳述）

---



---



---

※ 提出期限【教務課必着】4 / 17（水）

※ （A）スクーリング受講許可通知書兼領収書及び（B）スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成25年度東京スクーリング（春期）第1～3期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

| 教務課受付印 | 会計課受付印 |
|--------|--------|
|        |        |



平成 25 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 平成 25 年度東京スクーリング(春期)第 4 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名(フリガナ) \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 - -

4 辞 退 内 容

| 講座コード | 辞 退 講 座 名 |
|-------|-----------|
|       |           |

5 辞 退 理 由(詳述)

---



---



---

## ※ 提出期限【教務課必着】5 / 29 (水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 25 年度東京スクーリング(春期)第 4 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

| 教務課受付印 | 会計課受付印 |
|--------|--------|
|        |        |





併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号, 350円切手貼付）

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 平成25年度地方スクーリング（春期）第1・2期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名(フリガナ) \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 - -

4 辞 退 内 容 ☐ 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）  
 （☐にチェック） ☐ 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、  
 辞退講座のみを以下へ記入）

| 開催地<br>(開催地に○) | 期  | 講座コード | 辞 退 講 座 名 |
|----------------|----|-------|-----------|
| 札幌<br>山形<br>神戸 | 1期 |       |           |
| 名古屋<br>福岡      | 2期 |       |           |

5 辞 退 理 由（詳述）

---



---



---

※ 提出期限【教務課必着】5 / 13（月）

※ （A）スクーリング受講許可通知書兼領収書及び（B）スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成25年度地方スクーリング（春期）第1・2期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

| 教務課受付印 | 会計課受付印 |
|--------|--------|
|        |        |



併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号, 350円切手貼付）

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 平成25年度夜間スクーリング(春期)受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名(フリガナ) \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容 ☐ 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）  
☐ (□にチェック) 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、  
 辞退講座のみを以下へ記入）

| 曜 日 | 講座コード | 講 座 名 |
|-----|-------|-------|
| 月   |       |       |
| 火   |       |       |
| 水   |       |       |
| 木   |       |       |
| 金   |       |       |

5 辞 退 理 由（詳述）

---



---



---

※ 提出期限【教務課必着】5 / 9（木）

※ （A）スクーリング受講許可通知書兼領収書及び（B）スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成25年度夜間スクーリング(春期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のこと。

| 教務課受付印 | 会計課受付印 |
|--------|--------|
|        |        |



## 1 東京スクーリング（春期）宿泊施設の利用案内

東京スクーリングを受講する際に、宿泊施設の確保あるいは滞在にかかる経費は大切な問題です。大学では、皆さんが大学近隣の施設にできる限り低料金で宿泊できるよう、下記のとおり宿泊施設を紹介します。

なお、掲載の宿泊施設に予約する際には、必ず「日本大学通信教育部東京（春期）スクーリング受講生」であることを申し出てください。申し出がない場合には、通常料金となります。

### ホテル（水道橋周辺）

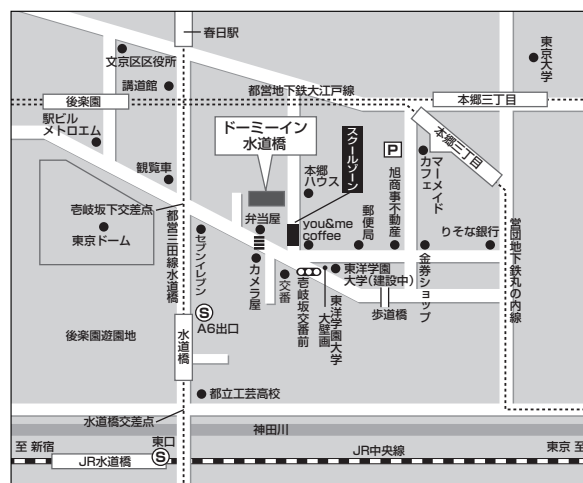
#### ドーマーイン水道橋

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-27

TEL (03) 3815-4790 FAX (03) 3815-4791

<http://www.hotespa.net/hotels/suidobashi>

| タイプ         | 室数   | 料金（税・サ込） |
|-------------|------|----------|
| プチシングル      | 7 室  | 7,000 円  |
| シングル        | 35 室 | 8,000 円  |
| スタジオ<br>ツイン | 18 室 | 14,400 円 |



交通案内 JR総武線「水道橋」駅東口下車徒歩7分、都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩3分  
客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷暖房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー・ビデオ・ズボンプレス機・LANケーブルは無料貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA UC DC MC JCB AMEX NICOS OMC UFJ Saison  
AEON Diner's Club

朝食 1,100 円（和洋食のバイキング）

※ 男女別人口炭酸泉大浴場「楽楽の湯」（サウナ付）

## ヴィラフォンテーヌ神保町

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-30

TEL (03) 3233-9990 FAX (03) 3233-9998

<http://www.hvf.jp>

| タイプ          | 室数           | 料金 (税・サ込)                |
|--------------|--------------|--------------------------|
| エコノミー        | 10 室         | 8,500 円<br>(通常 9,500 円)  |
| スタンダード       | 34 室         | 8,500 円<br>(通常 10,000 円) |
| ヒーリング<br>ルーム | シングル<br>26 室 | 8,500 円<br>(通常 11,500 円) |
| ツイン          | 2 室          | 15,000 円                 |



※連泊プラン：エコノミー、スタンダード、ヒーリングルーム 1 名 1 泊あたり 8,000 円

交通案内 JR「水道橋」駅東口下車徒歩 7 分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A5 番出口下車徒歩 3 分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー（有料）あり。ズボンプレス機は貸出し。全室 LAN 回線無料（光ファイバー方式）。  
※全室 16㎡のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム  
※ヒーリングルームは低反発マット使用

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝食 無料サービス（部屋食可）

## ヴィラフォンテーヌ九段下

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4

TEL (03) 3222-8880 FAX (03) 3222-8868

<http://www.hvf.jp>

| タイプ          | 室数   | 料金 (税・サ込)                |
|--------------|------|--------------------------|
| スタンダード       | 72 室 | 8,500 円<br>(通常 10,600 円) |
| ヒーリング<br>ルーム | 60 室 | 8,500 円<br>(通常 12,000 円) |
| レディース<br>ルーム | 12 室 | 8,500 円<br>(通常 12,000 円) |



※連泊プラン：スタンダードルーム、ヒーリングルーム、レディースルーム 1 名 1 泊あたり 8,000 円

交通案内 JR「水道橋」駅西口下車徒歩 7 分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A2 出口下車徒歩 3 分、  
東京メトロ東西線・半蔵門線・新宿線・「九段下」駅 5 番出口徒歩 6 分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・ズボンプレス機・コインランドリーあり。全室 LAN 回線無料（光ファイバー方式）。  
※全室約 16㎡のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム  
※ヒーリングルームは低反発マットレス使用。

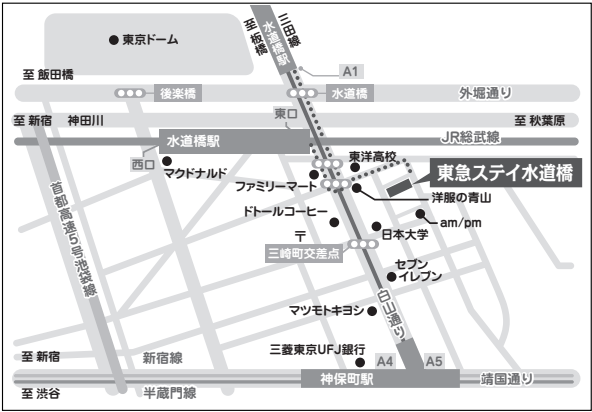
クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝食 無料サービス

東急ステイ水道橋

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-12  
 Tel (03) 3293-0109 FAX (03) 3293-0109  
 メールアドレス：suidobashi@tokyustay.co.jp  
<http://www.tokyustay.co.jp/hotel/SUI/>

| タイプ    | 室数／面積             | 料金（税・サ込）                            |
|--------|-------------------|-------------------------------------|
| シングル A | 120 室<br>／<br>15㎡ | 8,000 円<br>1 泊朝食付き<br>(通常 10,000 円) |



※日本大学通信教育部夏期スクーリング受講生と予約の際申し出ること。  
 ※電話・FAX・Eメールで24時間申込可能。  
 ※喫煙又は禁煙部屋の希望を申し出ること。

交 通 案 内 JR「水道橋」駅 東口から徒歩3分、都営三田線 水道橋駅 A1 出口から徒歩4分、  
 都営三田・新宿線 東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A5 出口から徒歩8分

客 室 設 備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷暖房・液晶テレビ・電話・冷蔵庫・電子レンジ・  
 洗濯乾燥機・ドライヤー・机・ナイトウエア・セーフティーボックス・インターネット (LAN)  
 は使用料・通信費無料・全室 WiFi 接続可能（無料）  
 ※ゆったりサイズのバスルーム

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

## 2 交通案内・校舎案内

### ① 交通案内～通信教育部までの交通～

#### 〔東京駅乗継の場合〕

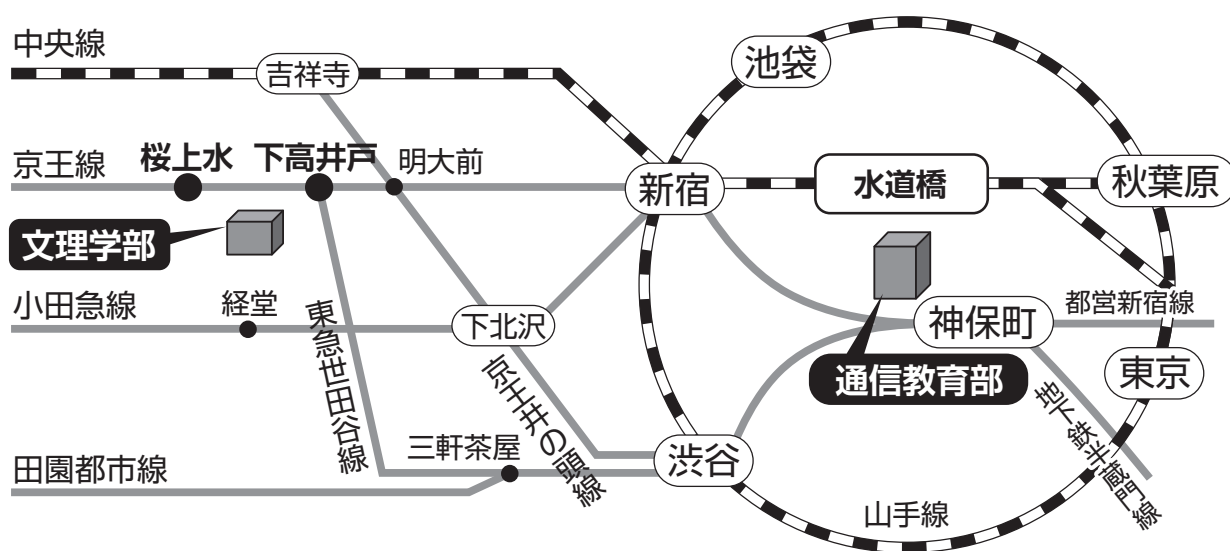
JR 中央線(1・2 番線から発車する電車いずれも可)に乗車, 御茶ノ水駅で JR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え, 次の駅・水道橋駅下車徒歩約 5 分。東京駅から約 15 分。

#### 〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線(東京方面)に乗車, 秋葉原駅で JR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え, 水道橋駅下車徒歩約 5 分。上野駅から約 20 分。

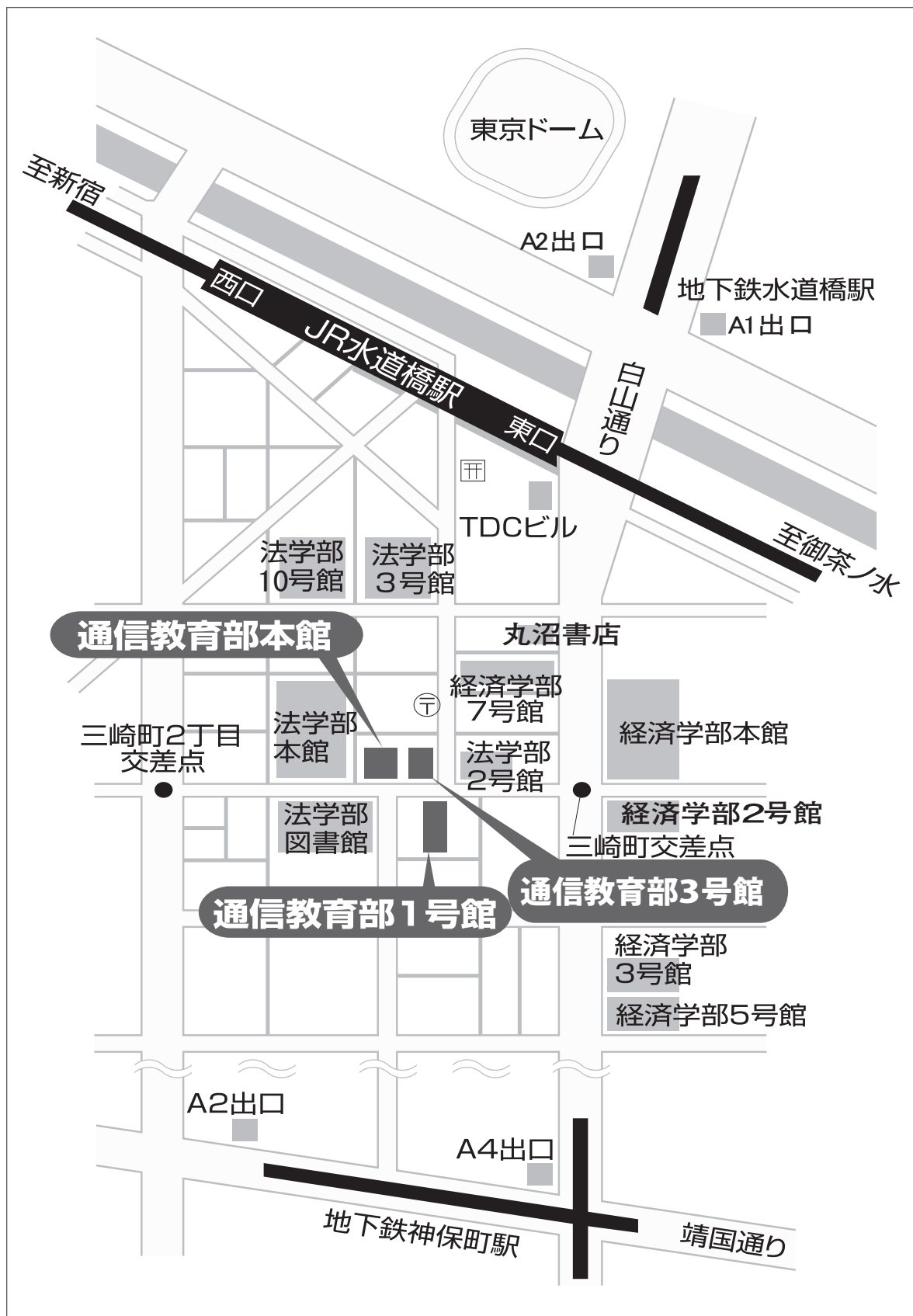
#### 〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車, JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面)に乗車, 秋葉原駅で JR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え, 水道橋駅下車徒歩約 5 分。羽田空港駅から約 50 分。





## ② 校舎案内



- JR中央線・総武線（各駅停車）「水道橋」駅下車 徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車 徒歩6分
- 都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 徒歩7分



# スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

| チ ャ ッ ク 項 目  | 参 照                                |
|--|------------------------------------|
| <b>◆受講届の記入</b>   |                                    |
| <input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか   | 巻末「受講届」                            |
| <input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか<br>(講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号) | V-2 講座を申し込む<br>◆各スクーリングの開講講座表      |
| <input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか  | ◆各スクーリングの開講講座表                     |
| <input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか<br>(配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)                               | I-3 「開講講座表」の見方<br>◆各スクーリングの開講講座表   |
| <input type="checkbox"/> 申し込む開講時期は間違っていないですか   | ◆各スクーリングの開講講座表                     |
| <input type="checkbox"/> 修得済科目を申込んでいませんか   | ・単位照合票<br>・単位修得状況確認<br>(在学生専用サポート) |
| <b>◆併用</b> ※希望者のみ  |                                    |
| <input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「受講希望方式」欄に『併用』を記入していますか                              | V-2 講座を申し込む                        |
| <input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか   | V-1 受講手続の流れ<br>表紙 (㊤ 履修登録締切日)      |
| <input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか   | V-1 受講手続の流れ<br>表紙 (㊤ リポート提出締切日)    |
| <b>◆受講届の提出</b>   |                                    |
| <input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか<br>(郵送の場合は締切日消印有効)  | 表紙 (① 受講届提出締切日)<br>V-2 講座を申し込む     |
| <input type="checkbox"/> 〈推奨〉申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)   |                                    |
| <input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ホームページからの申込の場合のみ)   |                                    |
| <input type="checkbox"/> 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか  | V-2 講座を申し込む                        |
| <b>◆受講料の納入</b>   |                                    |
| <input type="checkbox"/> 受講許可通知書の内容に間違いはありませんか   | VI-1 受講許可通知書を確認する                  |
| <input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか   | VII 受講料の納入                         |

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便  
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課  
東京スクーリング(春期)第1～3期 係

|             |       |
|-------------|-------|
| 差<br>出<br>人 | 住 所 〒 |
|             | 氏 名   |

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。  
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成25年 月 日作成

## 平成25年度東京スクーリング(春期)受講届〔39〕 第1～3期 東京用

| 期 | 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 講 座 名 | 充当科目コード | 受講希望<br>方式 |
|---|------------|------------|-------|---------|------------|
| 1 | 7          | 9          |       |         |            |
| 2 | 7          | 9          |       |         |            |
| 3 | 7          | 9          |       |         |            |

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

|         |  |  |  |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|--|--|--|
| 学 生 番 号 |  |  |  |  |  |  |  |
| フリガナ    |  |  |  |  |  |  |  |
| 氏 名     |  |  |  |  |  |  |  |
| 自宅電話番号  |  |  |  |  |  |  |  |
| 緊急時電話番号 |  |  |  |  |  |  |  |

※提出締切日 平成25年3月13日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は東京スクーリング(春期)第1～3期用の受講届です。それ以外  
のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便  
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課  
東京スクーリング(春期)第4期 係

|             |       |
|-------------|-------|
| 差<br>出<br>人 | 住 所 〒 |
|             | 氏 名   |

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。  
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成25年 月 日作成

## 平成25年度東京スクーリング(春期)受講届〔40〕 第4期 東京用

| 期 | 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 講 座 名 | 充当科目コード | 受講希望<br>方式 |
|---|------------|------------|-------|---------|------------|
| 4 | 7          | 9          |       |         |            |

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

|         |  |  |  |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|--|--|--|
| 学 生 番 号 |  |  |  |  |  |  |  |
| フリガナ    |  |  |  |  |  |  |  |
| 氏 名     |  |  |  |  |  |  |  |
| 自宅電話番号  |  |  |  |  |  |  |  |
| 緊急時電話番号 |  |  |  |  |  |  |  |

※提出締切日 平成25年4月17日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は東京スクーリング(春期)第4期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便  
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課  
地方スクーリング(春期)第1・2期 係

|             |       |
|-------------|-------|
| 差<br>出<br>人 | 住 所 〒 |
|             | 氏 名   |

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。  
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成25年 月 日作成

平成25年度地方スクーリング(春期)受講届<sup>〔35〕</sup>  
第1期(札幌・山形・神戸)  
第2期(名古屋・福岡)用

| 期 | 開催地<br>コード | 講 座<br>コード | 講 座 名 | 充当科目コード | 受講希望<br>方式 |
|---|------------|------------|-------|---------|------------|
| 1 |            |            |       |         |            |
| 2 |            |            |       |         |            |

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

|         |  |  |  |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|--|--|--|
| 学 生 番 号 |  |  |  |  |  |  |  |
| フリガナ    |  |  |  |  |  |  |  |
| 氏 名     |  |  |  |  |  |  |  |
| 自宅電話番号  |  |  |  |  |  |  |  |
| 緊急時電話番号 |  |  |  |  |  |  |  |

※提出締切日 平成25年4月17日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は地方スクーリング(春期)第1・2期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便  
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課  
夜間スクーリング(春期) 係

|             |       |
|-------------|-------|
| 差<br>出<br>人 | 住 所 〒 |
|             | 氏 名   |

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。  
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成25年 月 日作成

## 平成25年度夜間スクーリング(春期)受講届(20)

| 曜日 | 講座<br>コード | 講座名 | 充<br>当<br>科<br>目<br>コ<br>ー<br>ド | 受<br>講<br>希<br>望<br>方<br>式 |
|----|-----------|-----|---------------------------------|----------------------------|
| 月  |           |     |                                 |                            |
| 火  |           |     |                                 |                            |
| 水  |           |     |                                 |                            |
| 木  |           |     |                                 |                            |
| 金  |           |     |                                 |                            |

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。



私の申込みは、上記のとおり相違ありません。

|         |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |
|---------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 学 生 番 号 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| フリガナ    | <input type="text"/> |                      |                      |                      |                      |                      |                      |
| 氏 名     | <input type="text"/> |                      |                      |                      |                      |                      |                      |
| 自宅電話番号  | <input type="text"/> |                      |                      |                      |                      |                      |                      |
| 緊急時電話番号 | <input type="text"/> |                      |                      |                      |                      |                      |                      |

\*提出締切日 平成25年4月17日(水)【締切日までの消印有効】

\*各曜日から1講座ずつ申込みできます。

\*書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください

\*本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 福田弥夫 〒101-8354東京都千代田区三崎町2-2-3 日本大学通信教育部